

## 第5章 アンケート調査結果(中学生2年生保護者)

### (1) あなたの世帯のことについてうかがいます

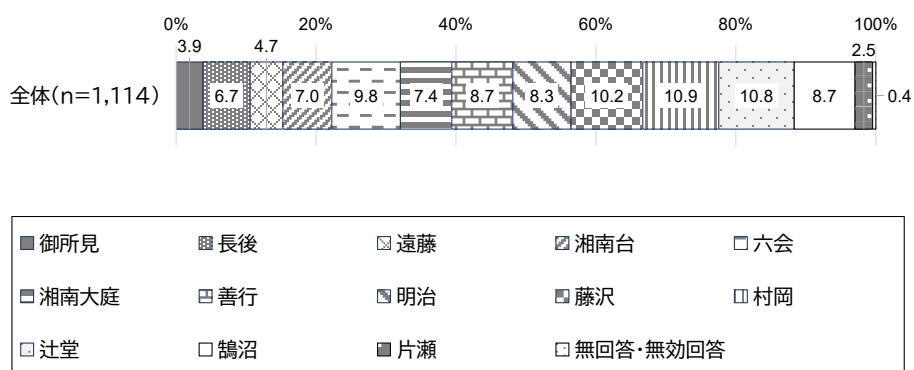
#### ア 居住地区

居住地区については、「村岡」が10.9%と最も多く、「辻堂」が10.8%、「藤沢」が10.2%であった。

【中学2年生保護者問1】

お住まいの地区としてあてはまるものをお選びください。(単一回答)

図表 5-1 居住地区 (単純集計)



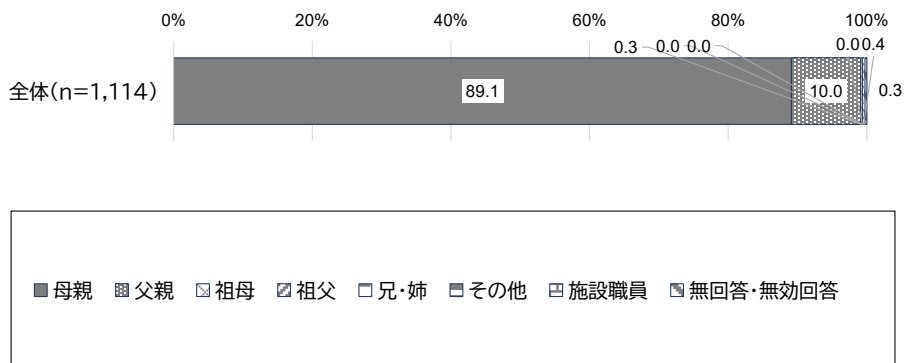
#### イ 回答者と子どもとの続柄

回答者と子どもとの続柄は、「母親」が89.1%、「父親」が10.0%、「施設職員」が0.4%であった。

【中学2年生保護者問2】

お子さんとあなた(回答者)との関係は、次のどれになりますか。(単一回答)

図表 5-2 回答者と子どもとの続柄 (単純集計)



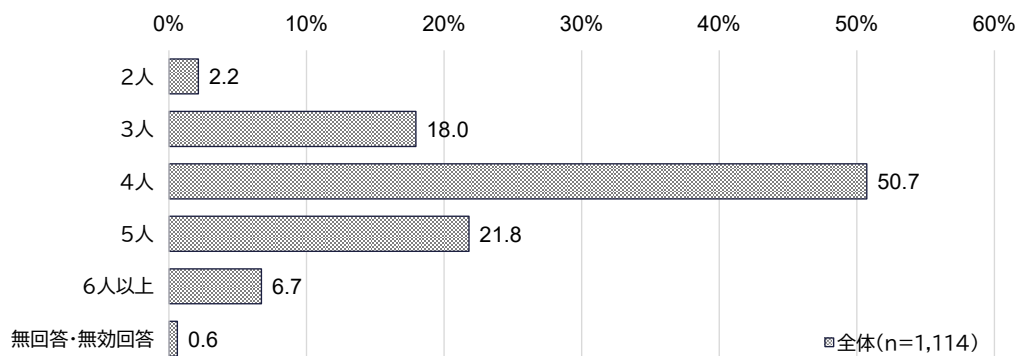
## ウ 同居人数

調査票の宛名の子どもと同居している人数は、「4人」が50.7%、「5人」が21.8%、「3人」が18.0%であった。

### 【中学2年生保護者問 3-1】

あなたと、この調査票を受け取ったお子さんを含め、同居している人数は何人ですか。ただし、単身赴任しているご家族も含めてください。(数値回答)

図表 5-3 世帯人数 (単純集計)



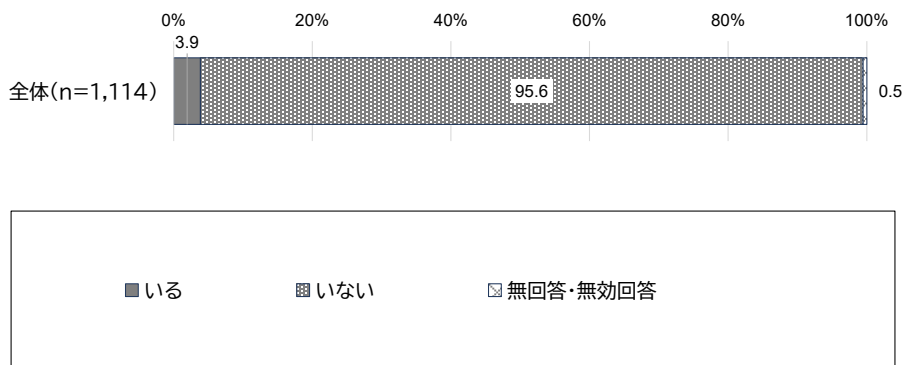
## エ 介護・介助が必要な方の有無

介護または介助の必要な方がいるか尋ねたところ、「いない」が95.6%、「いる」が3.9%であった。

### 【中学2年生保護者問 3-2】

お子さんと同居しているご家族に、介護または介助の必要な方がいますか。(単一回答)

図表 5-4 介護・介助が必要な方の有無 (単純集計)



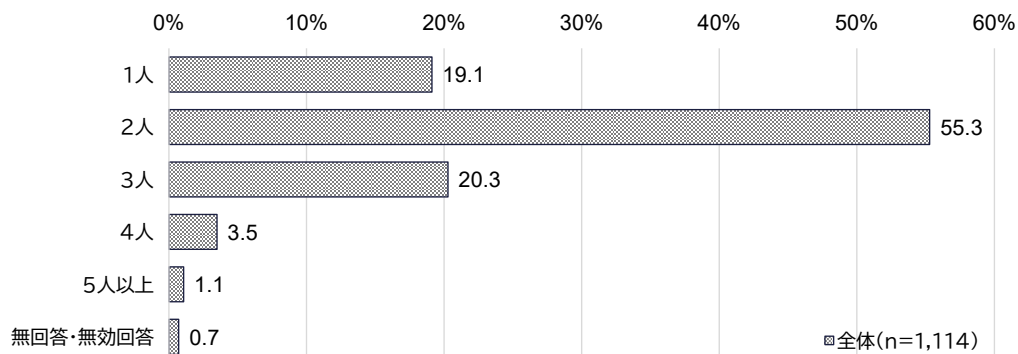
## オ 子どもの人数

宛名の子どもを含めた同居している家族の子どもの人数についてみると、「2人」が 55.3%、「3人」が 20.3%、「1人」が 19.1%であった。

### 【中学2年生保護者問 3-3】

お子さんと同居しているご家族のうち、子どもの人数は何人ですか。この調査票を受け取ったお子さんを含めた人数をお答えください。(数値回答)

図表 5-5 同居している家族の子どもの人数 (単純集計)



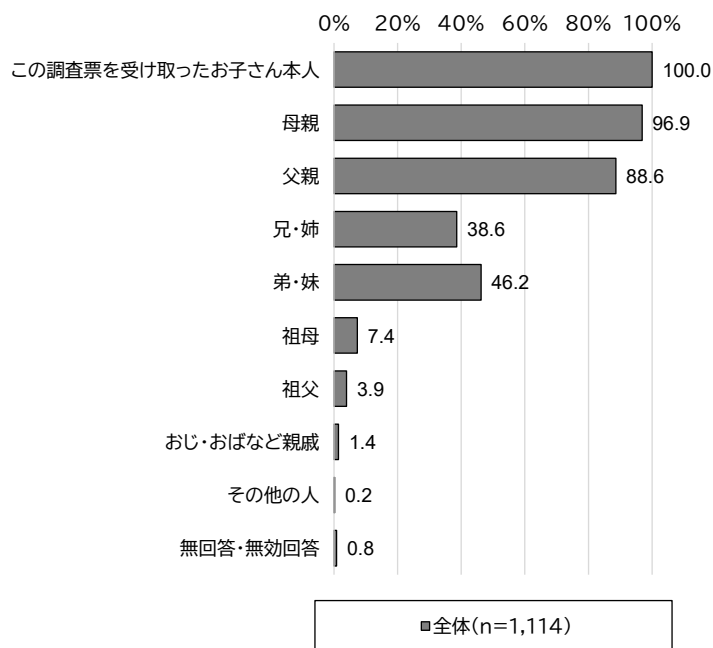
## カ 同居家族の子どもからみた続柄

子どもと同居している家族について、子どもからみた続柄を尋ねたところ、「母親」と同居している方が96.9%、「父親」と同居している方が88.6%、「弟・妹」と同居している方が46.2%であった。

【中学2年生保護者問 3-4】

お子さんと同居しているご家族の方について、お子さんからみた続柄で、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

図表 5-6 同居している家族のうち、子どもからみた続柄 (単純集計)



## (2) お子さんのお母さまとお父さまの職業についてうかがいます

### ア 母親の就業状況

父子家庭ではない世帯の場合に、母親の現在の就業状況について尋ねた結果、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 46.4%と最も多く、「勤め(常勤・正規職員)」が 23.9%、「専業主婦」が 17.4%であった。

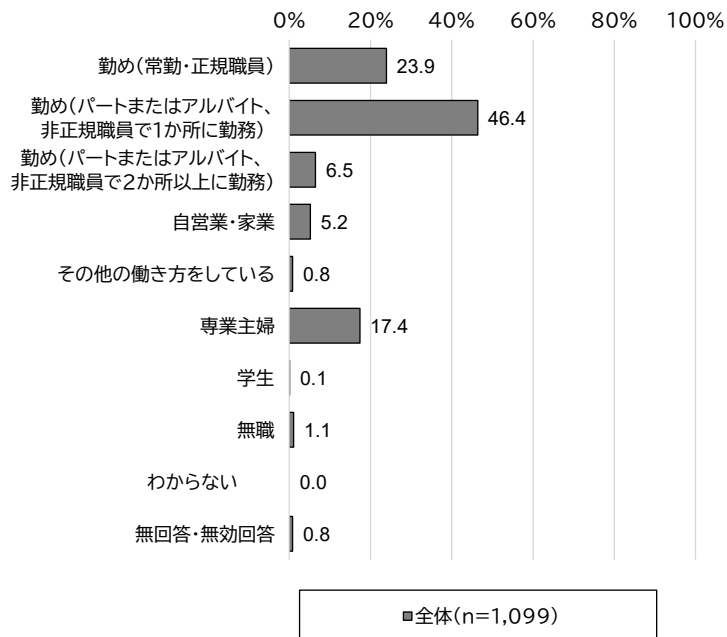
前回調査と比較すると、「勤め(常勤・正規職員)」と回答した割合は、今回調査は 23.9%、前回調査は 18.2%で、5.7ポイント増加した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=67)では、「勤め(常勤・正規職員)」が 47.8%と最も多く、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が 26.9%、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)」が 16.4%であった。

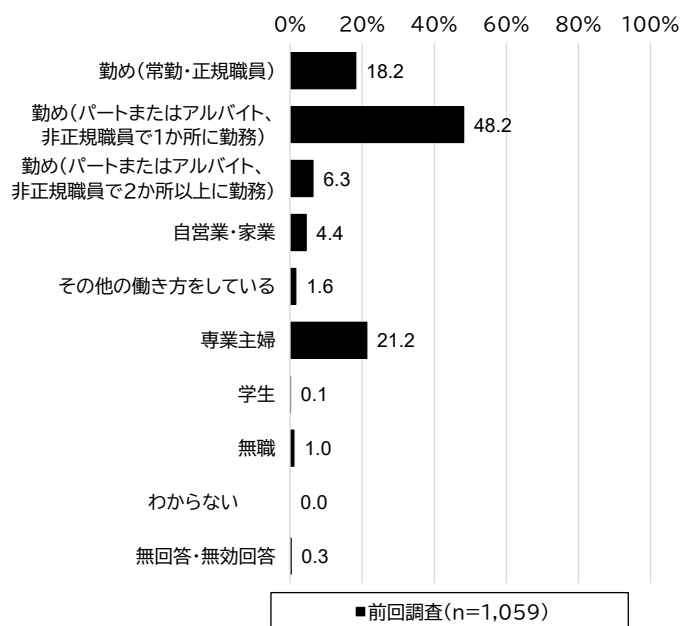
#### 【中学2年生保護者問 4】

お子さんのお母さまの現在の就業状況について教えてください。複数か所でお仕事されている方はあてはまる番号をすべて選んでください。(複数回答)

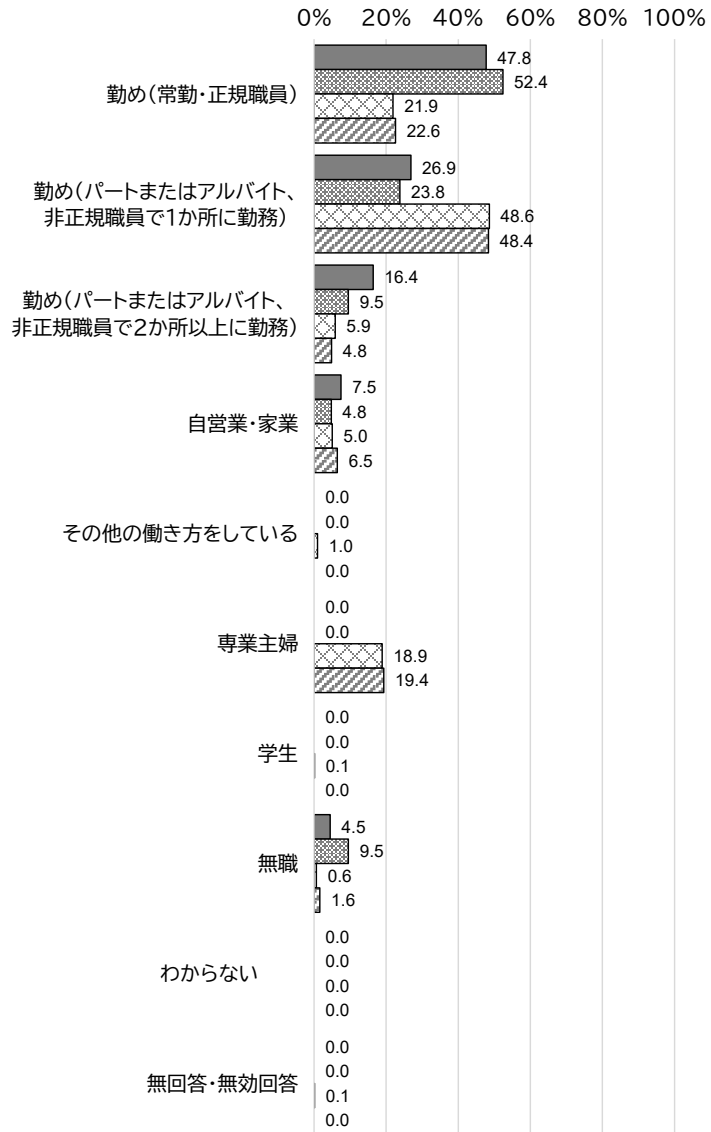
図表 5-7 母親の現在の就業状況 (単純集計)



図表 5-8 母親の現在の就業状況（前回調査 単純集計）



図表 5-9 母親の現在の就業状況（世帯タイプ別クロス集計）



■ひとり親世帯(2世代同居)(n=67)      ■ひとり親世帯(3世代同居)(n=21)  
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=936)      □ふたり親世帯(3世代同居)(n=62)

## イ 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無

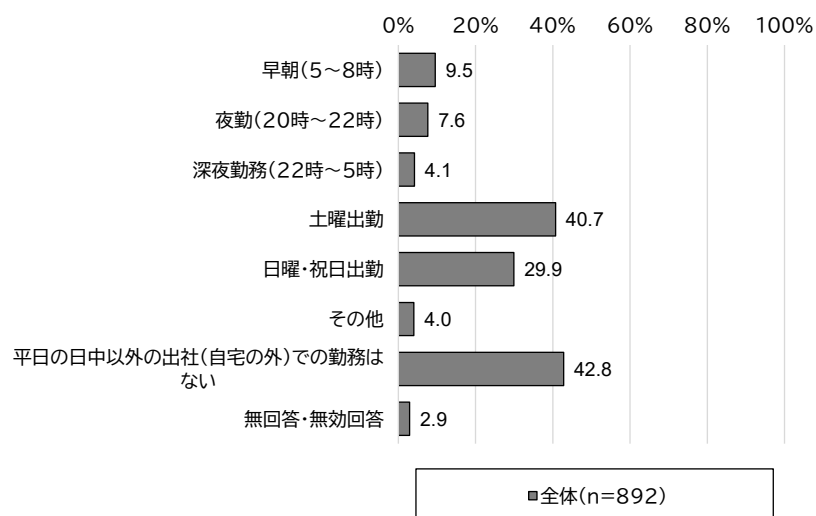
父子家庭ではない世帯かつ問4で1～5(働いている)を選んだ場合に、平日の日中以外の出社勤務の有無について尋ねた結果、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」方が 42.8%と最も多く、「土曜出勤」がある方が 40.7%、「日曜・祝日出勤」がある方が 29.9%であった。

困窮層(n=42)では、「土曜出勤」がある方が 50.0%と最も多く、「日曜・祝日出勤」がある方が 40.5%、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」がある方が 26.2%であった。

【中学2年生保護者問 4-1】

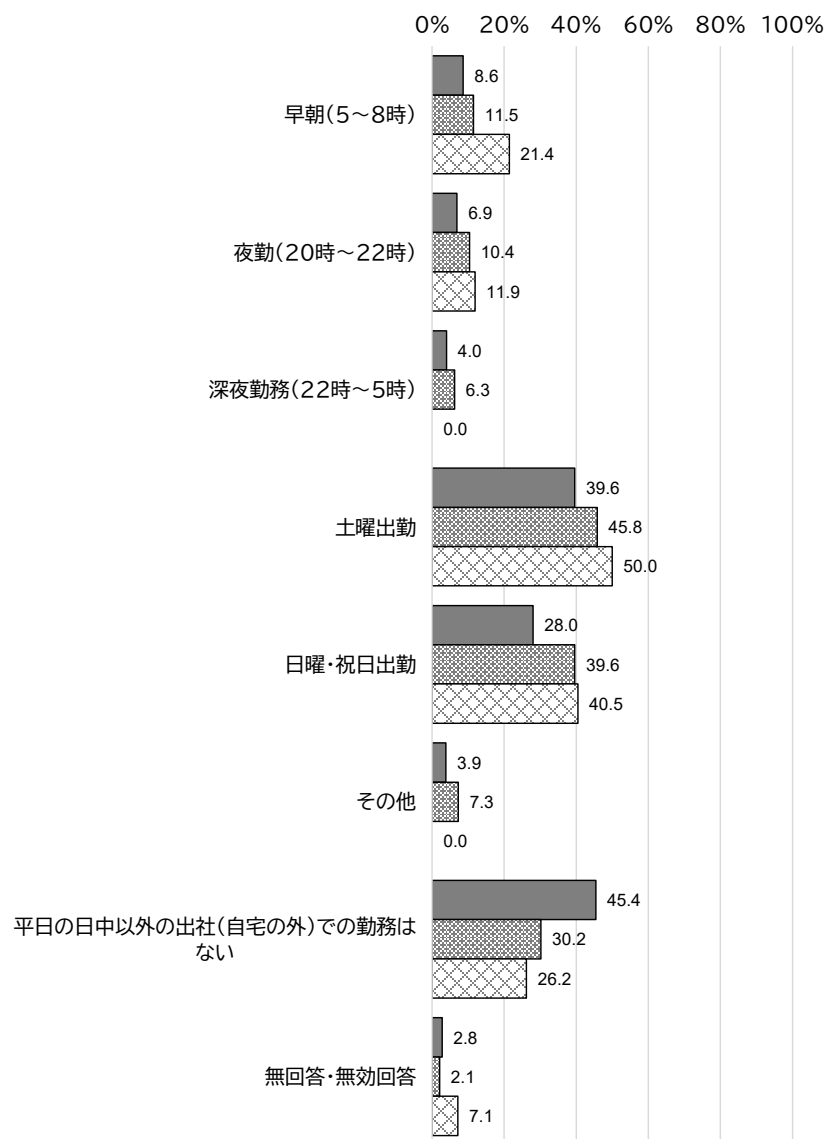
お母さまは、平日の日中以外で、出社(自宅の外)での勤務がありますか。(複数回答)

図表 5-10 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無 (単純集計)





図表 5-11 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=753)    ▨周辺層(n=96)    □困窮層(n=42)

## ウ 父親の就業状況

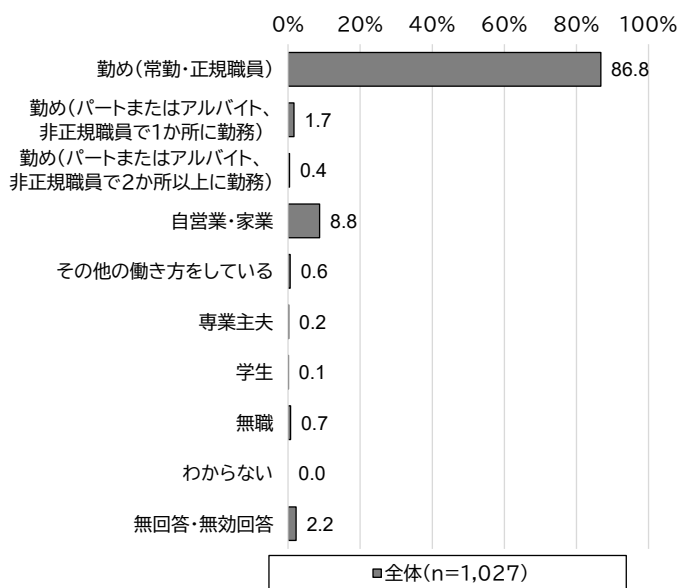
母子家庭ではない世帯の場合に、父親の現在の就業状況について尋ねた結果、「勤め(常勤・正規職員)」が86.8%と最も多く、「自営業・家業」が8.8%であった。

困窮層(n=37)では、「勤め(常勤・正規職員)」が56.8%と最も多く、「自営業・家業」が21.6%、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が8.1%であった。

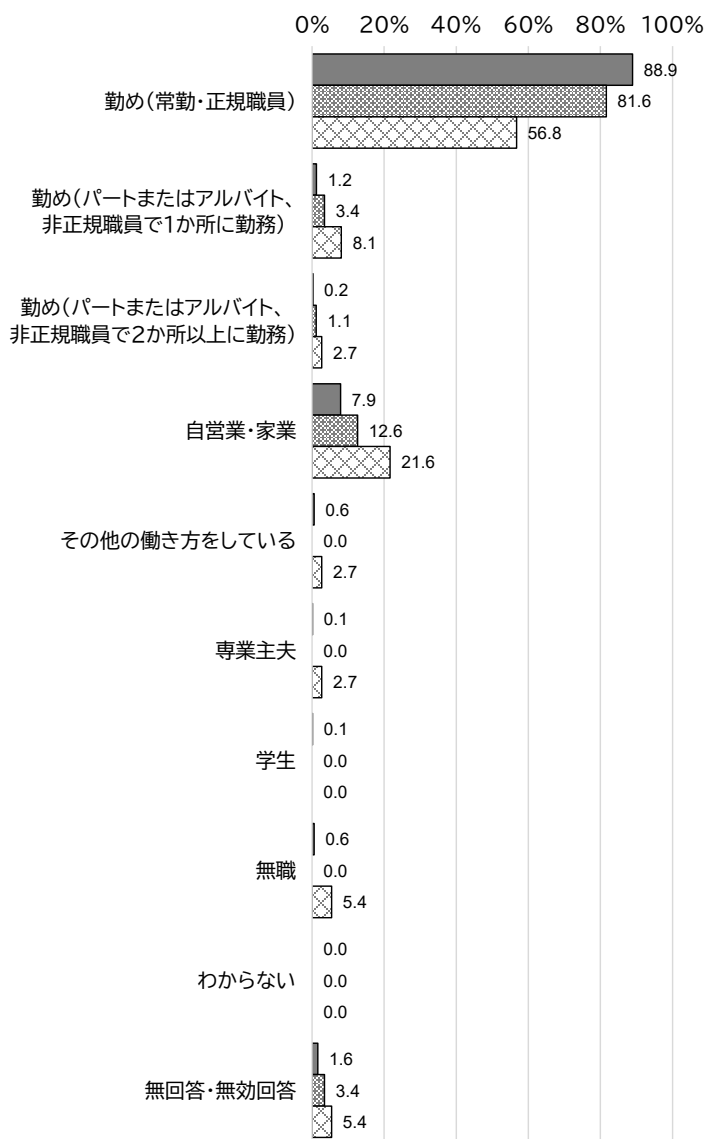
### 【中学2年生保護者問 5】

お子さんのお父さまの現在の就業状況について教えてください。(複数回答)

図表 5-12 父親の現在の就業状況 (単純集計)



図表 5-13 父親の現在の就業状況（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=899)

▨周辺層(n=87)

□困窮層(n=37)

## エ 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無

母子家庭ではない世帯かつ問5で1～5(働いている)を選んだ場合に、平日の日中以外の出社勤務の有無について尋ねた結果、問5で1～5(働いている)を選んだ方の平日の日中以外の出社勤務の有無についてみると、「土曜出勤」がある方が43.3%と最も多く、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」がある方が39.2%、「日曜・祝日出勤」がある方が38.1%であった。

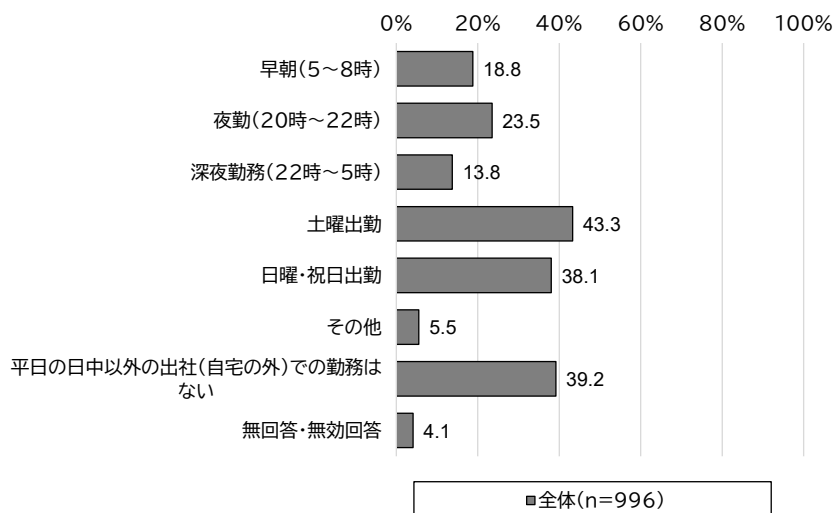
困窮層(n=33)では、「土曜出勤」がある方、「日曜・祝日出勤」がある方が57.6%と最も多く、「早朝(5～8時)」の勤務がある方が39.4%であった。

生活満足 低位(n=106)では、「土曜出勤」がある方が52.8%と最も多く、「日曜・祝日出勤」がある方が50.9%、「夜勤(20時～22時)」がある方が34.9%であった。

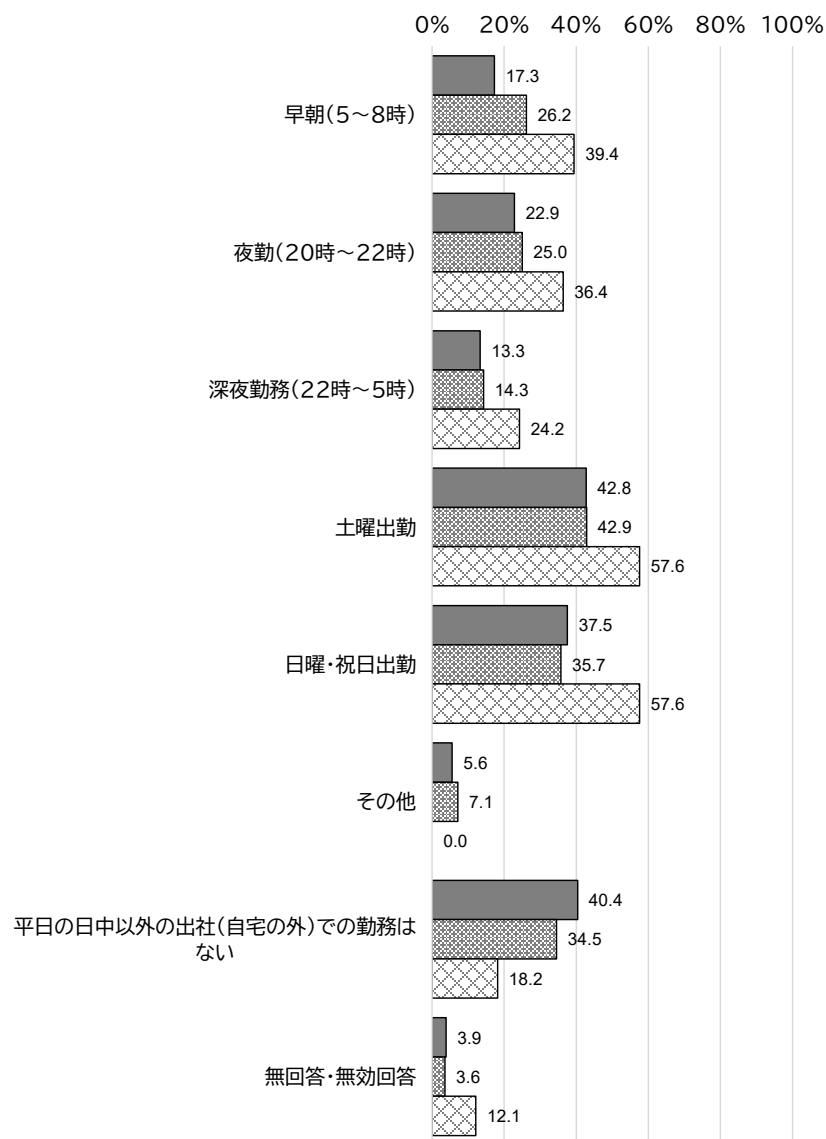
【中学2年生保護者問5-1】

問5で「1」～「5」を選んだ方にうかがいます。お父さまは、平日の日中以外で、出社(自宅の外)での勤務がありますか。(複数回答)

図表 5-14 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無 (単純集計)

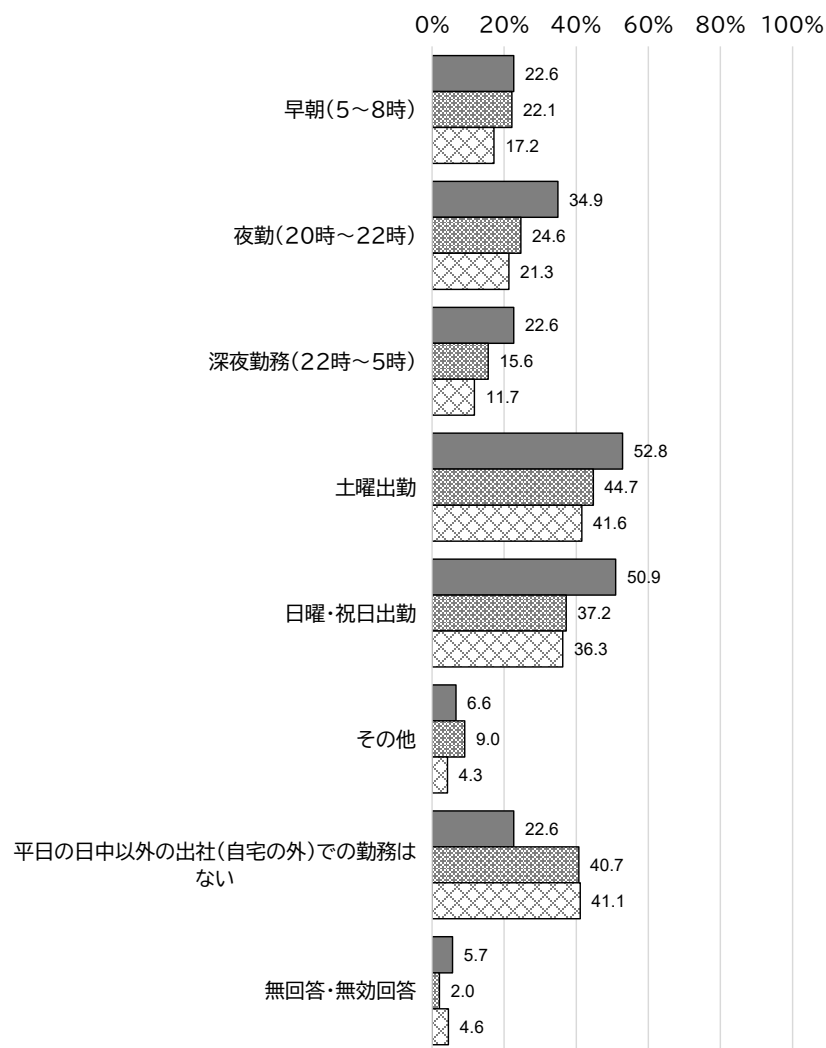


図表 5-15 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=879)    ▨周辺層(n=84)    □困窮層(n=33)

図表 5-16 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=106)   ■生活満足 中位(n=199)   □生活満足 高位(n=681)

### (3) お子さんのこと、子育てのことについてうかがいます

#### ア 子育ての中でしていること

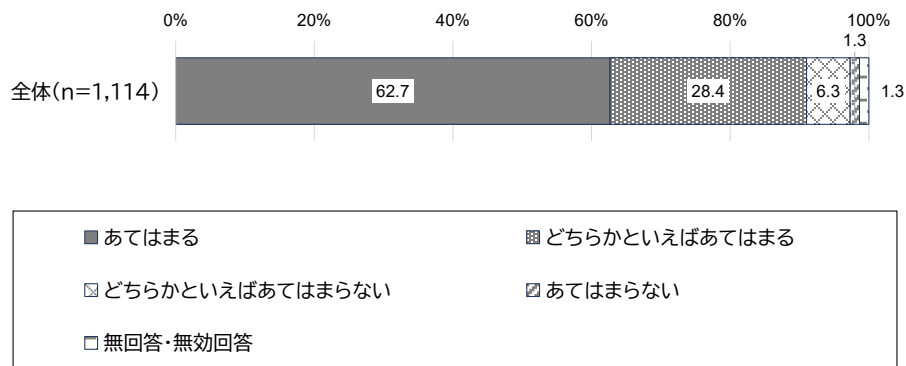
「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」は、「あてはまる」が 62.7%、「どちらかといえばあてはまる」が 28.4%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「あてはまる」が 49.3%、「どちらかといえばあてはまる」が 32.4%であった。

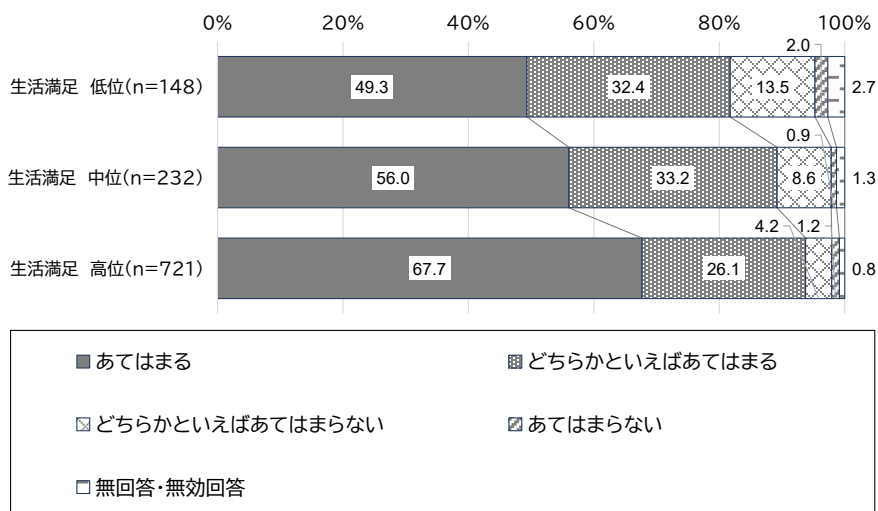
【中学2年生保護者問 6A】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 5-17 「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」の実施状況 (単純集計)



図表 5-18 「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」の実施状況 (生活満足度別クロス集計)



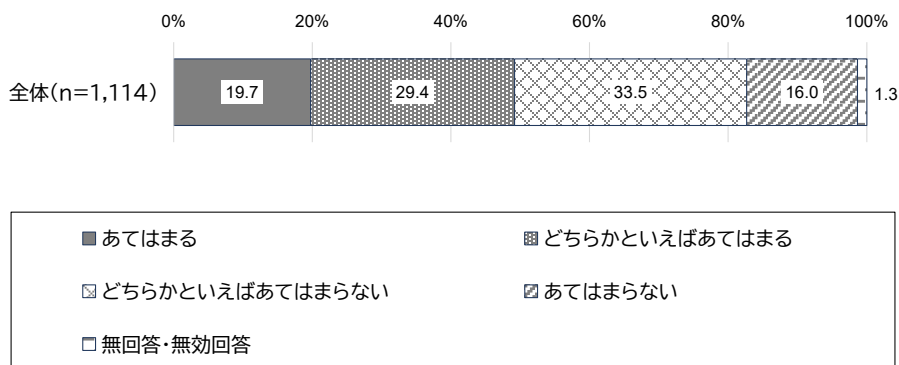
「お子さんの勉強をみる」は、「あてはまる」が 19.7%、「どちらかといえばあてはまる」が 29.4%であった。

前回調査と比較すると、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の合計は、今回調査は 49.1%、前回調査は 60.5%で、11.4 ポイント減少した。

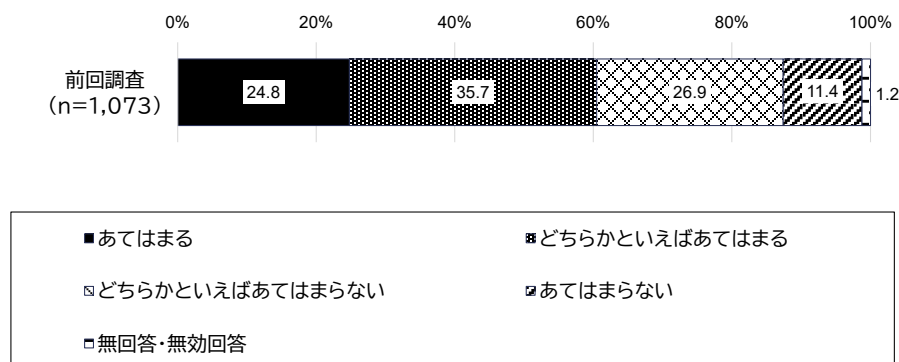
【中学2年生保護者問 6B】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

図表 5-19 「お子さんの勉強をみる」の実施状況 (単純集計)



図表 5-20 「お子さんの勉強をみる」の実施状況 (前回調査 単純集計)





「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」は、「あてはまる」が 37.6%、「どちらかといえばあてはまる」が 41.6%であった。

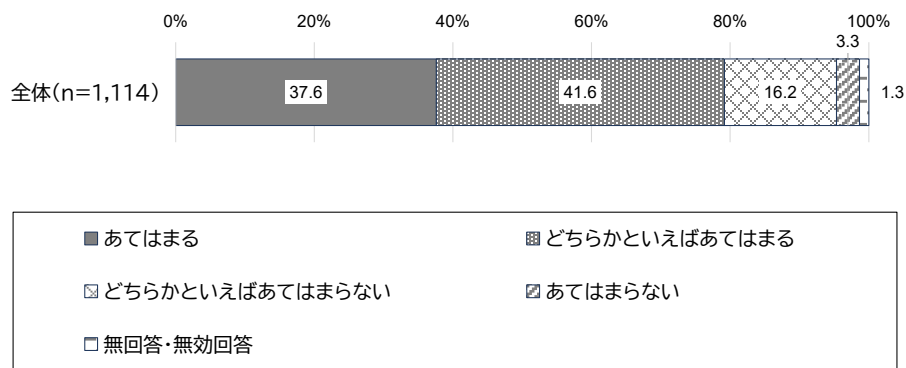
前回調査と比較すると、「あてはまる」と回答した割合は、今回調査は 37.6%、前回調査は 32.0%で、5.6 ポイント増加した。

生活満足 低位(n=148)では、「あてはまる」が 29.7%、「どちらかといえばあてはまる」が 42.6%であった。

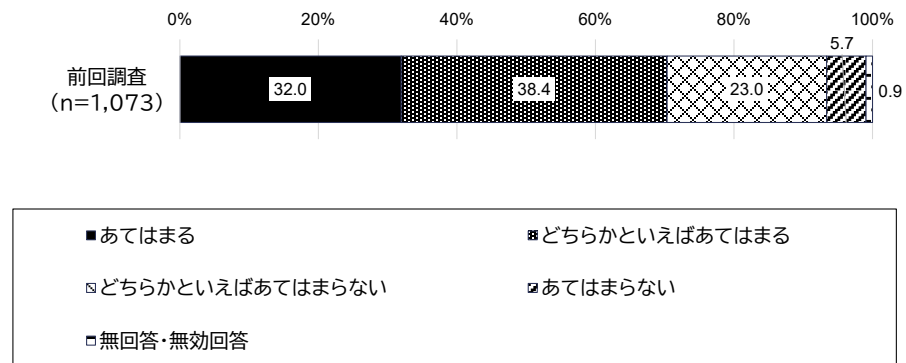
【中学2年生保護者問 6C】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

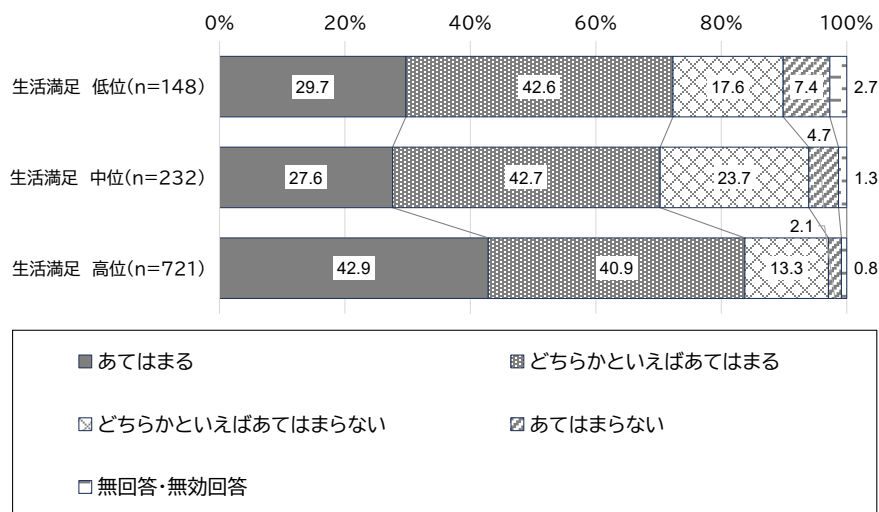
図表 5-21 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況 (単純集計)



図表 5-22 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況 (前回調査 単純集計)



図表 5-23 「休みの日にお子さんと一緒に外出をする」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

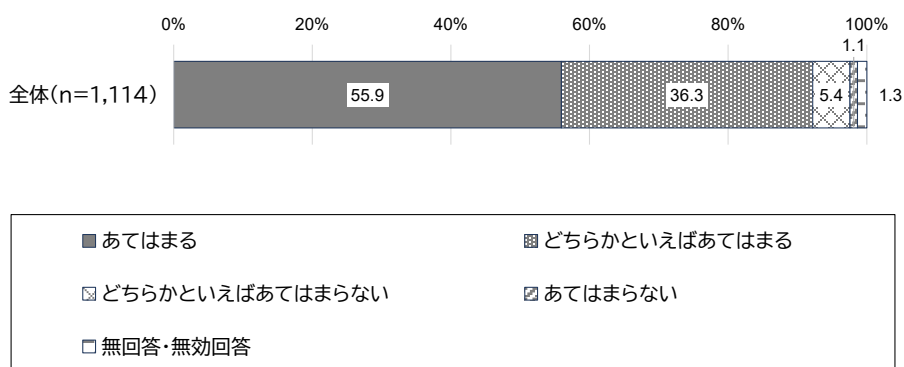


「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」は、「あてはまる」が 55.9%、「どちらかといえばあてはまる」が 36.3%であった。  
 困窮層(n=56)では、「あてはまる」が 44.6%、「どちらかといえばあてはまる」が 35.7%であった。  
 生活満足 低位(n=148)では、「あてはまる」が 43.9%、「どちらかといえばあてはまる」が 45.3%であった。

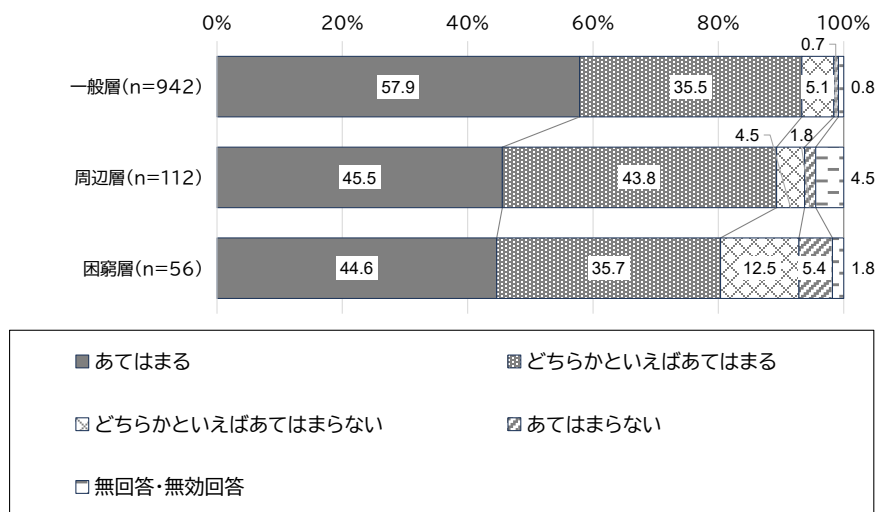
【中学2年生保護者問 6D】

子育ての中で、あなたは次のようなことをしていますか。(単一回答)

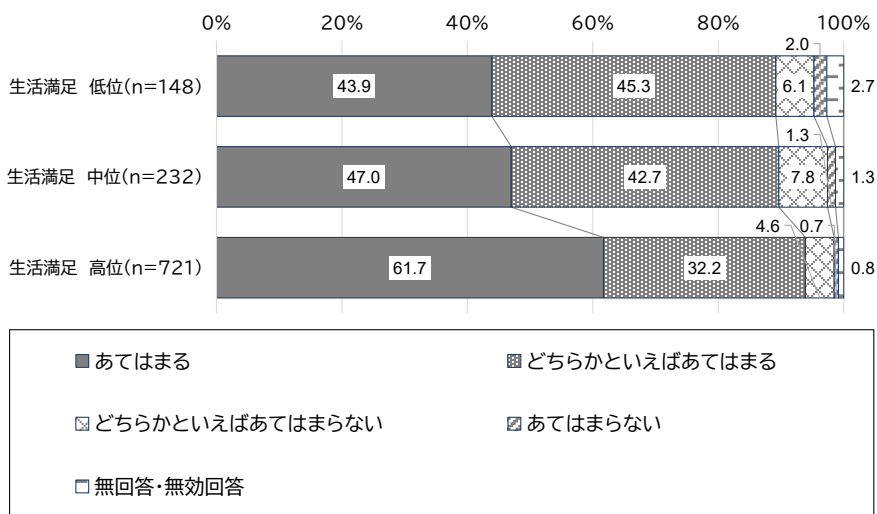
図表 5-24 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況（単純集計）



図表 5-25 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況  
(生活困難層別クロス集計)



図表 5-26 「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」の実施状況  
(生活満足度別クロス集計)



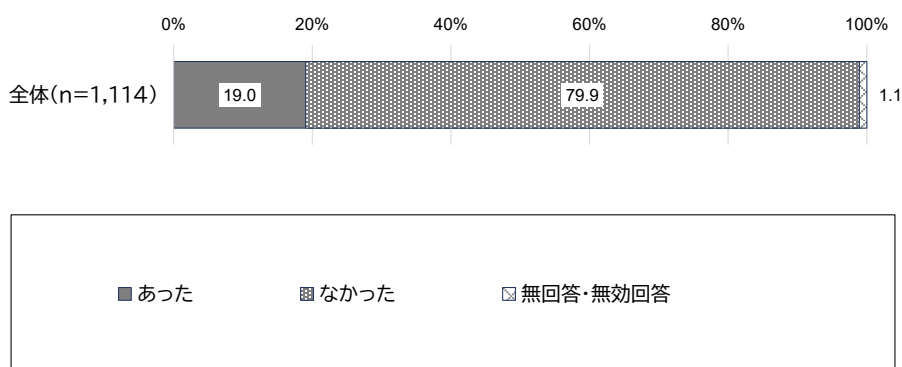
## イ 過去1年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験

過去1年間に、子どもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった経験については、「なかった」が79.9%、「あった」が19.0%であった。

【中学2年生保護者問 7】

過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(単一回答)

図表 5-27 過去1年間に回答者の子どもを医療機関で受診させなかった経験 (単純集計)



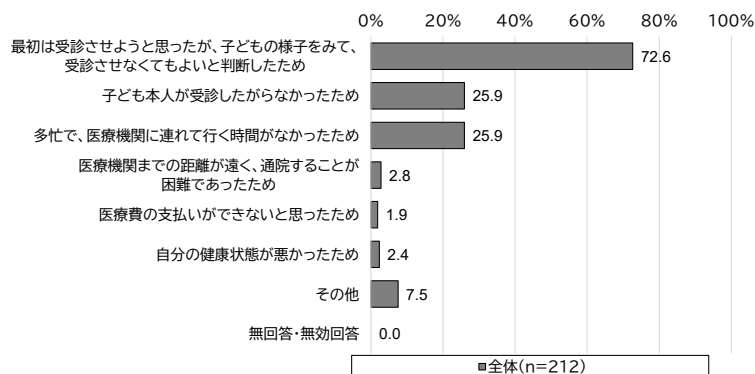
## ウ 医療機関を受診させなかった理由

問7で、過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことが「あった」と回答した方に、その理由について尋ねたところ、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が72.6%と最も多く、「子ども本人が受診しなかったため」「子ども本人が受診しなかったため」「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」がいずれも25.9%であった。

【中学2年生保護者問 7-1】

問7で「1. あった」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

図表 5-28 子どもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった理由 (単純集計)



## 工 発達に関する医師の診断

子どもの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがあるかどうかについては、「受けたことはない」が90.3%、「受けたことがある」が8.4%であった。

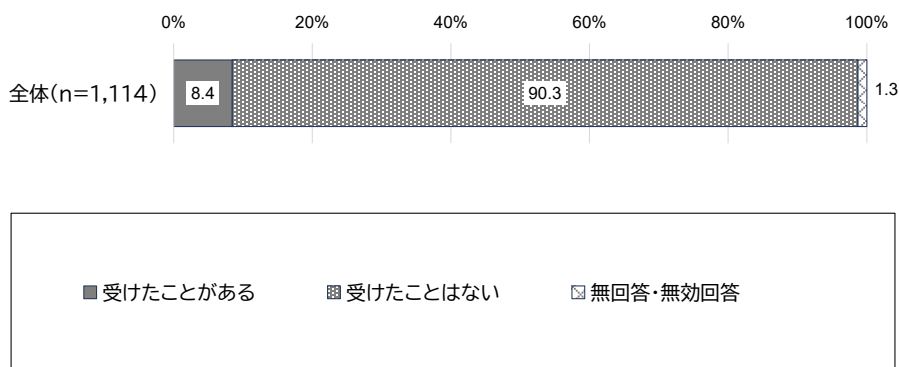
困窮層(n=56)では、「受けたことはない」が71.4%と最も多く、「受けたことがある」が26.8%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「受けたことはない」が79.7%と最も多く、「受けたことがある」が18.2%であった。

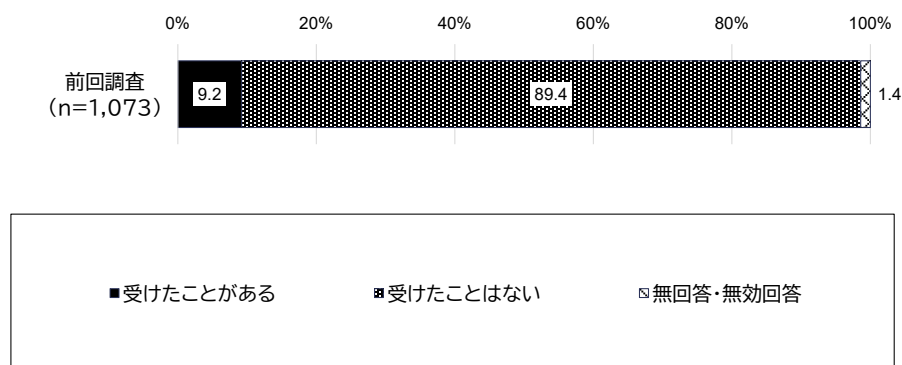
### 【中学2年生保護者問 8】

お子さんの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがありますか。(単一回答)

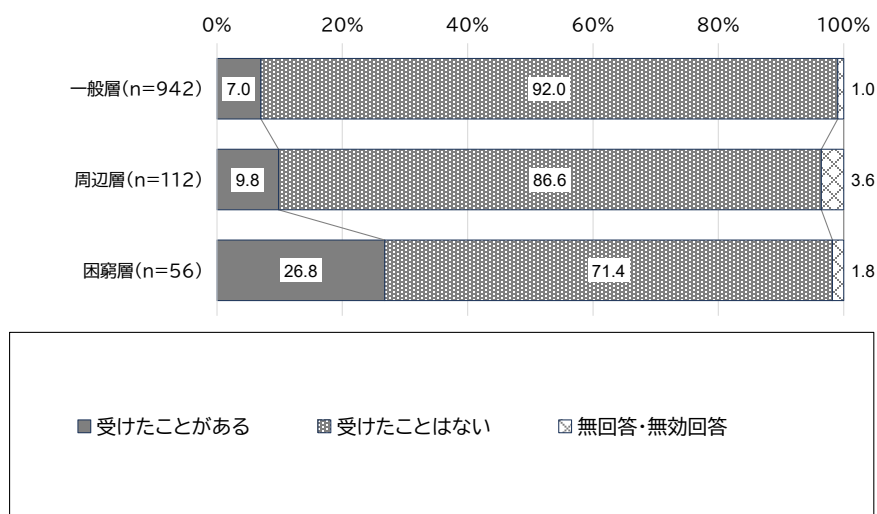
図表 5-29 回答者の子どもの発達に関する医師の診断 (単純集計)



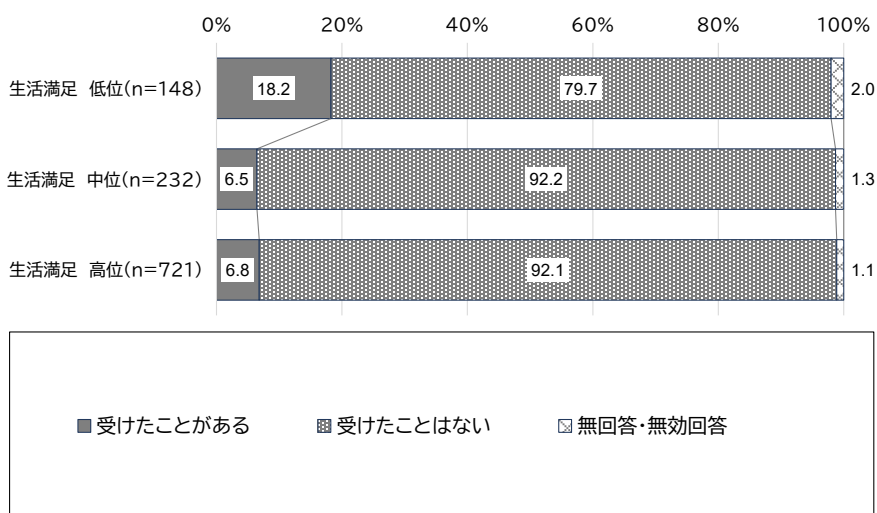
図表 5-30 回答者の子どもの発達に関する医師の診断 (前回調査 単純集計)



図表 5-31 回答者の子どもの発達に関する医師の診断（生活困窮層別クロス集計）



図表 5-32 回答者の子どもの発達に関する医師の診断（生活満足度別クロス集計）



## オ 医師の診断結果

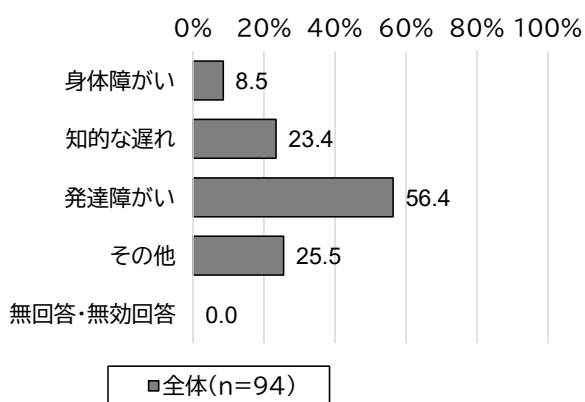
問 8 で子どもの発達に関して何らかの医師の診断を「受けたことがある」と回答した方に対して、医師の診断結果について尋ねたところ、「発達障がい」が 56.4%と最も多く、「知的な遅れ」が 23.4%、「身体障がい」が 8.5%であった。

前回調査と比較すると、「発達障がい」と回答した割合は、今回調査は 56.4%、前回調査は 28.3%で、28.1 ポイント増加、「知的な遅れ」と回答した割合は、今回調査は 23.4%、前回調査は 7.1%で、16.3 ポイント増加した。

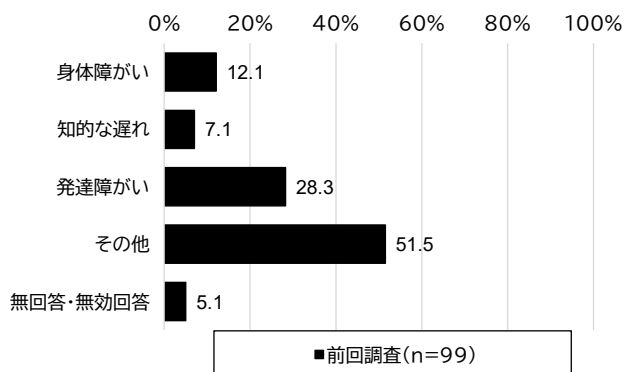
【中学2年生保護者問 8-1】

問8で「1. 受けたことがある」を選んだ方にうかがいます。それはどのような診断ですか。(複数回答)

図表 5-33 発達に関する診断結果（単純集計）



図表 5-34 発達に関する診断結果（前回調査 単純集計）



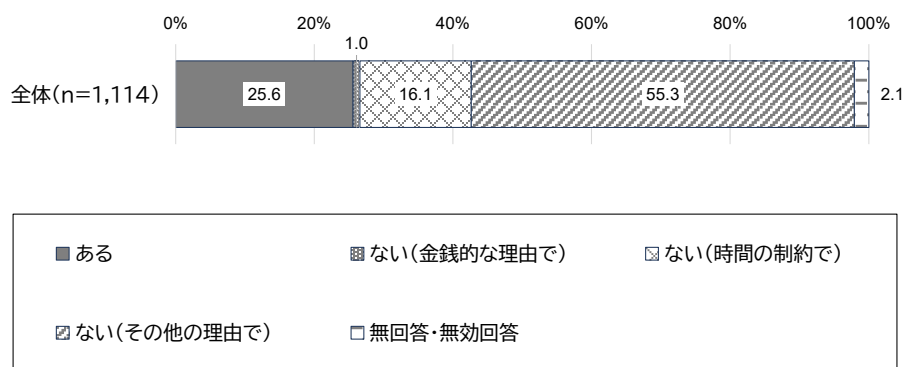
## カ 体験の剥奪

「海水浴に行く」は、「ない(金銭的な理由で)」は 1.0%であった。

【中学2年生保護者問 9A】

過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 5-35 「海水浴に行く」の実施状況 (単純集計)



「博物館・美術館・水族館などに行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、3.1%であった。

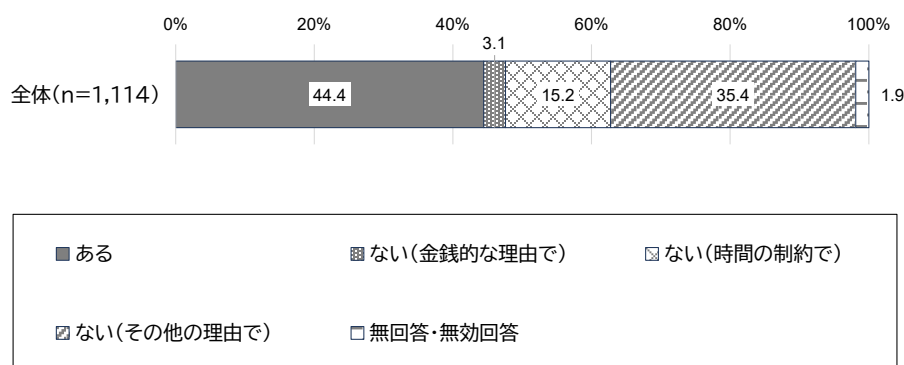
困窮層(n=56)では、「ない(金銭的な理由で)」が 26.8%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「ない(金銭的な理由で)」が、12.8%であった。

【中学2年生保護者問 9B】

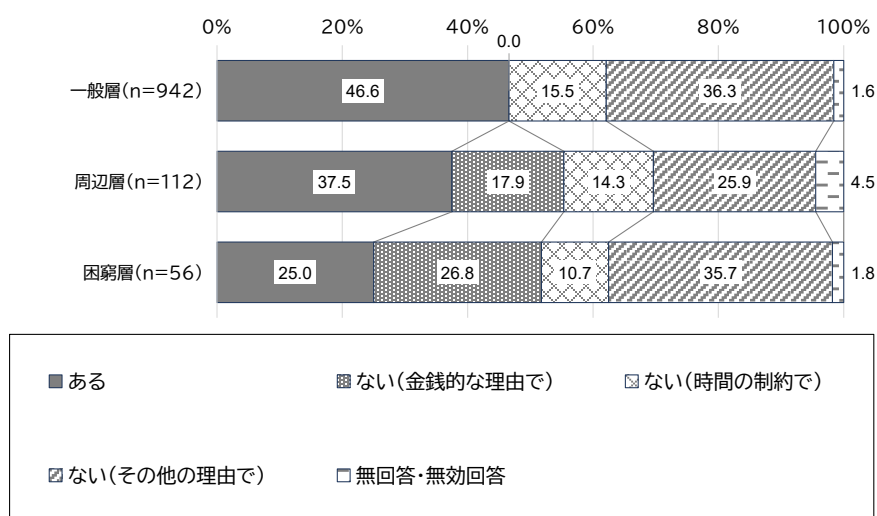
過去 1 年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 5-36 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況 (単純集計)

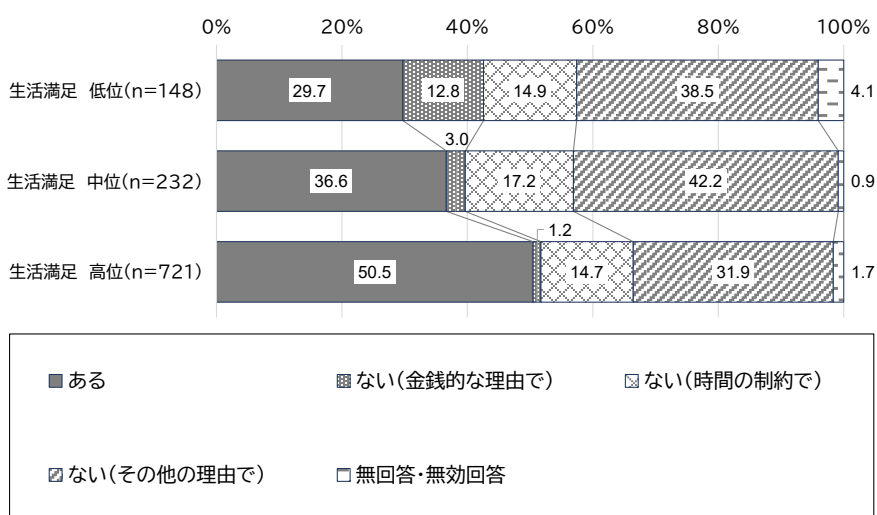




図表 5-37 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）<sup>33</sup>



図表 5-38 「博物館・美術館・水族館などに行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



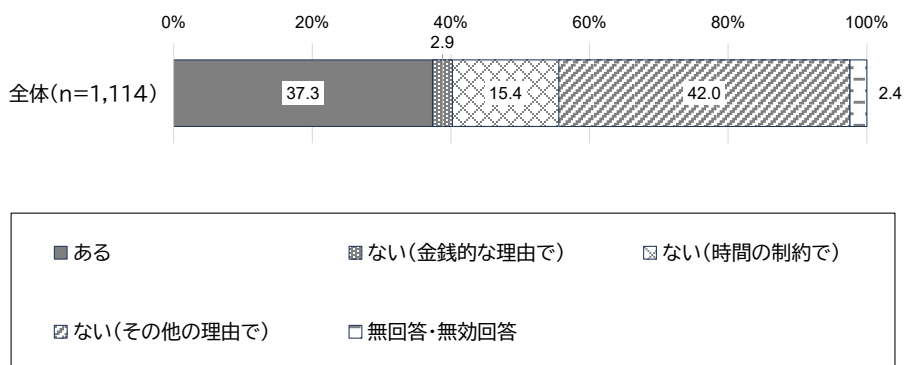
<sup>33</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「キャンプやバーベキューに行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、2.9%であった。  
 困窮層(n=56)では、「ない(金銭的な理由で)」が 25.0%であった。  
 生活満足 低位(n=148)では、「ない(金銭的な理由で)」が 13.5%であった。

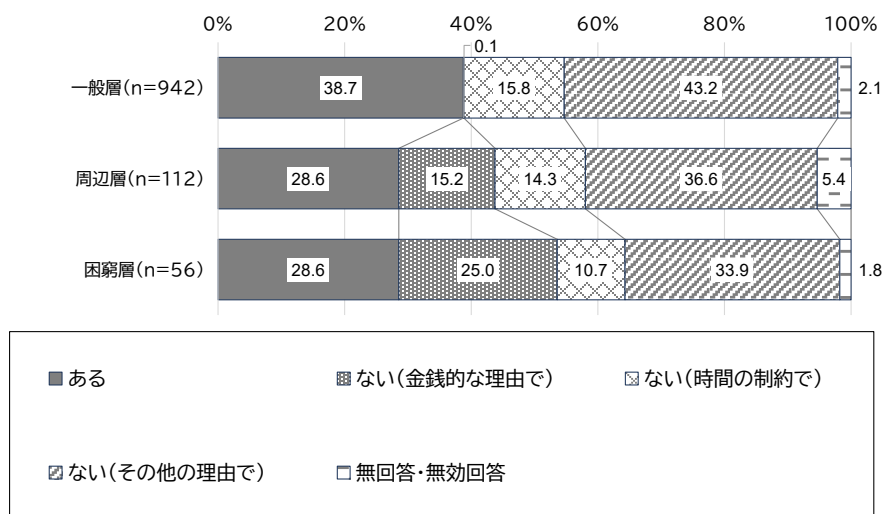
【中学2年生保護者問 9C】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 5-39 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況 (単純集計)

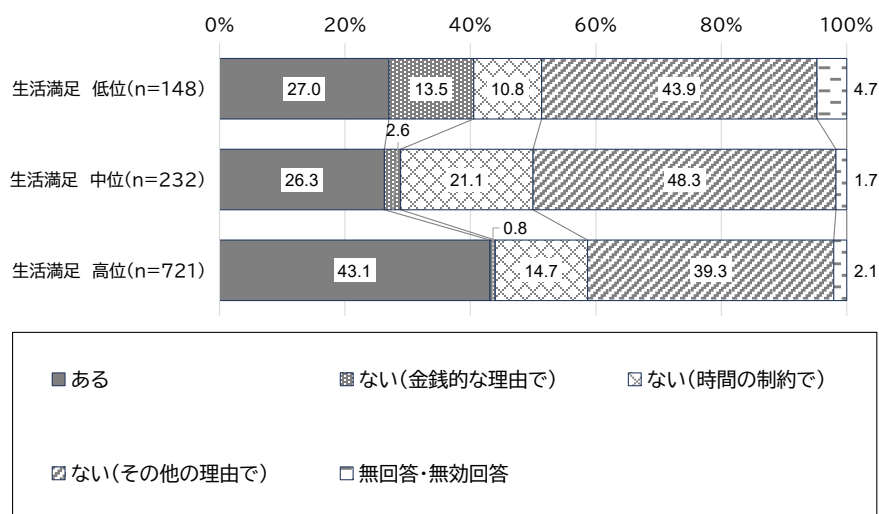


図表 5-40 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)<sup>34</sup>



<sup>34</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 5-41 「キャンプやバーベキューに行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

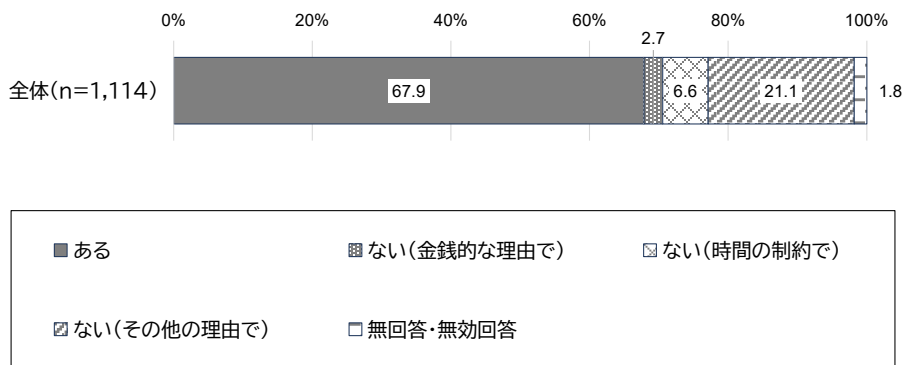


「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、2.7%であった。

【中学2年生保護者問 9D】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 5-42 「スポーツ観戦や劇場、映画に行く」の実施状況（単純集計）

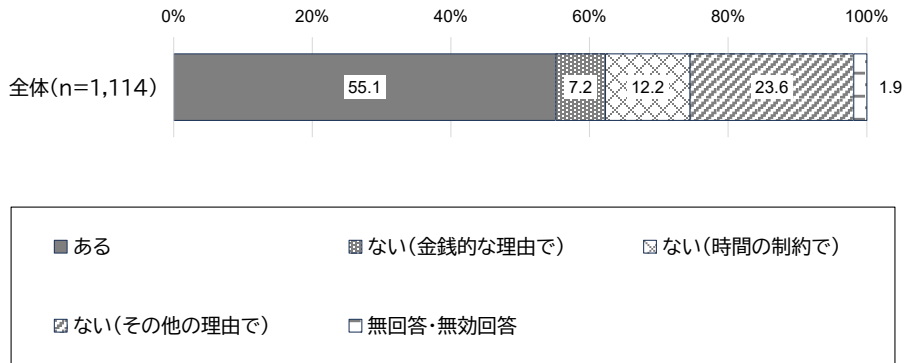


「遊園地やテーマパークに行く」は、「ない(金銭的な理由で)」が、7.2%であった。

【中学2年生保護者問 9E】

過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(単一回答)

図表 5-43 「遊園地やテーマパークに行く」の実施状況 (単純集計)



## キ 家庭での経験の剥奪

「毎月おこづかいを渡す」は、「経済的にできない」が 3.3%であった。

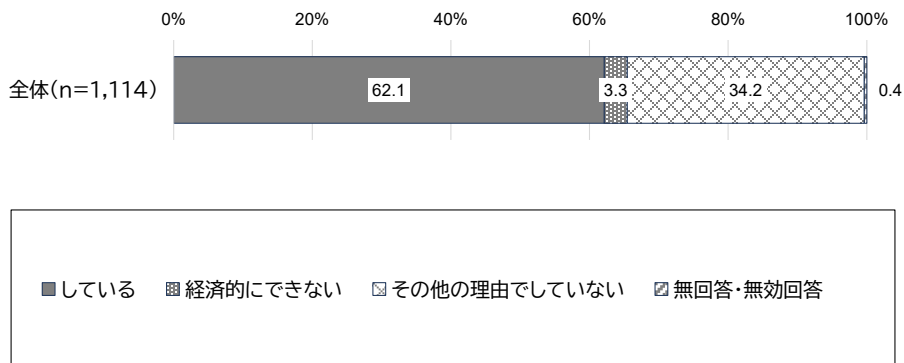
ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「経済的にできない」が 10.1%であった。

困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が 30.4%であった。

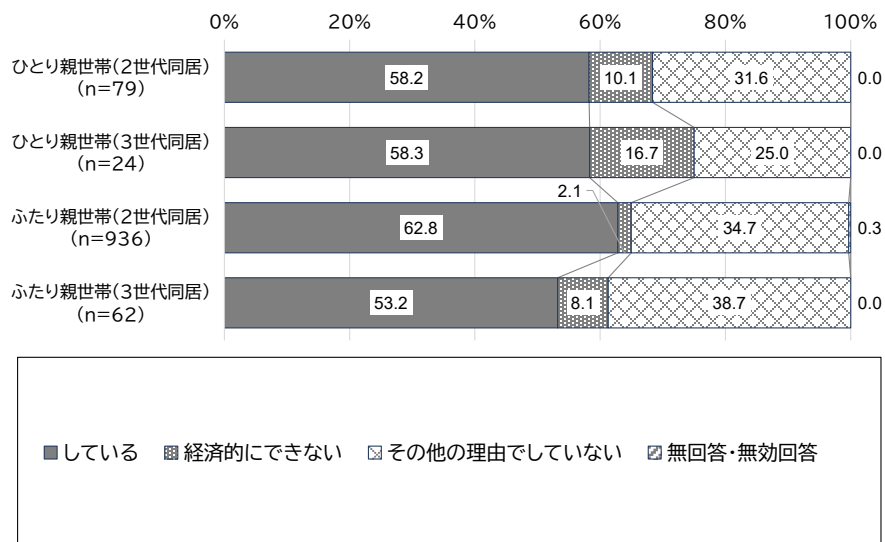
【中学2年生保護者問 10A】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

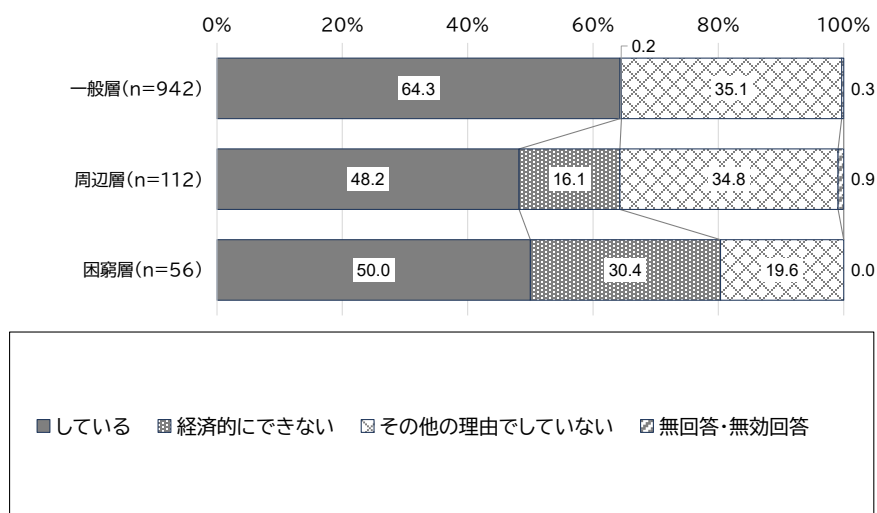
図表 5-44 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況 (単純集計)



図表 5-45 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-46 「毎月おこづかいを渡す」の実施状況（生活困難層別クロス集計）<sup>35</sup>



<sup>35</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

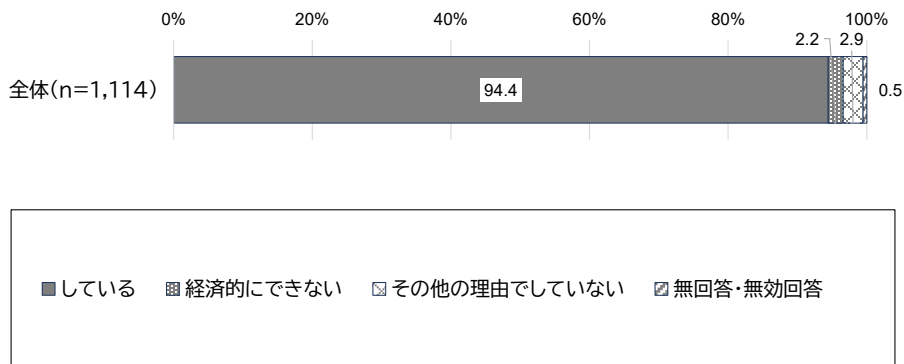
「毎年新しい洋服・靴を買う」は、「経済的にできない」が 2.2%であった。

困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が 23.2%であった。

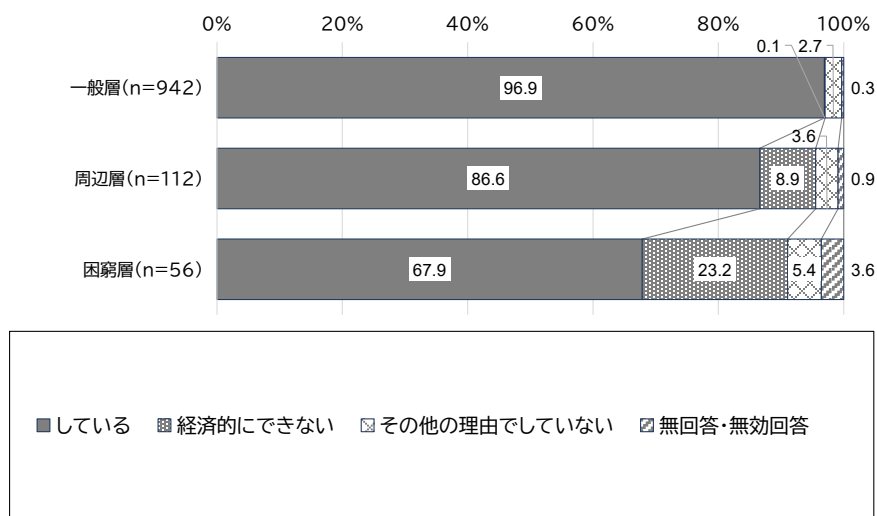
【中学2年生保護者問 10B】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 5-47 「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施状況 (単純集計)



図表 5-48 「毎年新しい洋服・靴を買う」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)<sup>36</sup>



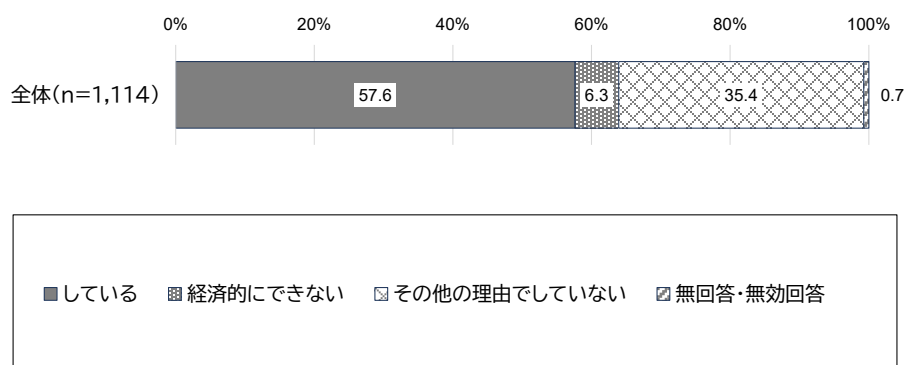
<sup>36</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる)」は、「経済的にできない」が6.3%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「経済的にできない」が16.5%であった。  
 困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が48.2%であった。  
 生活満足 低位(n=148)では、「経済的にできない」が20.3%であった。

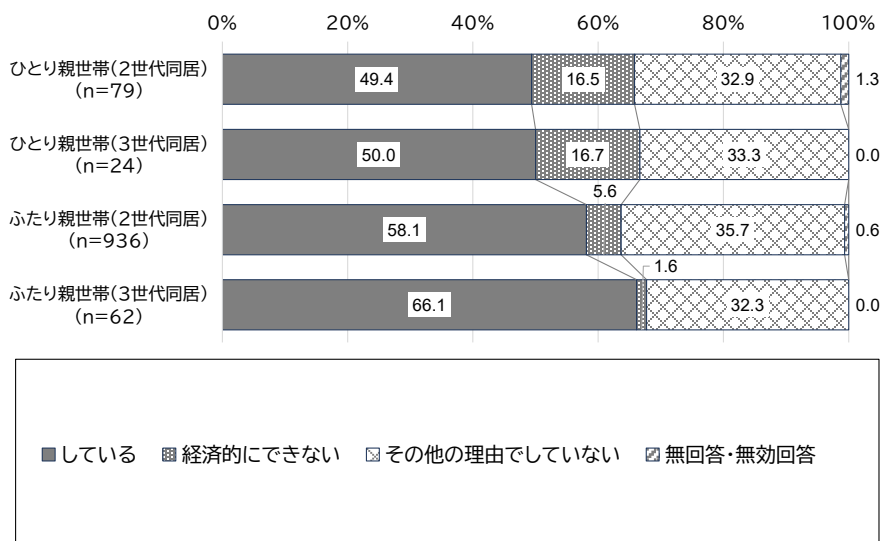
【中学2年生保護者問 10C】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

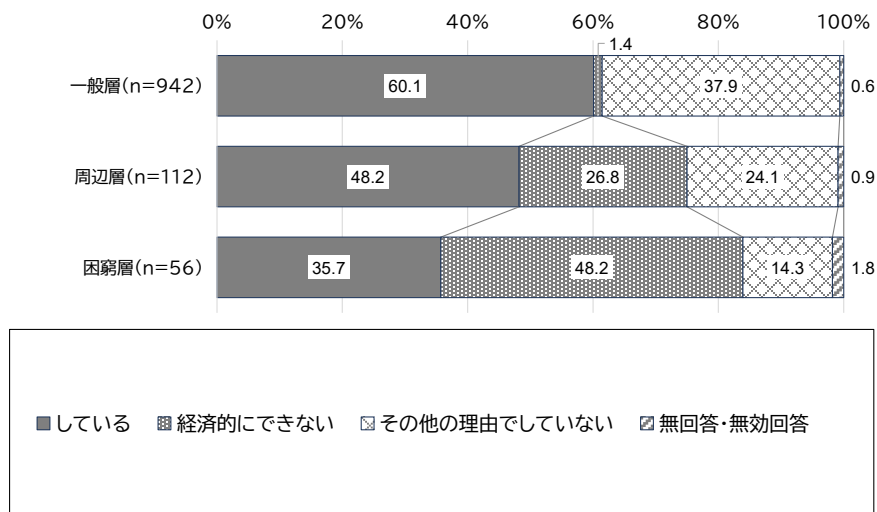
図表 5-49 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (単純集計)



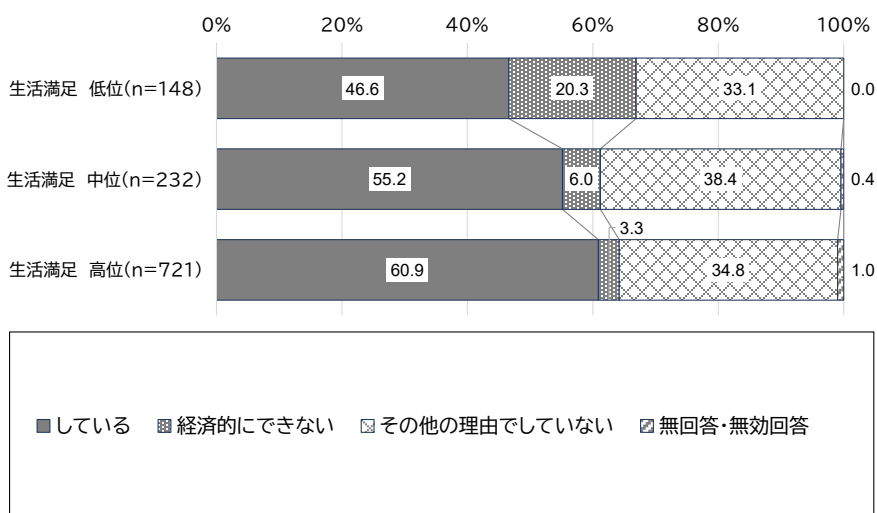
図表 5-50 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-51 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)<sup>37</sup>



図表 5-52 「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」の実施状況 (生活満足度別クロス集計)



<sup>37</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

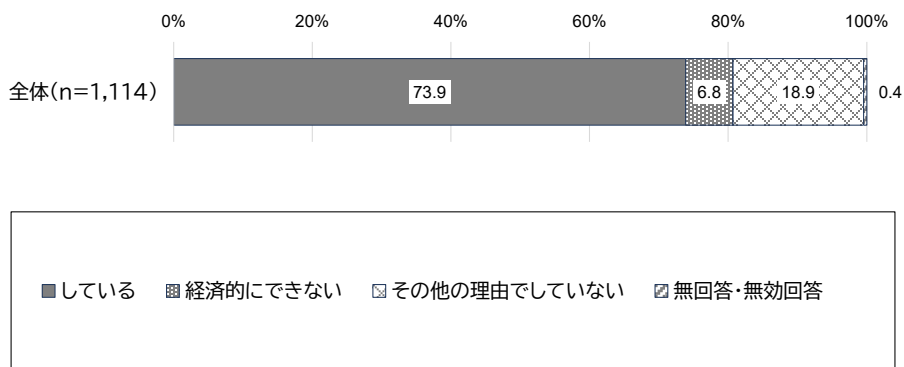


「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」は、「経済的にできない」が 6.8%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「経済的にできない」が 19.0%であった。  
 困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が 55.4%であった。  
 生活満足 低位(n=148)では、「経済的にできない」が 21.6%であった。

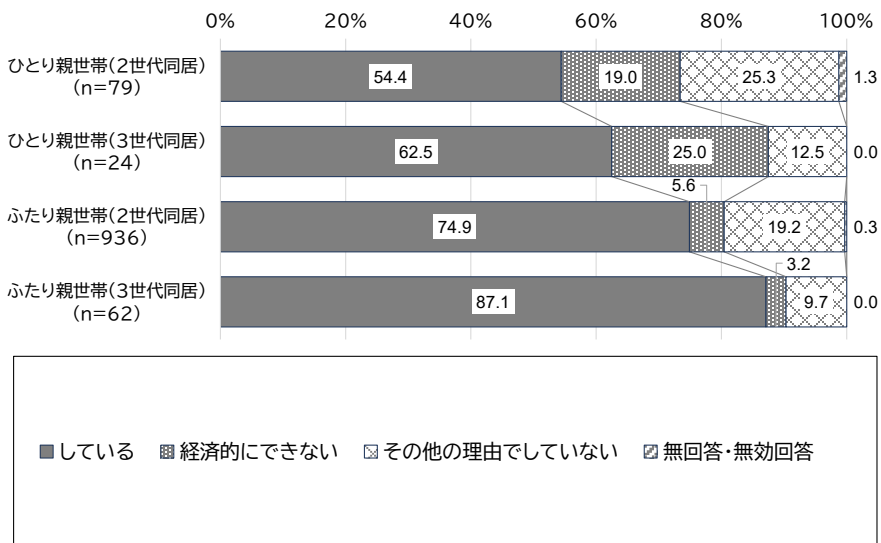
【中学2年生保護者問 10D】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

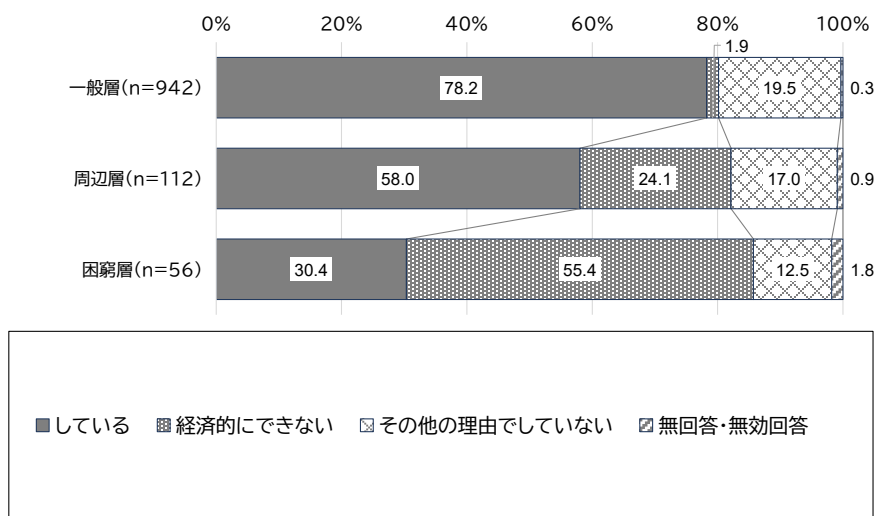
図表 5-53 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況 (単純集計)



図表 5-54 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況 (世帯タイプ別クロス集計)

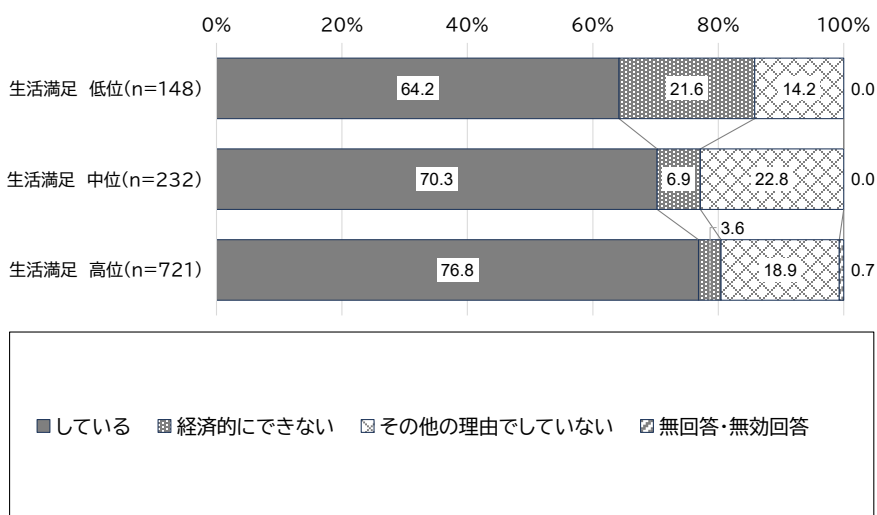


図表 5-55 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況 (生活困難層別クロス集計)



38

図表 5-56 「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」の実施状況 (生活満足度別クロス集計)



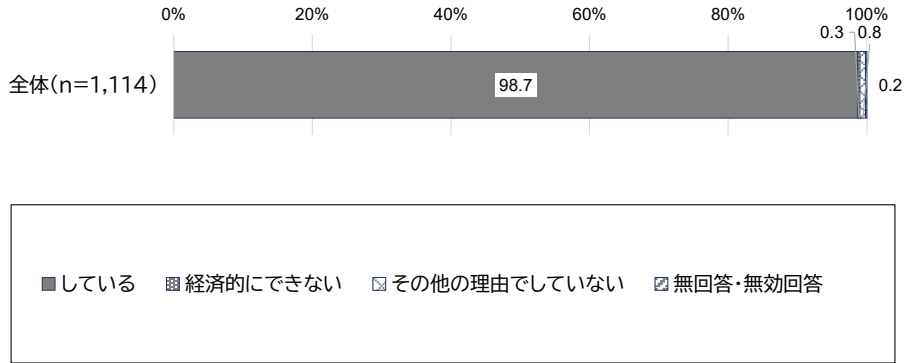
38 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

「お誕生日のお祝いをする」は、「経済的にできない」が0.3%であった。

【中学2年生保護者問 10E】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

図表 5-57 「お誕生日のお祝いをする」の実施状況 (単純集計)



「1年に1回くらい家族旅行に行く」は、「経済的にできない」が10.4%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「経済的にできない」が25.3%であった。

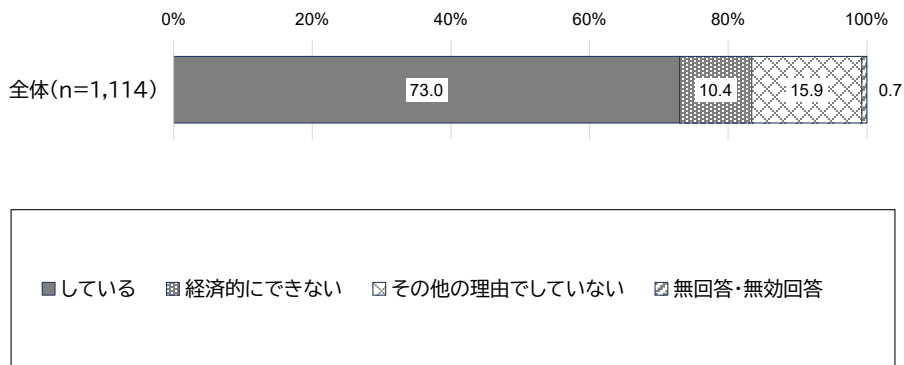
困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が71.4%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「経済的にできない」が32.4%であった。

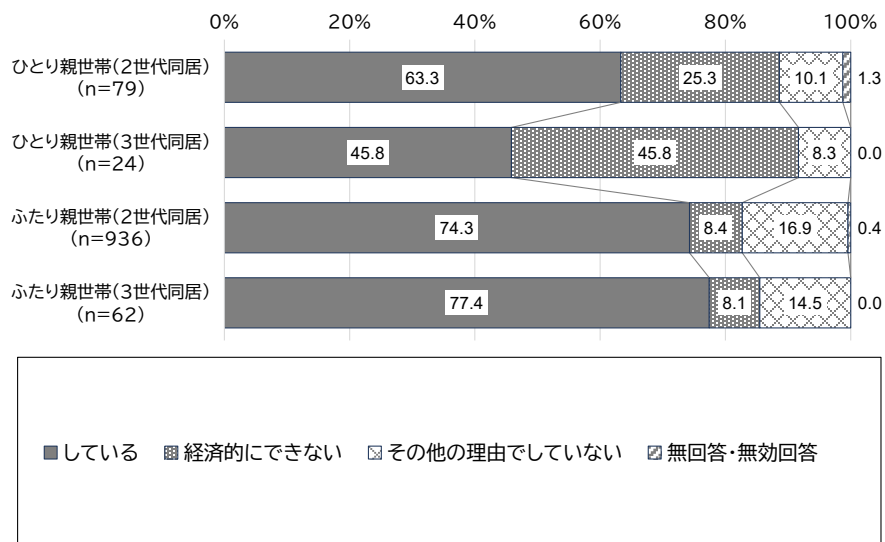
【中学2年生保護者問 10F】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

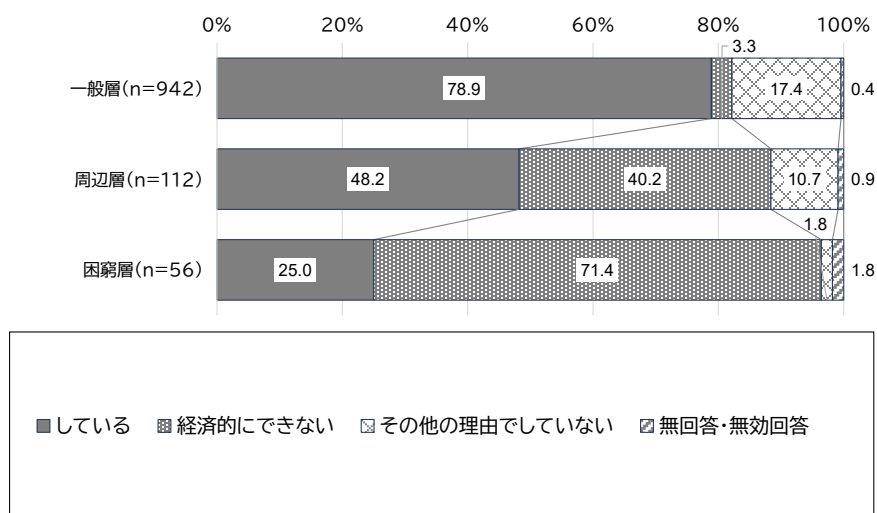
図表 5-58 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況 (単純集計)



図表 5-59 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）

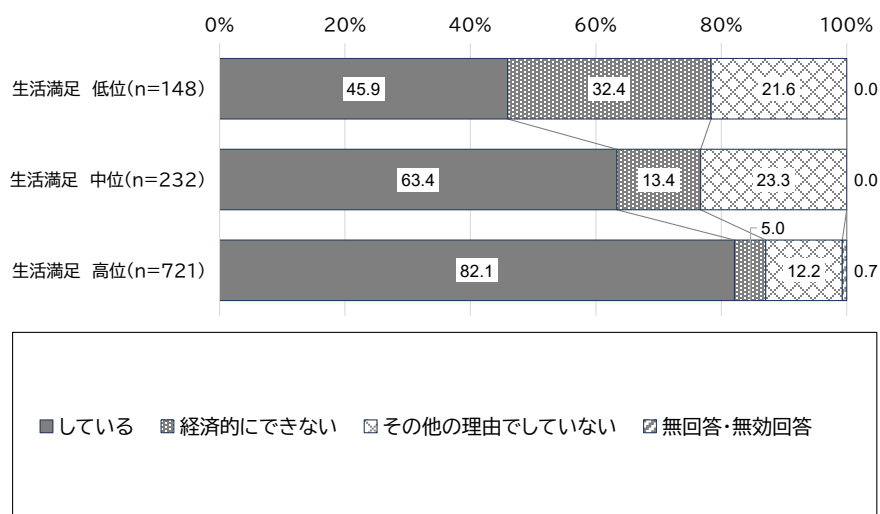


図表 5-60 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（生活困難層別クロス集計）<sup>39</sup>



<sup>39</sup> 生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 5-61 「1年に1回くらい家族旅行に行く」の実施状況（生活満足度別クロス集計）

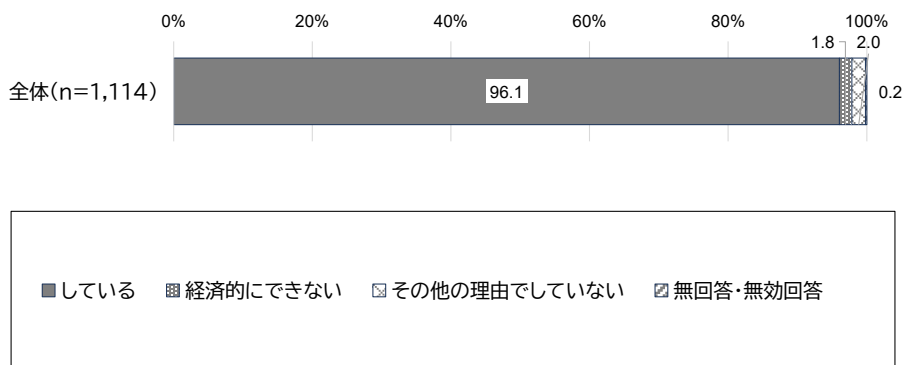


「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」は、「経済的にできない」が 1.8%であった。

【中学2年生保護者問 10G】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（単一回答）

図表 5-62 「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」の実施状況（単純集計）

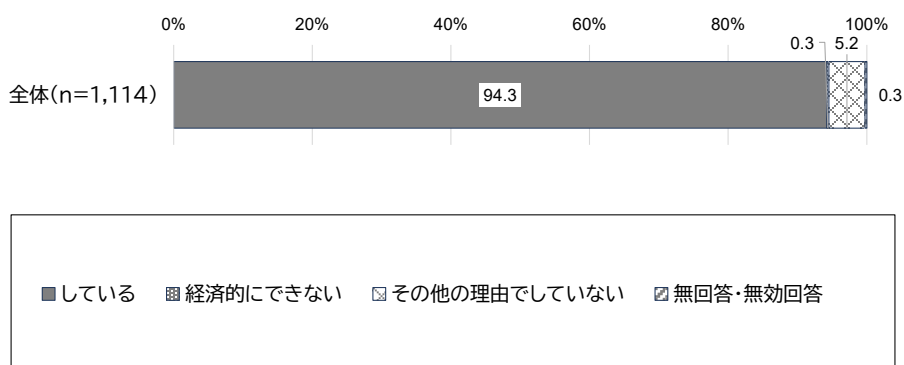


「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」は、「経済的にできない」が 0.3%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「経済的にできない」が 2.5%であった。  
 困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が 3.6%であった。  
 生活満足 低位(n=148)では、「経済的にできない」が 0.7%であった。

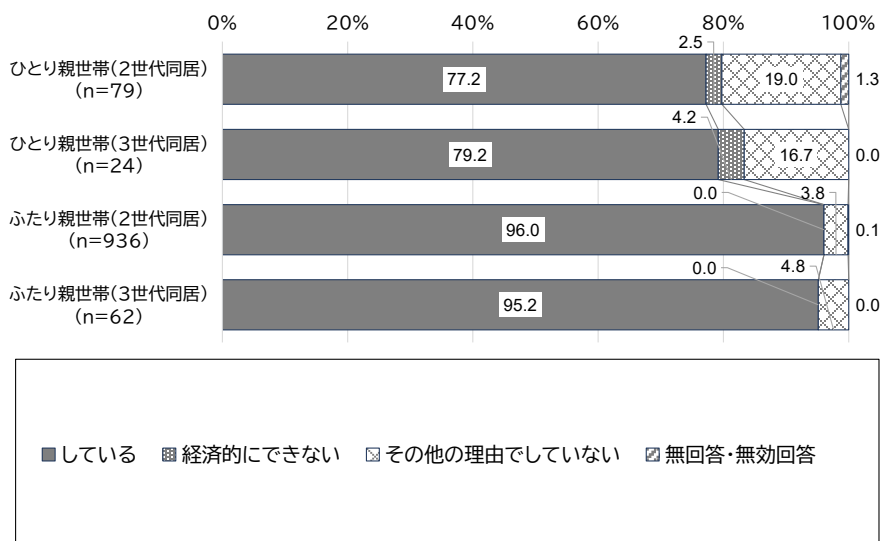
【中学2年生保護者問 10H】

あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A~Hについて、「1 している」「2 経済的にできない」「3 その他の理由でしていない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(単一回答)

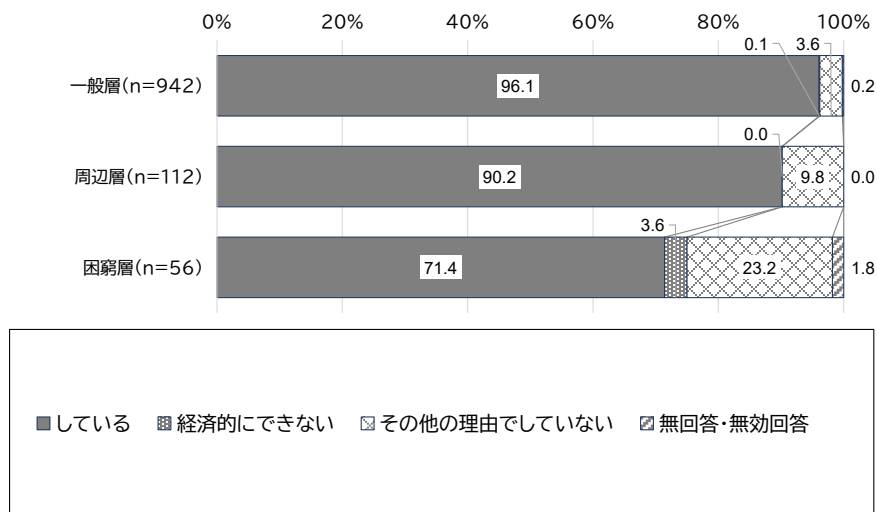
図表 5-63 「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」の実施状況（単純集計）



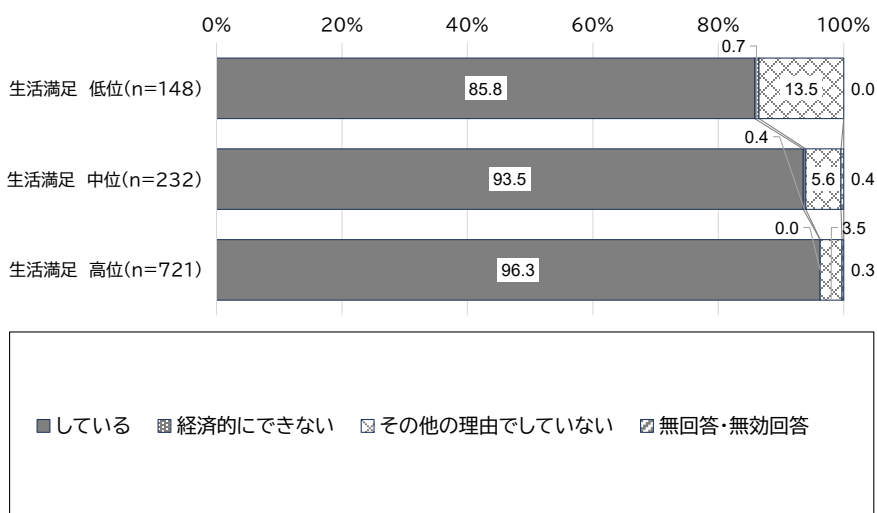
図表 5-64 「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」の実施状況（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-65 「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」の実施状況（生活困難層別クロス集計）



図表 5-66 「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」の実施状況（生活満足度別クロス集計）



## ク 経済的理由で世帯にないもの

経済的理由のために世帯にないものを尋ねたところ、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 75.5%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 6.7%、「自家用車」が 5.1%、「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 2.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 49.4%であった。世帯にないものに関する回答では、「自家用車」が 27.8%、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 15.2%、「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 11.4%であった。

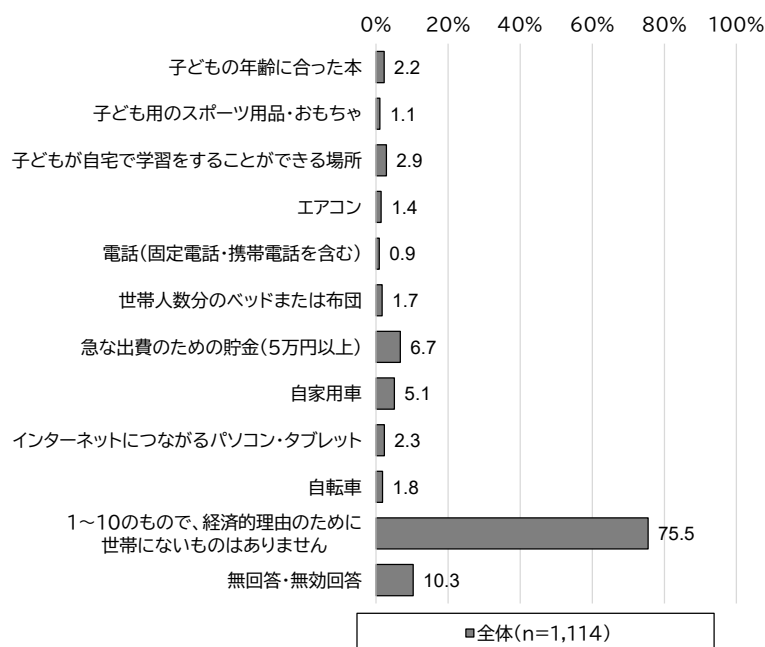
困窮層(n=56)では、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 10.7%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 62.5%、「子どもの年齢に合った本」が 30.4%、「自家用車」が 25.0%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「1～10 のもので、経済的理由のために世帯にないものはありません」と回答した割合が 60.1%であった。世帯にないものに関する回答では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 20.9%、「自家用車」が 9.5%、「子どもの年齢にあった本」「子どもが自宅で学習をすることができる場所」が 7.4%であった。

### 【中学2年生保護者問 11】

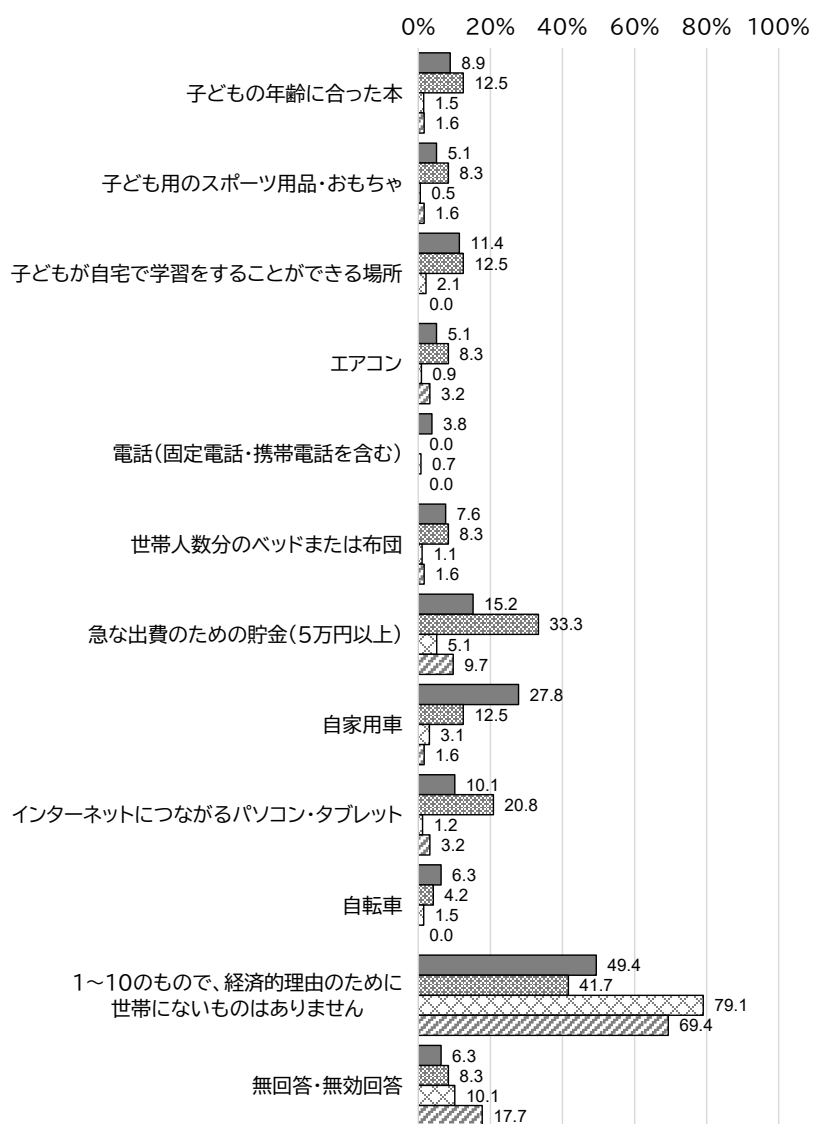
次のうち、経済的理由のために、あなたの世帯にないものはありますか。(複数回答)

図表 5-67 経済的理由で世帯にないもの (単純集計)



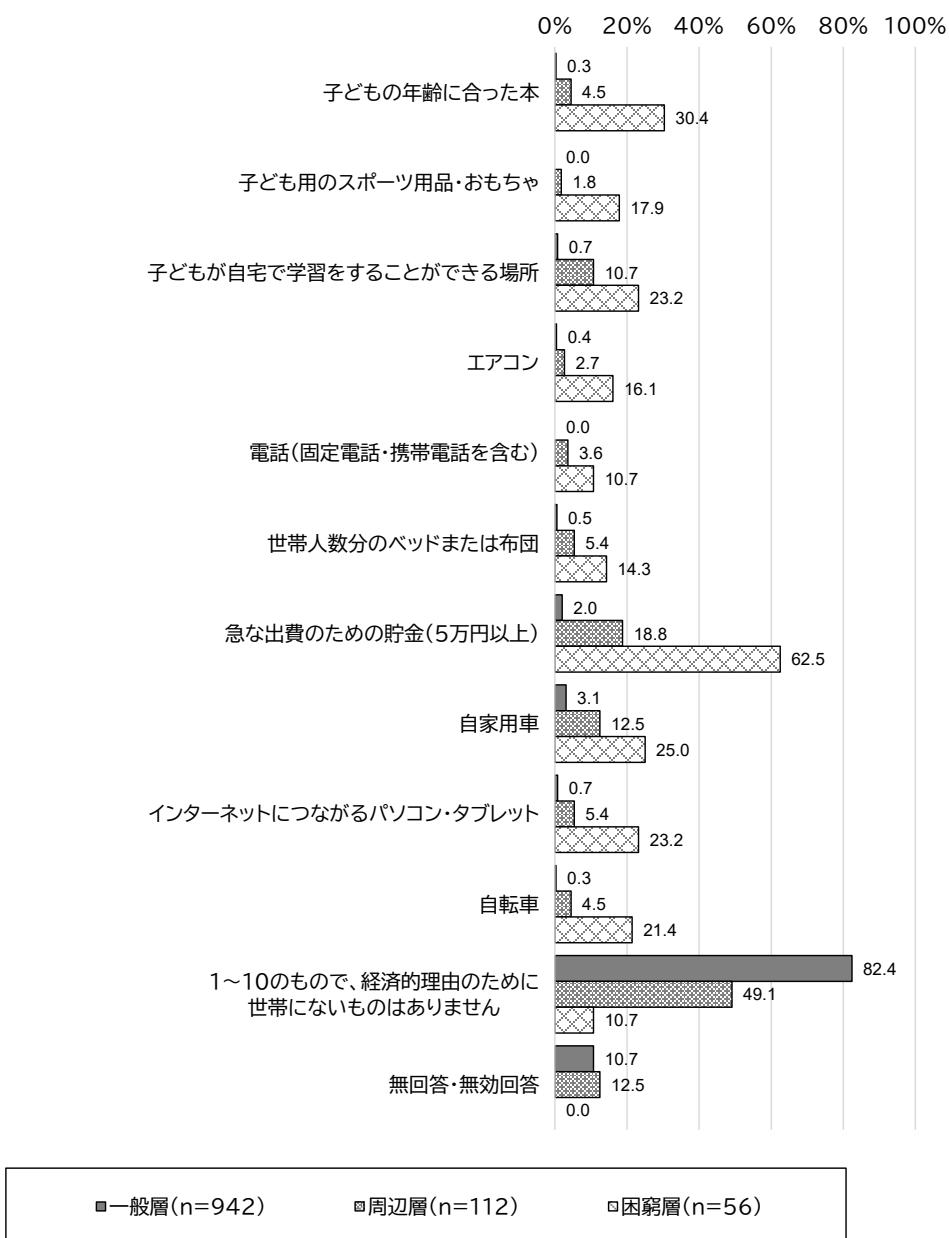


図表 5-68 経済的理由で世帯にないもの（世帯タイプ別クロス集計）



■ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)	▨ひとり親世帯(3世代同居)(n=24)
▩ふたり親世帯(2世代同居)(n=936)	▧ふたり親世帯(3世代同居)(n=62)

図表 5-69 経済的理由で世帯にないもの（生活困難層別クロス集計）<sup>40</sup>



<sup>40</sup> 「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」「子どもが自宅で学習をすることができる場所」の選択肢は、生活困難層の「子どもの体験や所有物の欠如」の判定要素である点に留意が必要である。

図表 5-70 経済的理由で世帯にないもの（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=148)   ■生活満足 中位(n=232)   ■生活満足 高位(n=721)

## ケ 進学への希望

子どもにどの段階までの教育を受けさせたいと希望しているか尋ねたところ、「大学またはそれ以上」が74.9%と最も多く、「まだわからない」が11.2%、「高専・短大・専門学校等まで」が8.9%であった。

前回調査と比較すると、お子さんに、「大学またはそれ以上」の教育を受けさせたいと回答した割合は、今回調査は74.9%、前回調査は68.1%で、6.8ポイント増加した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「大学またはそれ以上」が59.5%と最も多く、「高専・短大・専門学校等まで」が16.5%、「まだわからない」が12.7%であった。

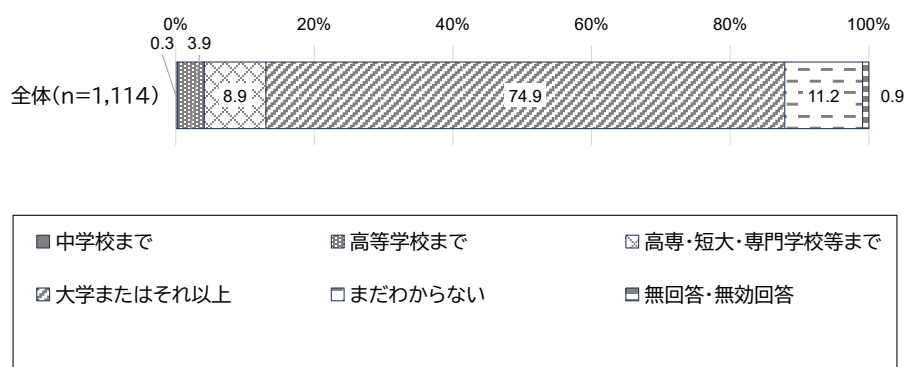
困窮層(n=56)では、「大学またはそれ以上」が44.6%と最も多く、「まだわからない」が21.4%、「高等学校まで」が19.6%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「大学またはそれ以上」が63.5%と最も多く、「高専・短大・専門学校等まで」が14.2%、「まだわからない」が12.8%であった。

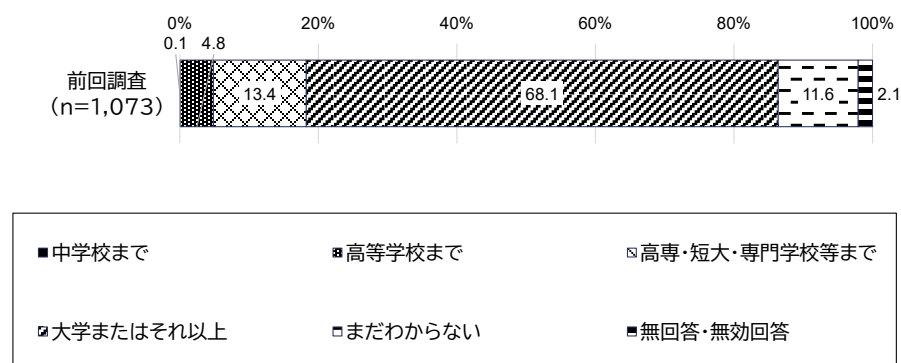
### 【中学2年生保護者問 12】

お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。(単一回答)

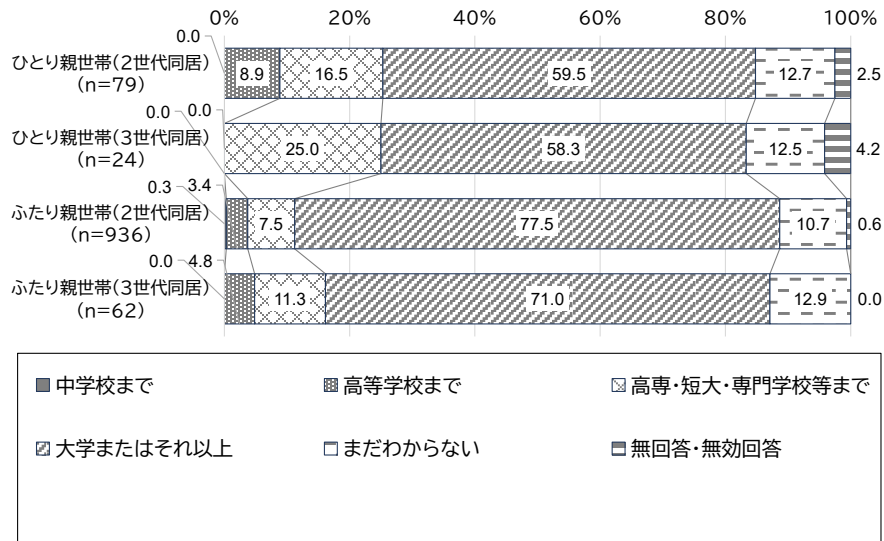
図表 5-71 子どもの進学への希望 (単純集計)



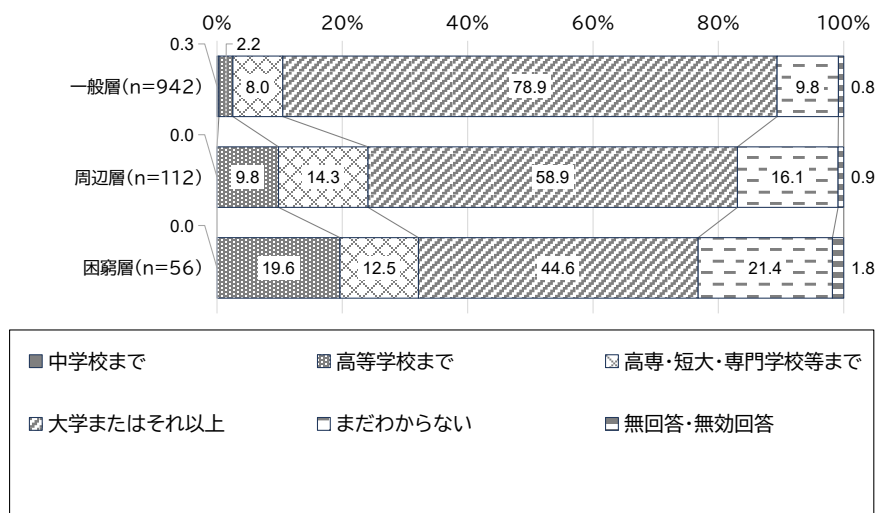
図表 5-72 子どもの進学への希望 (前回調査 単純集計)



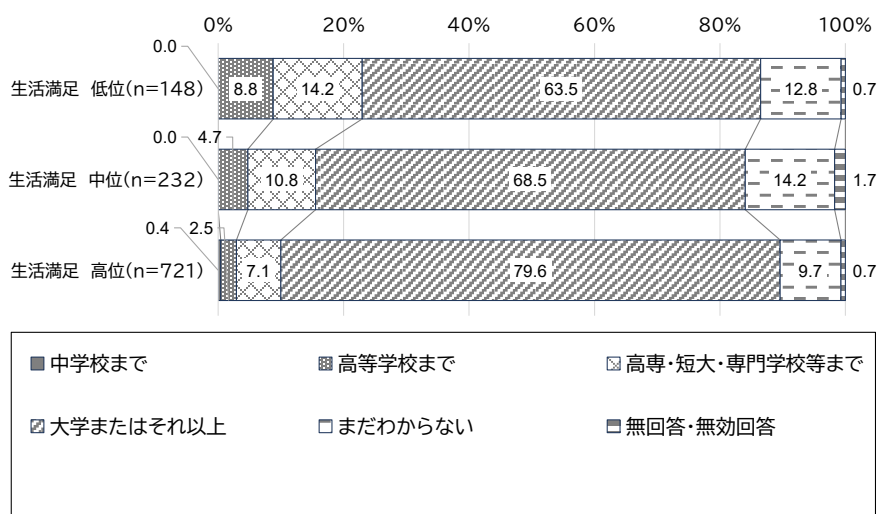
図表 5-73 子どもの進学への希望（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-74 子どもの進学への希望（生活困難層別クロス集計）



図表 5-75 子どもの進学への希望（生活満足度別クロス集計）



## コ 希望どおり進学すると思うか

問 12 で 5(まだわからない)以外の回答をした方に、子どもが希望どおりの学校まで進むことになると思うかどうか尋ねたところ、「思う」が 53.2%、「わからない」が 42.5%、「思わない」が 4.0%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=67)では、「わからない」が 49.3%と最も多く、「思う」が 43.3%、「思わない」が 7.5%であった。

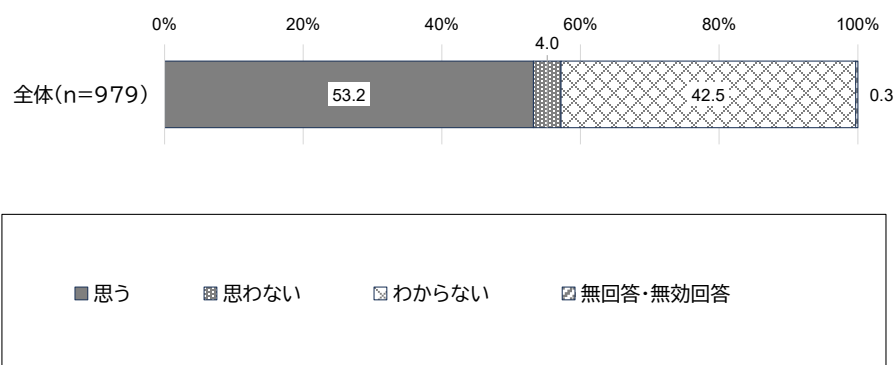
困窮層(n=43)では、「わからない」が 37.2%と最も多く、「思う」が 34.9%、「思わない」が 25.6%。

生活満足 低位(n=128)では、「わからない」が 53.1%と最も多く、「思う」が 33.6%、「思わない」が 11.7%であった。

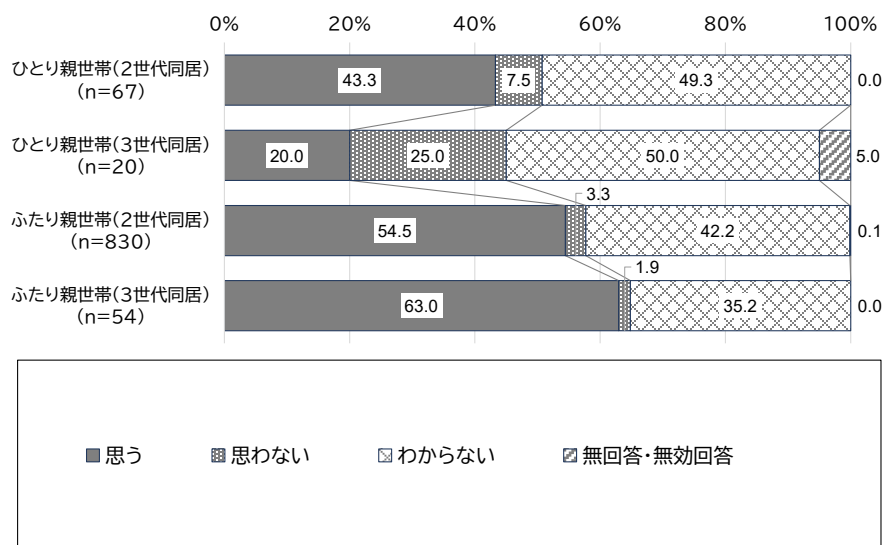
### 【中学2年生保護者問 12-1】

問 12 で「1」～「4」を選んだ方にうかがいます。あなたは、お子さんが問 12 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。(単一回答)

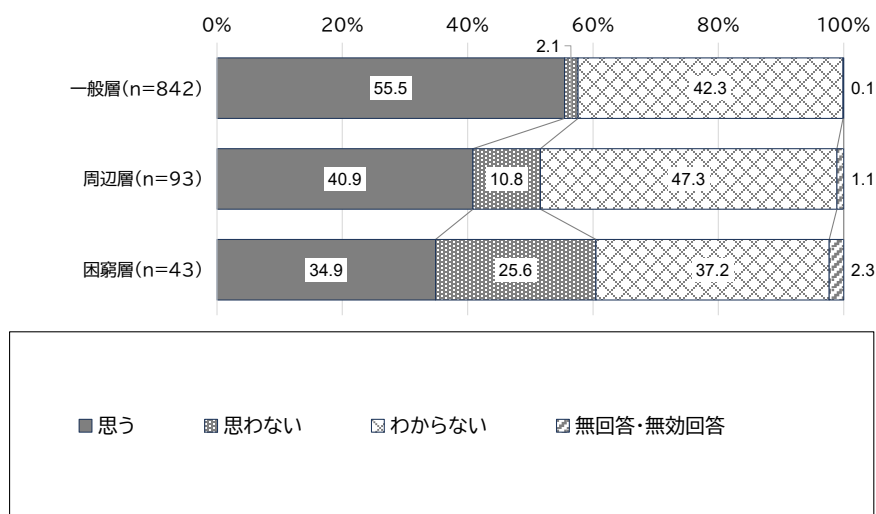
図表 5-76 希望どおり進学すると思うか（単純集計）



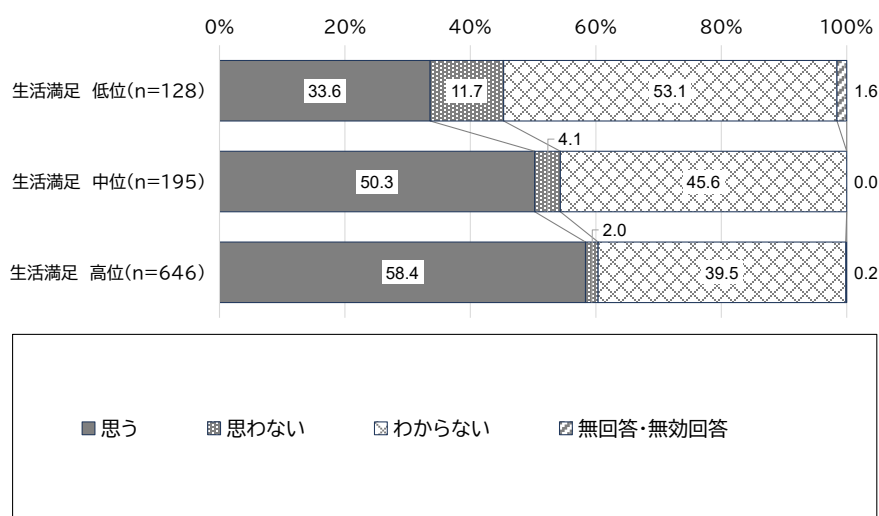
図表 5-77 希望どおり進学すると思うか（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-78 希望どおり進学すると思うか（生活困難層別クロス集計）



図表 5-79 希望どおり進学すると思うか（生活満足度別クロス集計）



### サ 希望どおりの学校に進まないと思う理由

問 12-1で2(思わない)を選んだ方に、その理由について尋ねたところ、「お子さんの学力から考えて」が 59.0%と最も多く、「経済的な余裕がないから」が 51.3%、「お子さんの希望と異なるから」が 23.1%であった。

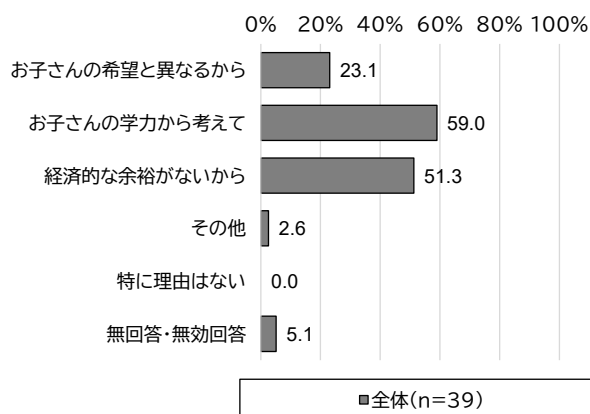
困窮層 (n=11)では、「お子さんの学力から考えて」「経済的な余裕がないから」が 72.7%と最も多く、「お子さんの希望と異なるから」が 27.3%であった。

生活満足 低位 (n=15)では、「経済的な余裕がないから」が 86.7%と最も多く、「お子さんの学力から考えて」が 60.0%、「お子さんの希望と異なるから」が 20.0%であった。

#### 【中学2年生保護者問 12-2】

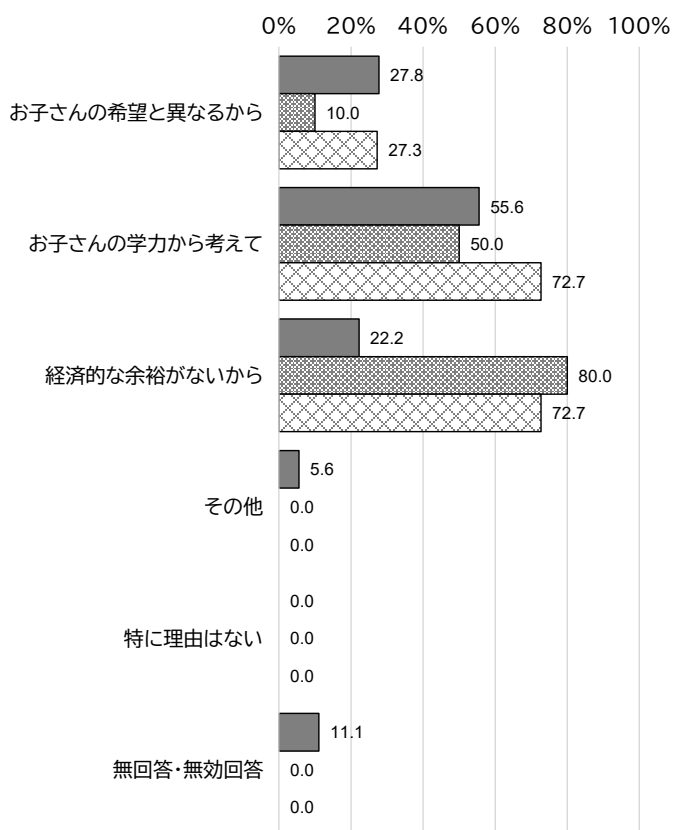
問 12-1で「2. 思わない」を選んだ方にうかがいます。その理由について教えてください。(複数回答)

図表 5-80 希望どおりの学校に進まないと思う理由（単純集計）



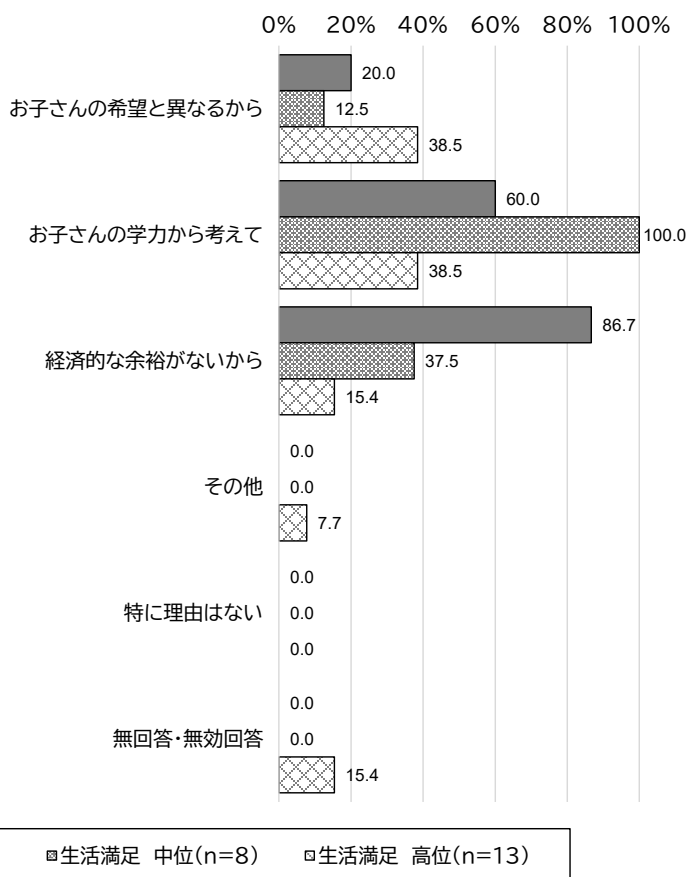


図表 5-81 希望どおりの学校に進まないと思う理由（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=18)    ▨周辺層(n=10)    ▩困窮層(n=11)

図表 5-82 希望どおりの学校に進まないと思う理由（生活満足度別クロス集計）



## シ 子育てに関する悩みごと

子育てに関する悩みごとについて尋ねたところ、「子どもの進学や受験が心配」が 47.3%と最も多く、「子どもの教育費」が 32.0%、「上記のような心配や悩みはない」が 27.4%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「子どもの進学や受験が心配」「子どもの教育費」が 54.4%と最も多く、「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ、整理整頓など)が身につけていない」が 24.1%であった。

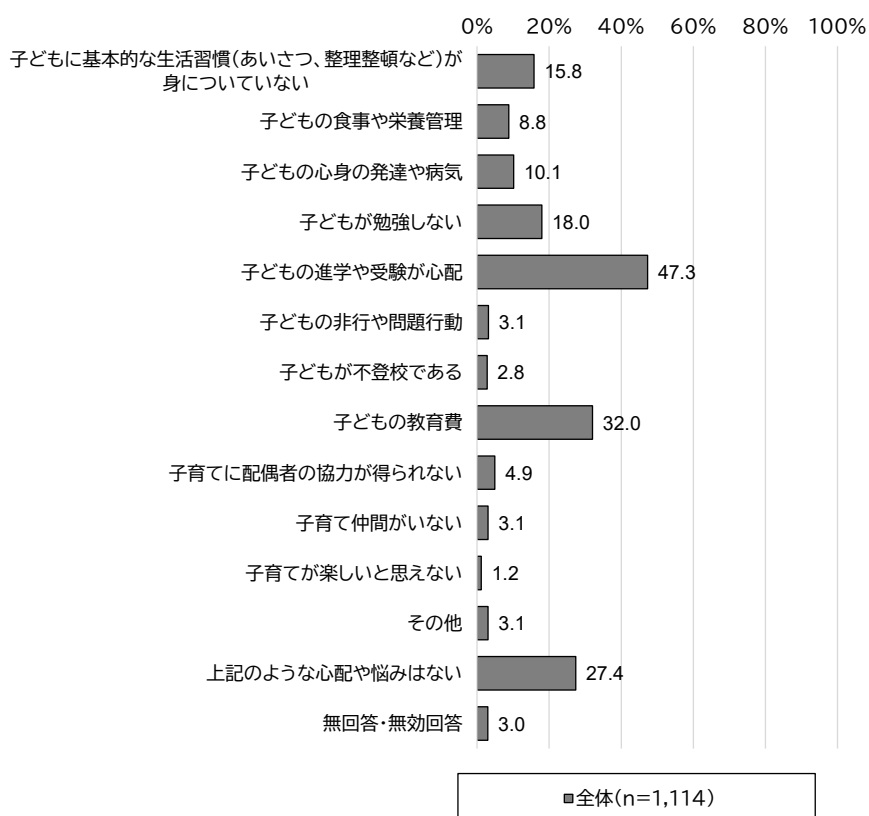
困窮層(n=56)では、「子どもの教育費」が 71.4%と最も多く、「子どもの進学や受験が心配」が 69.6%、「子どもが勉強しない」が 35.7%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「子どもの進学や受験が心配」が 67.6%と最も多く、「子どもの教育費」が 59.5%、「子どもが勉強しない」が 33.1%であった。

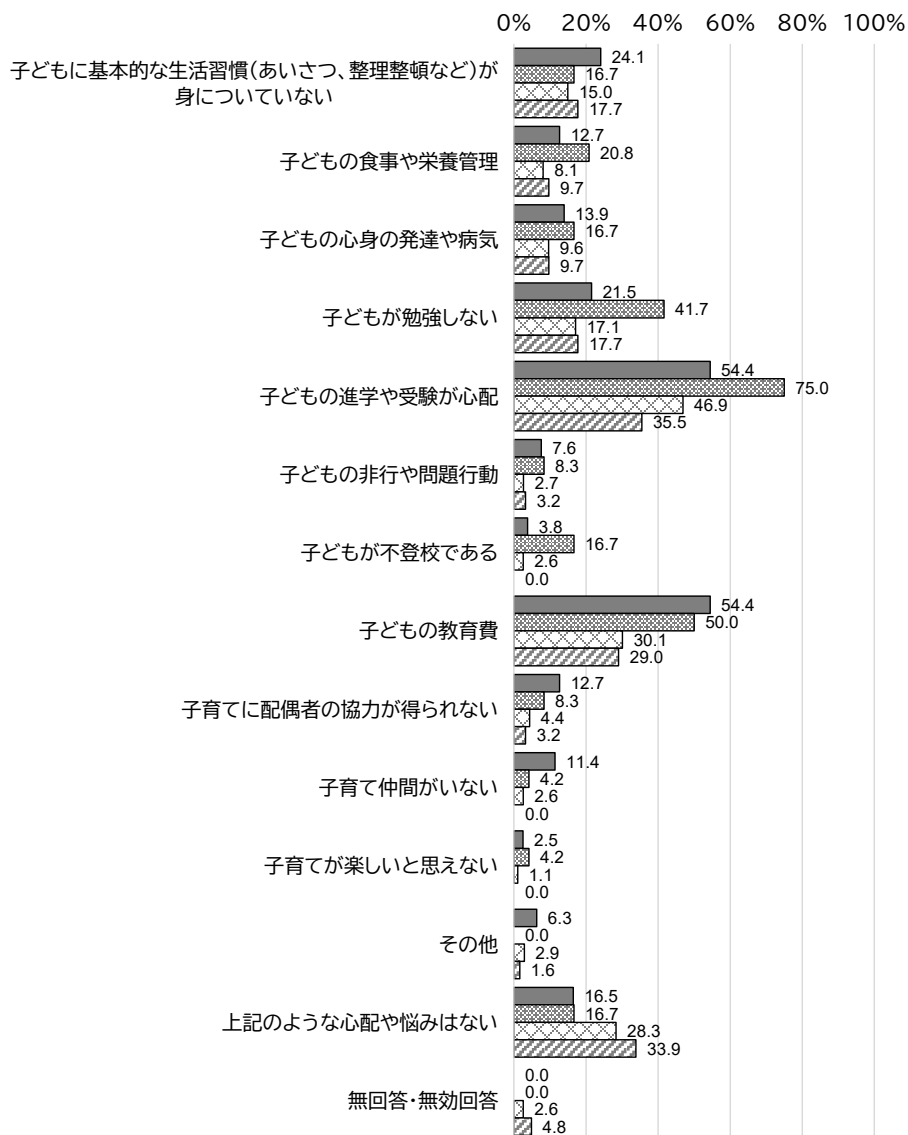
### 【中学2年生保護者問 13】

この調査票を受け取ったお子さんの子育てに関して、次のような心配ごとや悩みごとはありますか。(複数回答)

図表 5-83 子育てに関する悩みごと (単純集計)

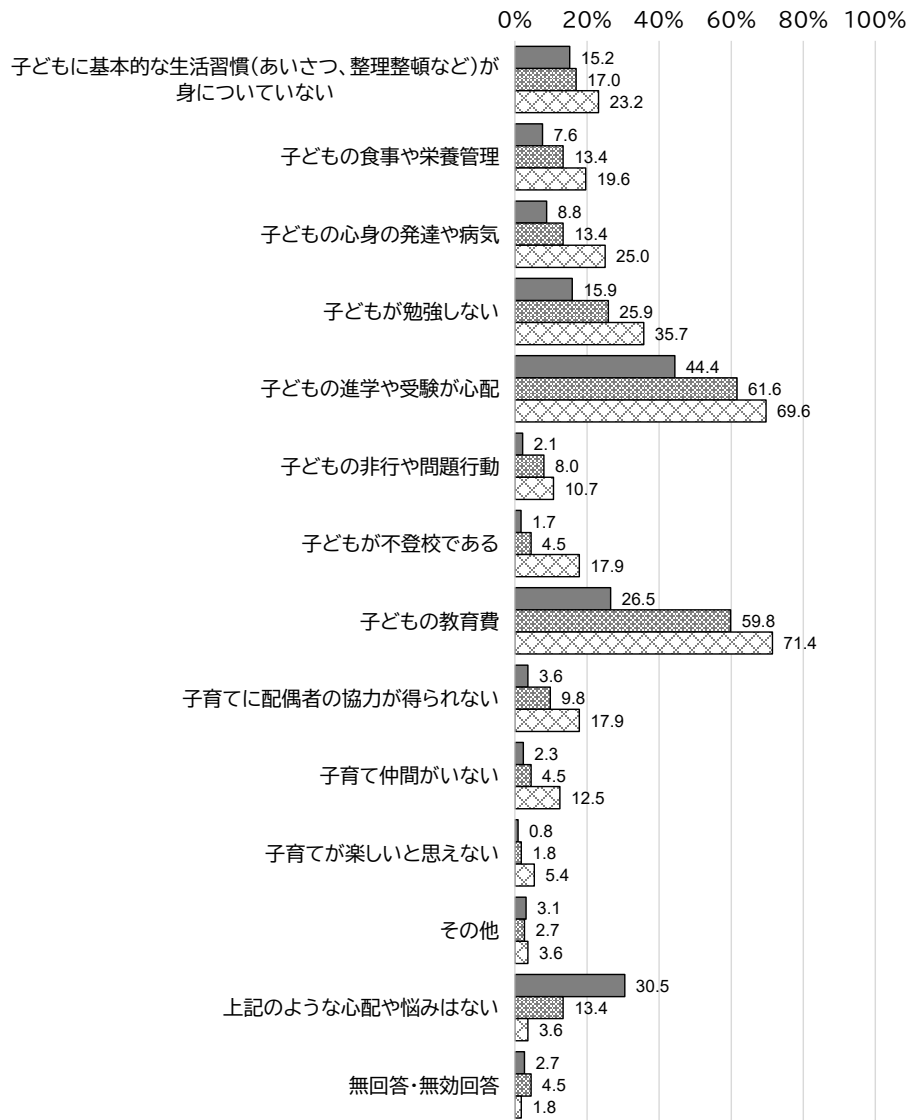


図表 5-84 子育てに関する悩みごと（世帯タイプ別クロス集計）



■ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)      □ひとり親世帯(3世代同居)(n=24)  
 □ふたり親世帯(2世代同居)(n=936)      □ふたり親世帯(3世代同居)(n=62)

図表 5-85 子育てに関する悩みごと（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=942)

▨周辺層(n=112)

▩困窮層(n=56)

図表 5-86 子育てに関する悩みごと（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=148)   ■生活満足 中位(n=232)   ■生活満足 高位(n=721)

#### (4) あなたのことについてうかがいます

##### ア 婚姻状況

回答者本人の婚姻状況について、「結婚している(事実婚を含む)」が 90.2%、「離婚(別居中を含む)」が 8.2%、「死別」が 0.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「離婚(別居中を含む)」が 86.1%と最も多く、「死別」が 11.4%、「未婚・非婚」が 2.5%であった。

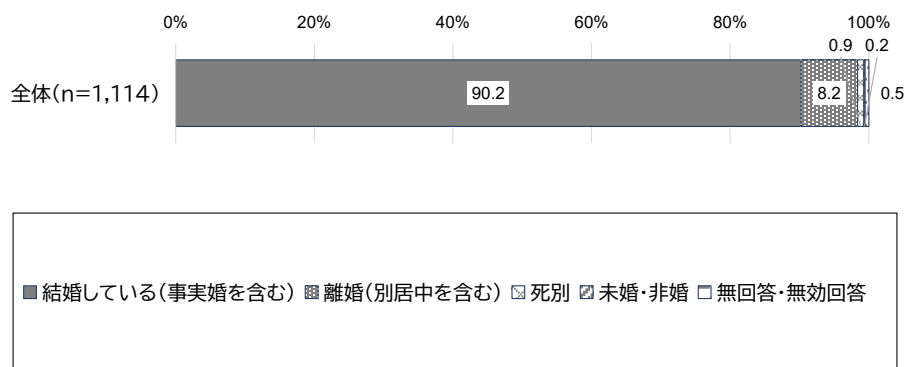
困窮層(n=56)では、「結婚している(事実婚を含む)」が 57.1%と最も多く、「離婚(別居中を含む)」が 39.3%、「死別」「未婚・非婚」が 1.8%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「結婚している(事実婚を含む)」が 75.7%と最も多く、「離婚(別居中を含む)」が 21.6%、「死別」が 1.4%であった。

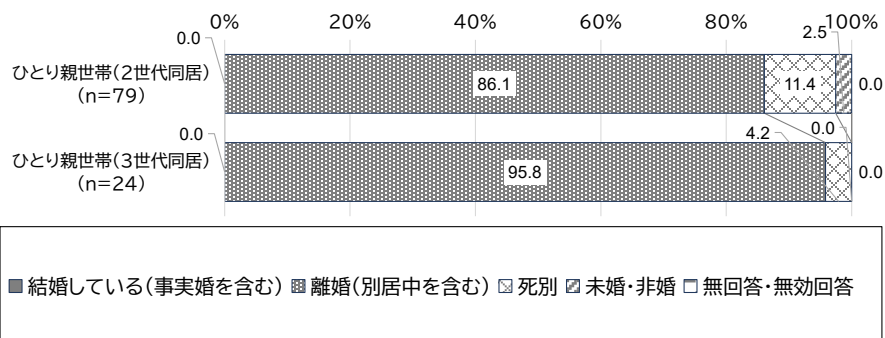
##### 【中学2年生保護者問 14】

現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(単一回答)

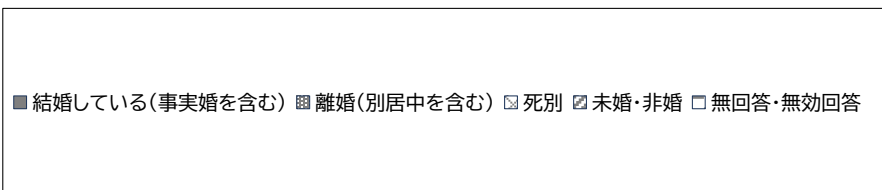
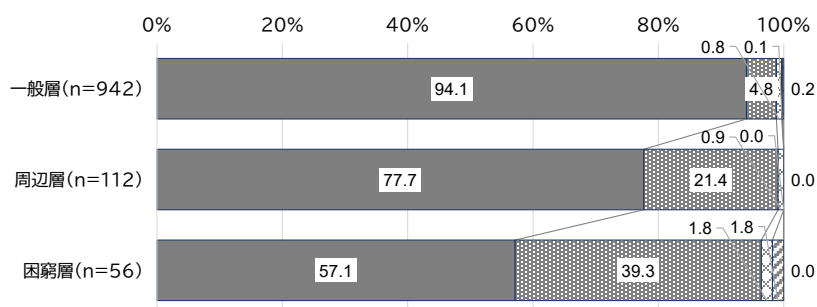
図表 5-87 回答者の婚姻状況 (単純集計)



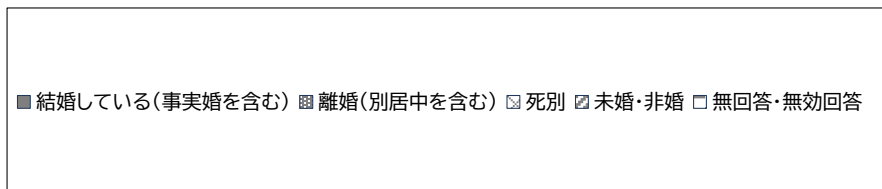
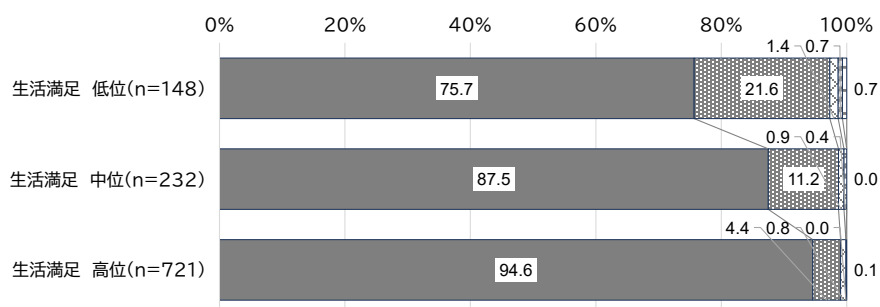
図表 5-88 回答者の婚姻状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-89 回答者の婚姻状況（生活困難層別クロス集計）



図表 5-90 回答者の婚姻状況（生活満足度別クロス集計）





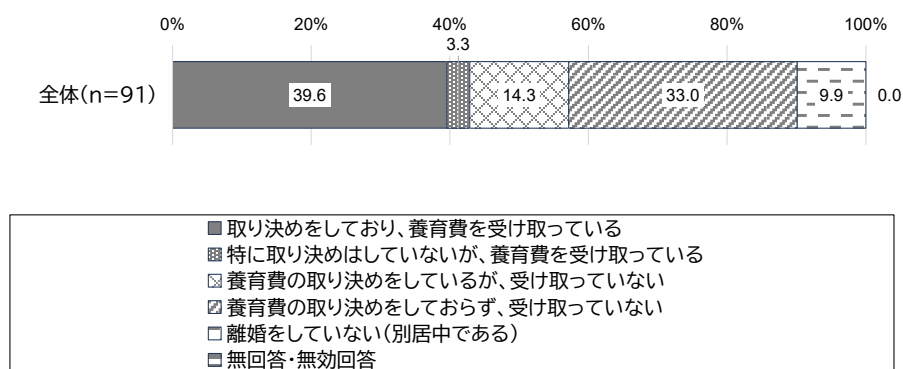
## イ 養育費の取り決め

問 14 で2(「離婚(別居中を含む)」)と回答した方に、離婚した相手と子どもの養育費の取り決めをしているかどうかについて尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」が 39.6%と最も多く、「養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない」が 33.0%、「養育費の取り決めをしているが、受け取っていない」が 14.3%であった。

【中学2年生保護者問 14-1】

問 14 で、「2. 離婚(別居中を含む)」を選んだ方にうかがいます。離婚した相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。(単一回答)

図表 5-91 離婚した相手との、子どもの養育費の取り決めの有無 (単純集計)



## ウ 健康状態に関する認識

回答者の健康状態について、「よい」が 37.9%と最も多く、「まあよい」が 26.8%、「ふつう」が 25.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「よい」が 38.0%と最も多く、「ふつう」が 30.4%、「まあよい」が 19.0%であった。

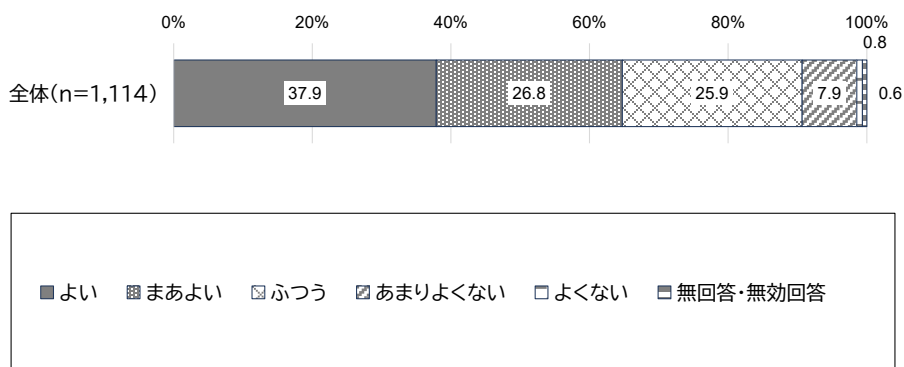
困窮層(n=56)では、「ふつう」が 41.1%と最も多く、「まあよい」が 21.4%、「よい」が 19.6%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「ふつう」が 37.2%と最も多く、「まあよい」「あまりよくない」が 23.0%であった。

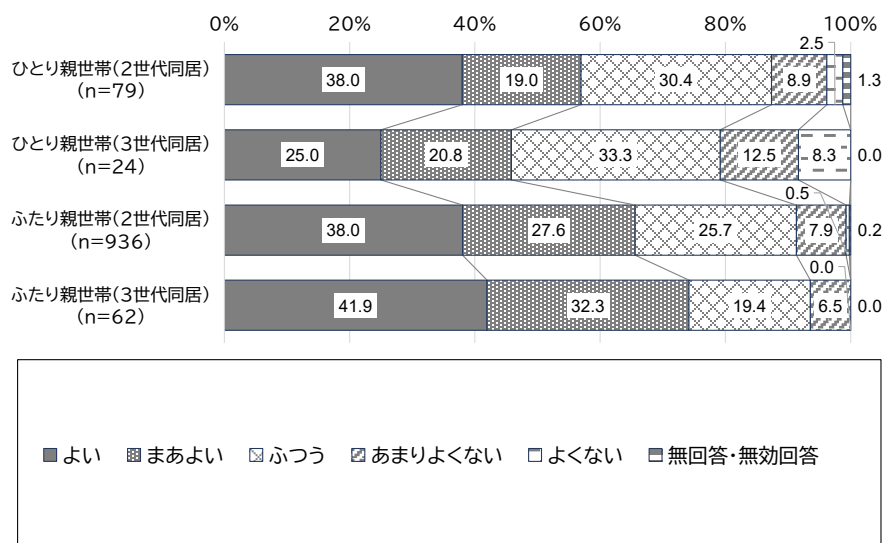
### 【中学2年生保護者問 15】

あなたの健康状態についてうかがいます。最も近いものに○をつけてください。(単一回答)

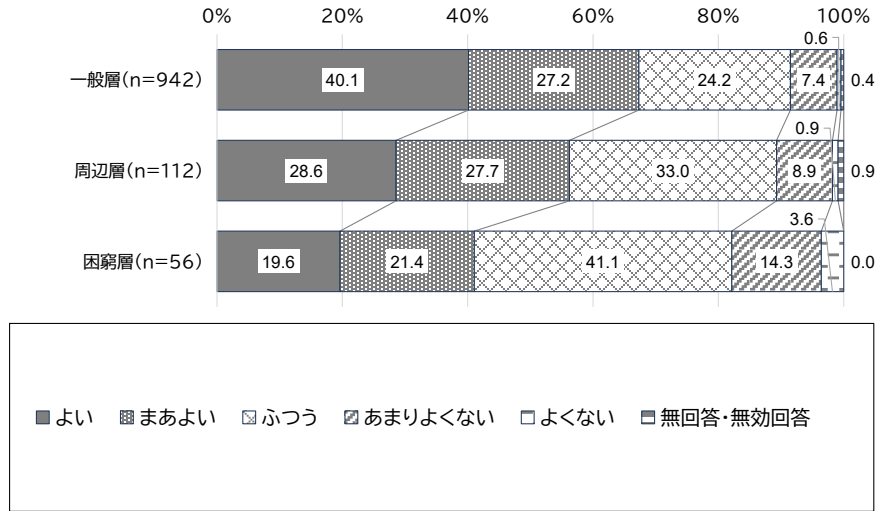
図表 5-92 回答者の健康状態に関する認識 (単純集計)



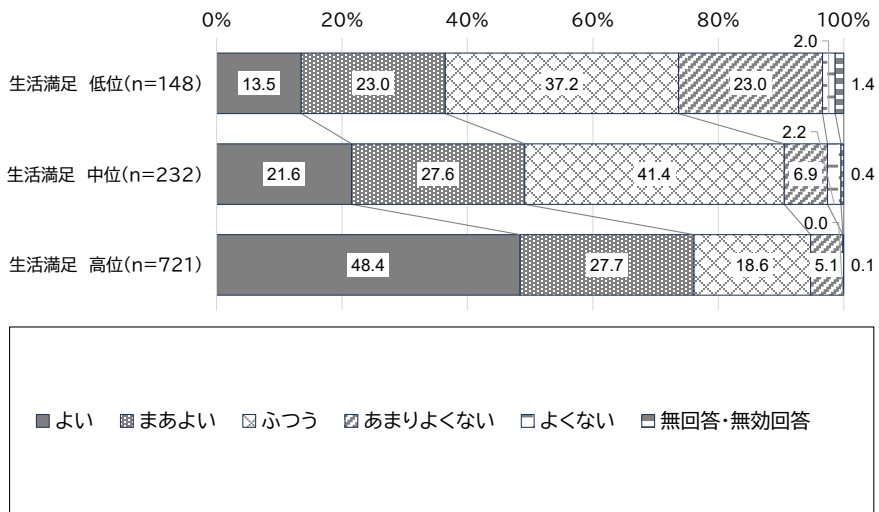
図表 5-93 回答者の健康状態に関する認識 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-94 回答者の健康状態に関する認識（生活困難層別クロス集計）



図表 5-95 回答者の健康状態に関する認識（生活満足度別クロス集計）



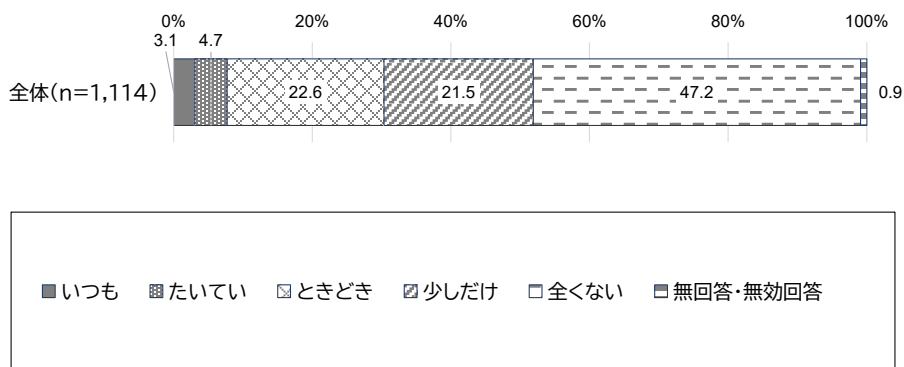
## エ 過去1か月間のこころの状態

「神経過敏に感じましたか」は、「全くない」が47.2%であった。

【中学2年生保護者問 16A】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 5-96 「神経過敏に感じましたか」の頻度 (単純集計)

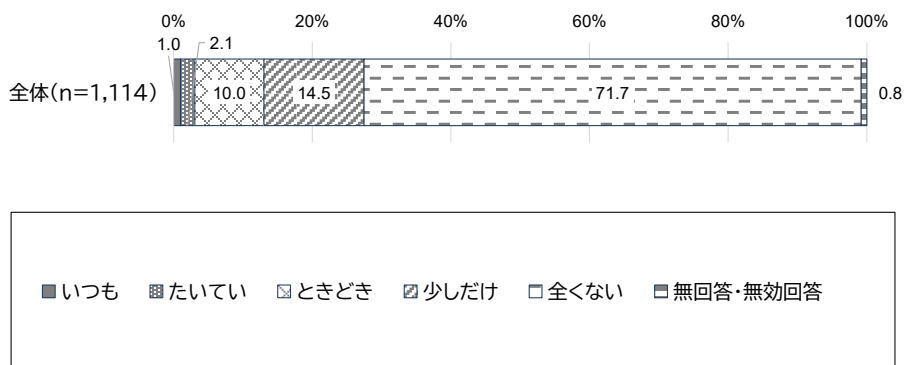


「絶望的だと感じましたか」は、「全くない」が71.7%であった。

【中学2年生保護者問 16B】

次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 5-97 「絶望的だと感じましたか」の頻度 (単純集計)

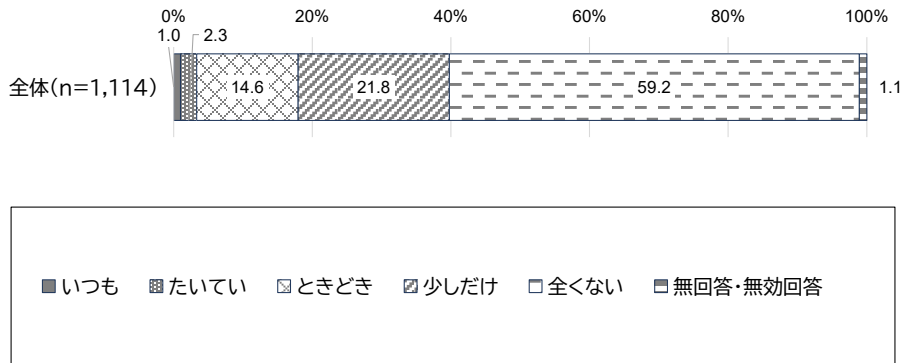


「そわそわ、落ち着きがなく感じましたか」は、「全くない」が 59.2%であった。

【中学2年生保護者問 16C】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 5-98 「そわそわ、落ち着きがなく感じましたか」の頻度 (単純集計)

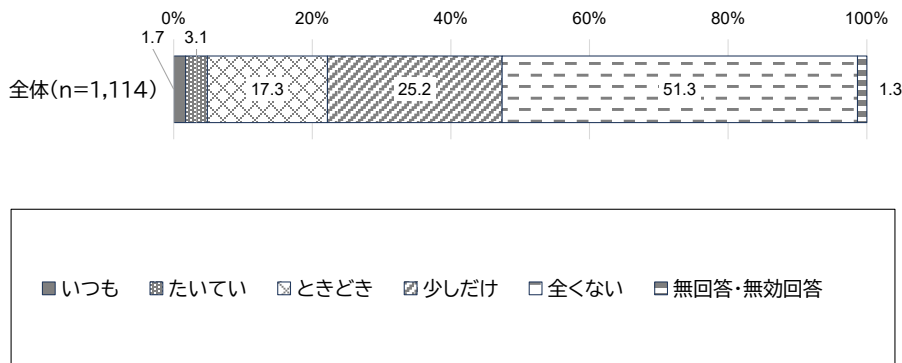


「気分が沈んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか」は、「全くない」が 51.3%であった。

【中学2年生保護者問 16D】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 5-99 「気分が沈んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか」の頻度 (単純集計)

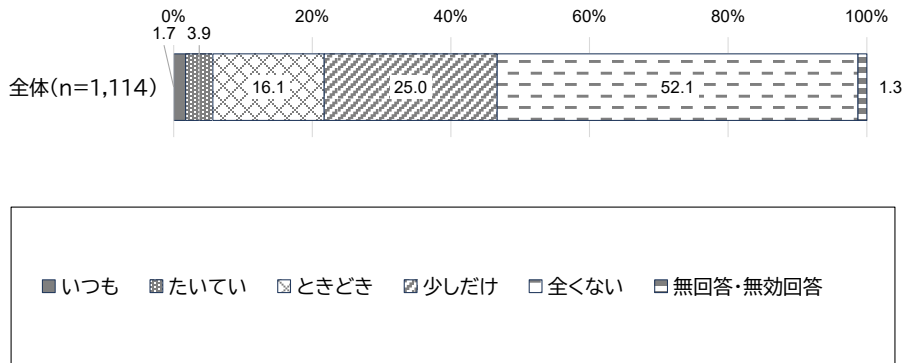


「何をするのも骨折りだと感じましたか」は、「全くない」が 52.1%であった。

【中学2年生保護者問 16E】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

図表 5-100 「何をするのも骨折りだと感じましたか」の頻度 (単純集計)



「自分は価値のない人間だと感じましたか」は、「全くない」が 70.6%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「全くない」が 50.6%であった。

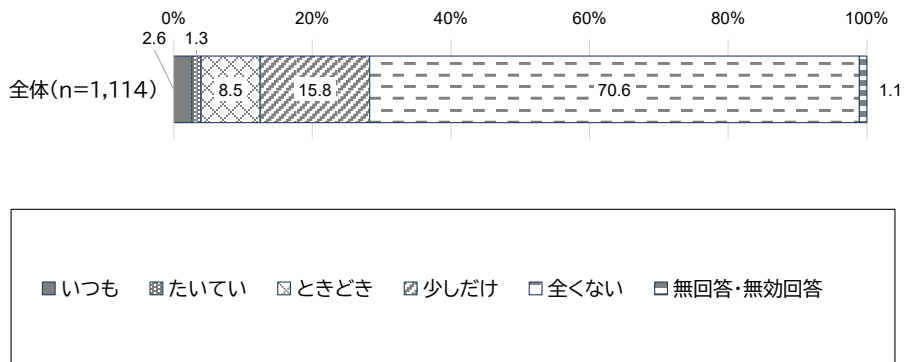
困窮層(n=56)では、「全くない」が 37.5%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「全くない」が 35.1%であった。

【中学2年生保護者問 16F】

次の A~F の質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(単一回答)

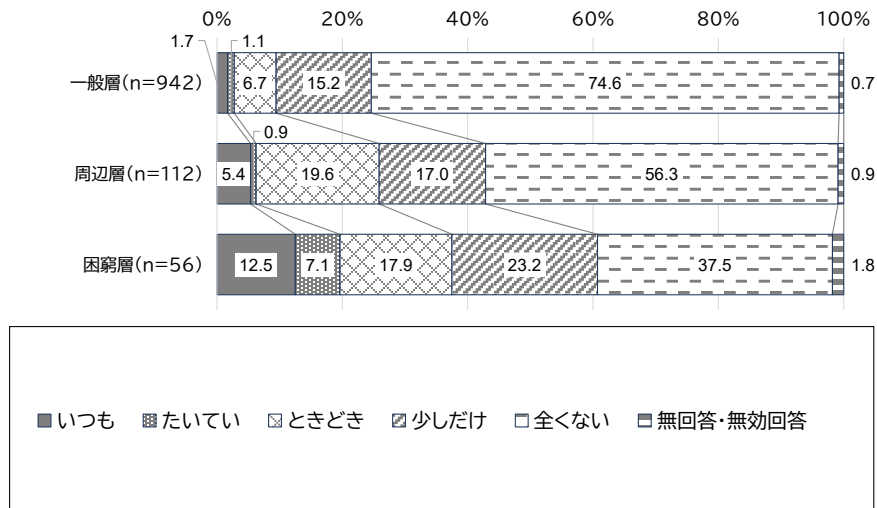
図表 5-101 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度 (単純集計)



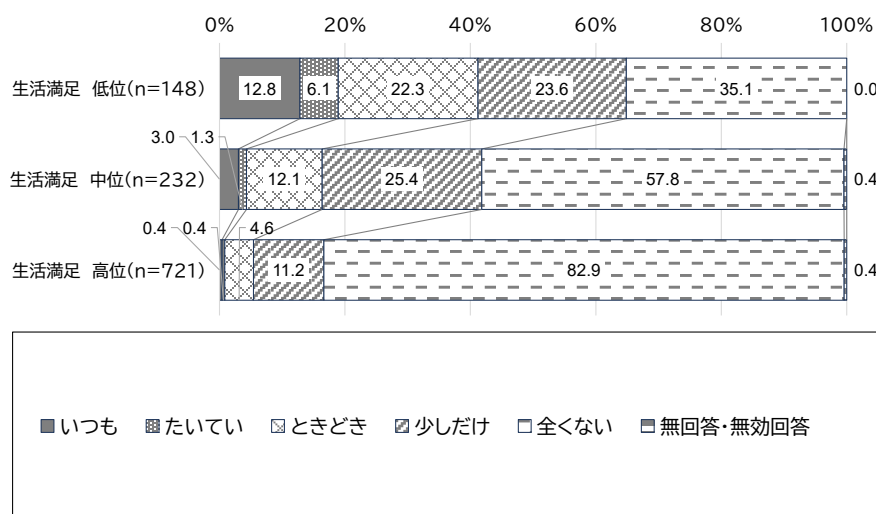
図表 5-102 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-103 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（生活困難層別クロス集計）



図表 5-104 「自分は価値のない人間だと感じましたか」の頻度（生活満足度別クロス集計）



### オ 過去1か月間のこころの状態(K6)<sup>41</sup>

過去1か月間のこころの状態(K6)は、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合が、13.1%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、29.2%であった。

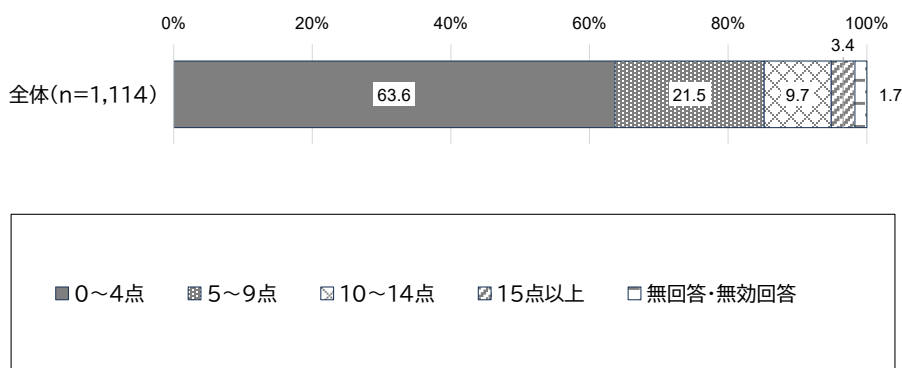
困窮層(n=56)では、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、42.8%であった。

生活満足 低位(n=148)では、10 点以上(心理的苦痛を感じている)の得点の割合は、47.3%であった。

【中学2年生保護者 K6 得点】

過去1か月間のこころの状態(K6)

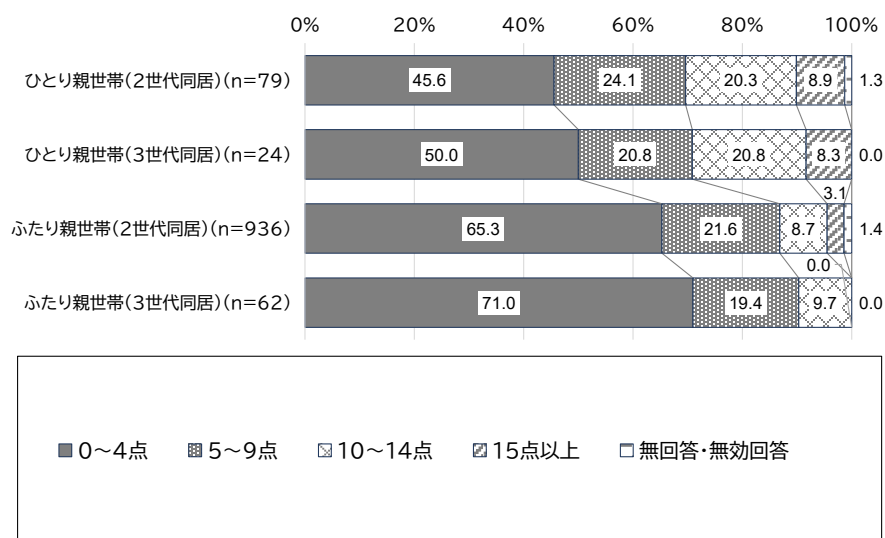
図表 5-105 過去1か月間のこころの状態(K6)（単純集計）



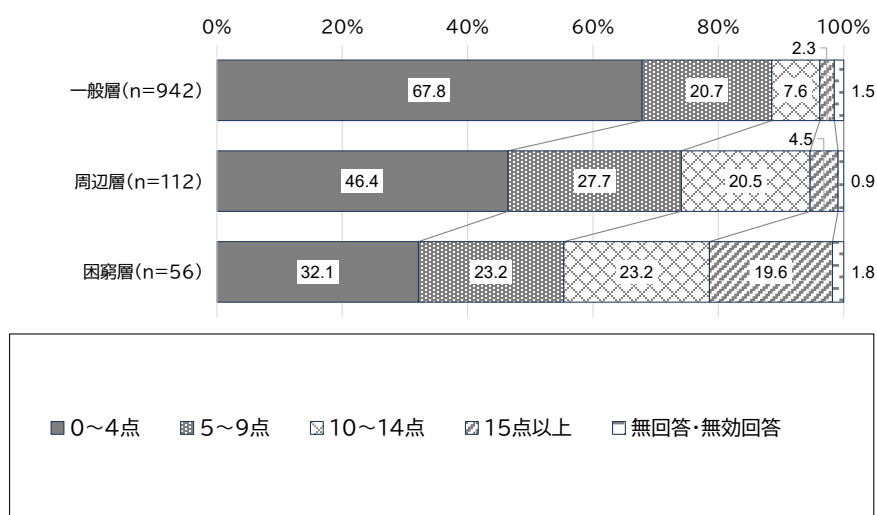
<sup>41</sup> 第1章3節2項アンケート調査結果の見方参照



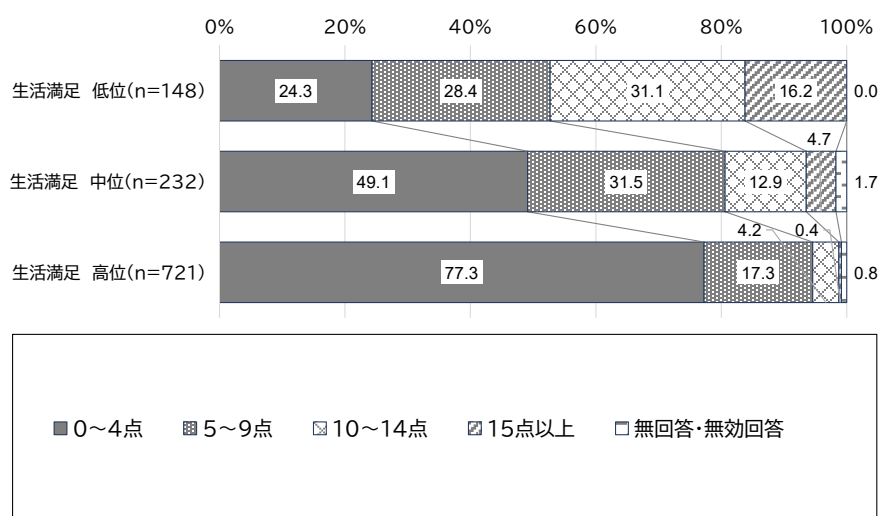
図表 5-106 過去1か月間のこころの状態(K6) (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-107 過去1か月間のこころの状態(K6) (生活困難層別クロス集計)



図表 5-108 過去1か月間のこころの状態(K6) (生活満足度別クロス集計)



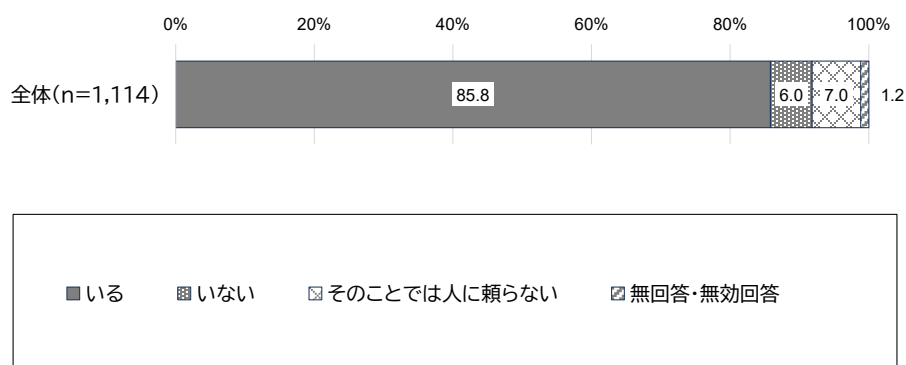
## カ 支えてくれる人・手伝ってくれる人

「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」の有無については、「いない」が6.0%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「いない」が19.0%であった。  
 困窮層(n=56)では、「いない」が23.2%であった。  
 生活満足 低位(n=148)では、「いない」が18.9%であった。

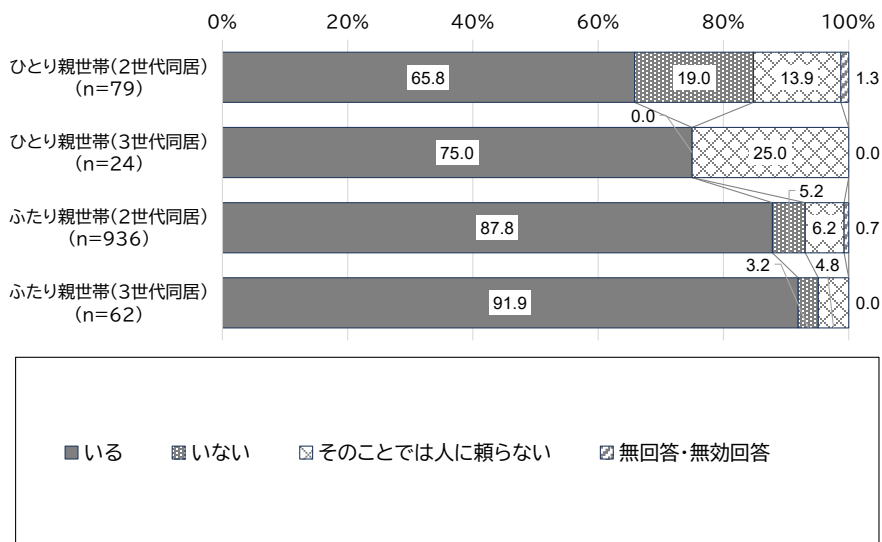
### 【中学2年生保護者問 17A】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

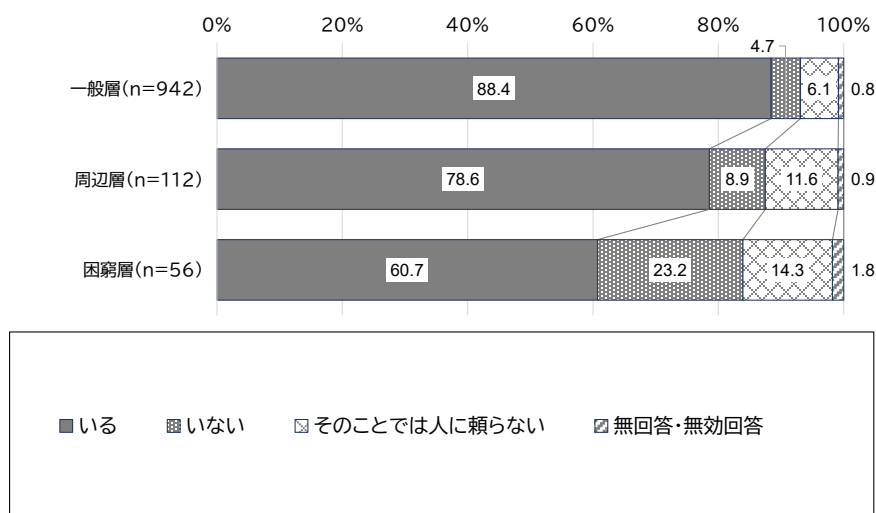
図表 5-109 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無 (単純集計)



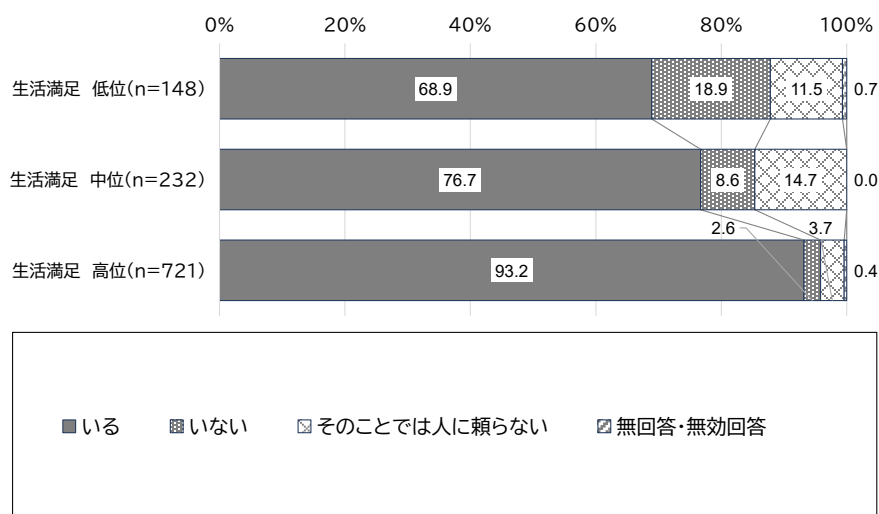
図表 5-110 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-111 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 5-112 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人の有無（生活満足度別クロス集計）

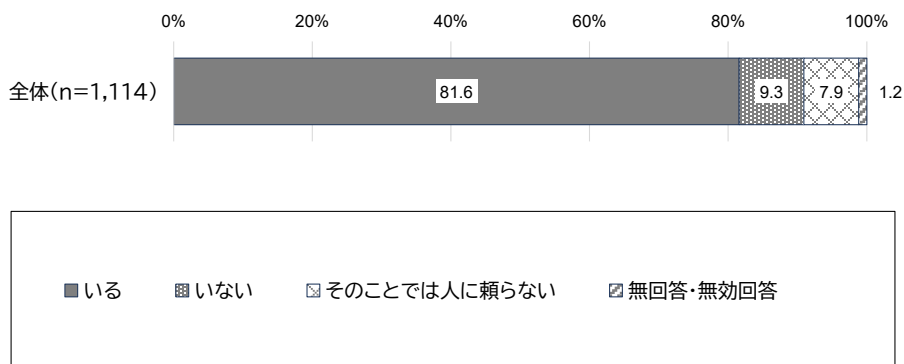


「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」の有無は、「いない」が 9.3%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「いない」が 24.1%であった。  
 困窮層(n=56)では、「いない」が 26.8%であった。  
 生活満足 低位(n=148)では、「いない」が 27.0%であった。

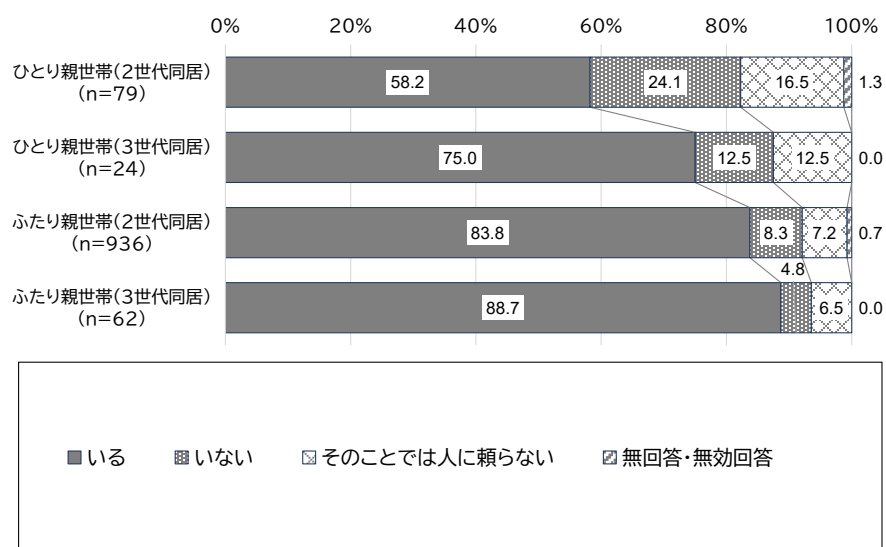
【中学2年生保護者問 17B】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

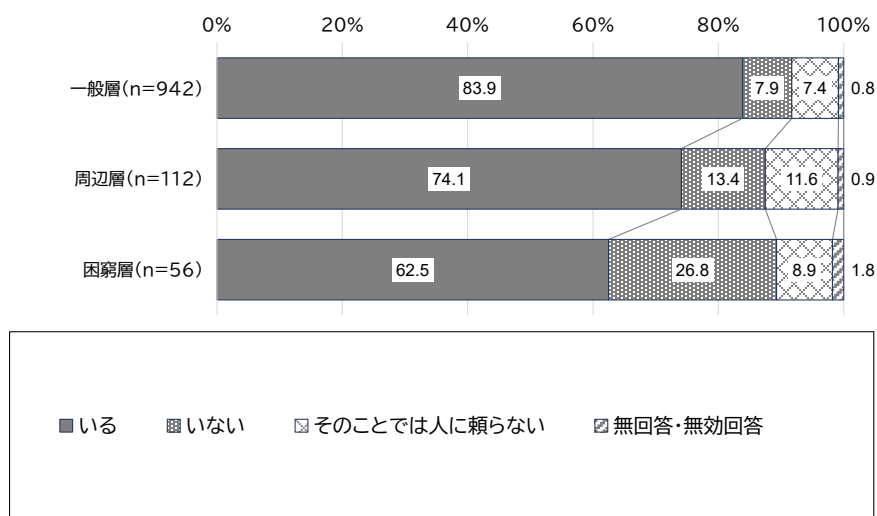
図表 5-113 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無（単純集計）



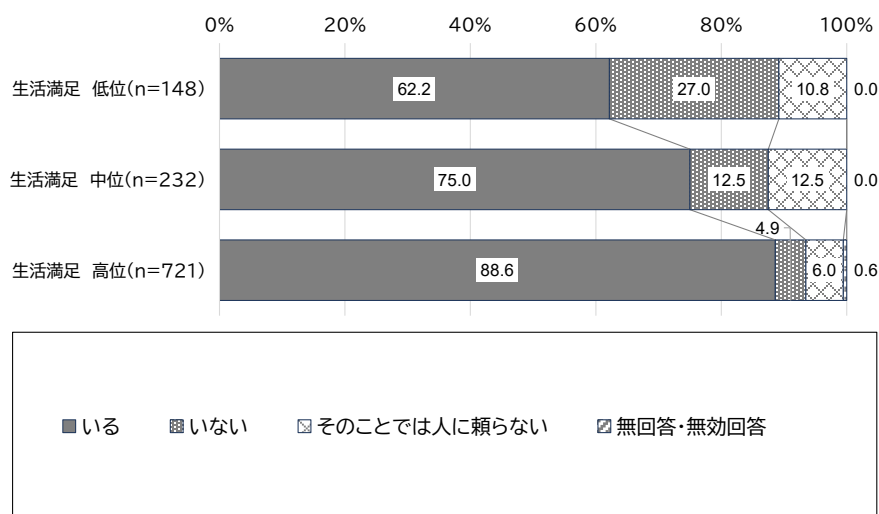
図表 5-114 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無  
(世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-115 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無  
(生活困難層別クロス集計)



図表 5-116 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人の有無  
(生活満足度別クロス集計)

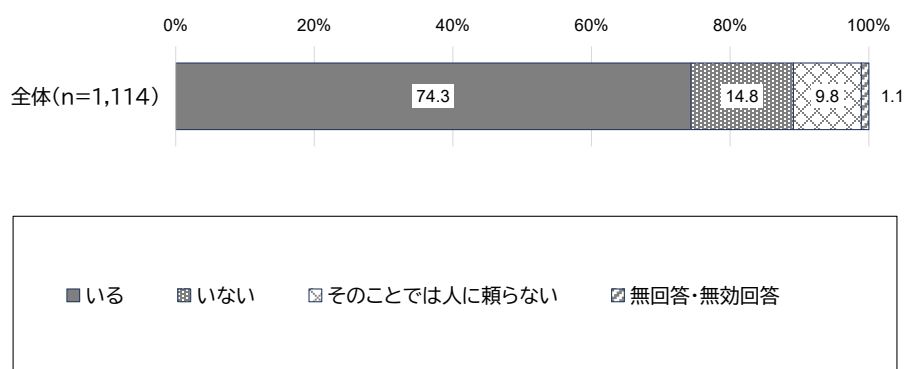


「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」の有無は、「いない」が 14.8%であった。  
ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「いない」が 48.1%であった。  
困窮層(n=56)では、「いない」が 39.3%であった。  
生活満足 低位(n=148)では、「いない」が 37.8%であった。

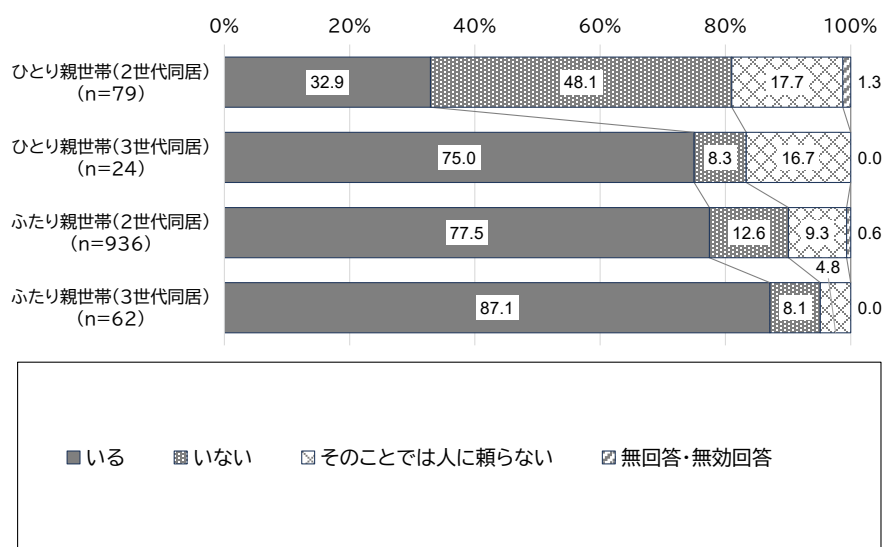
【中学2年生保護者問 17C】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

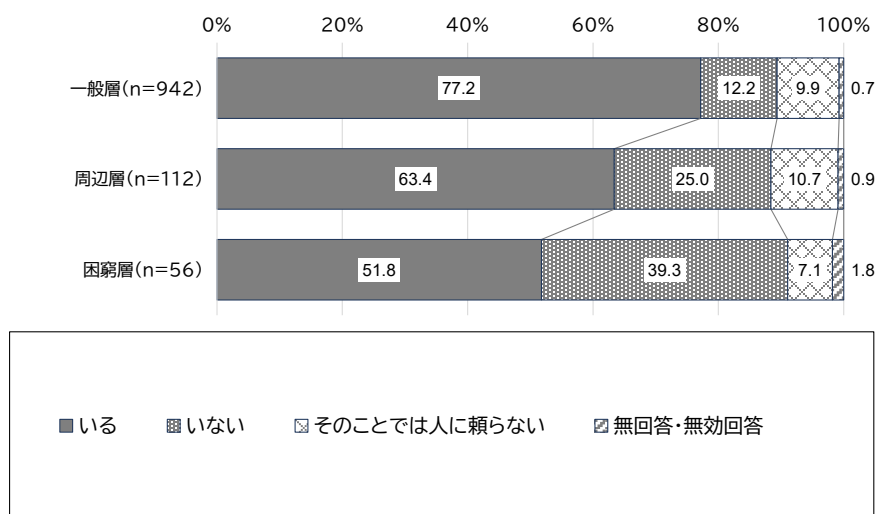
図表 5-117 子ども体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無 (単純集計)



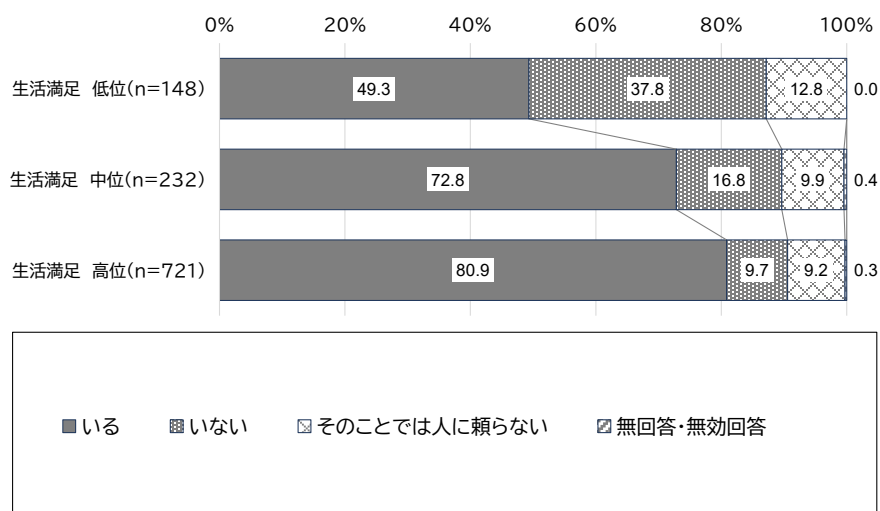
図表 5-118 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無  
(世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-119 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無  
(生活困難層別クロス集計)



図表 5-120 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人の有無  
(生活満足度別クロス集計)

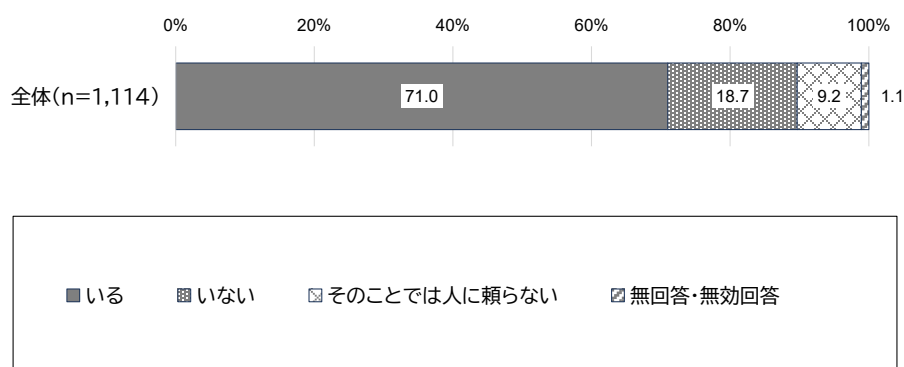


「留守を頼める人」の有無は、「いない」が 18.7%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「いない」が 48.1%であった。  
 困窮層(n=56)では、「いない」が 32.1%であった。  
 生活満足 低位(n=148)では、「いない」が 40.5%であった。

【中学2年生保護者問 17D】

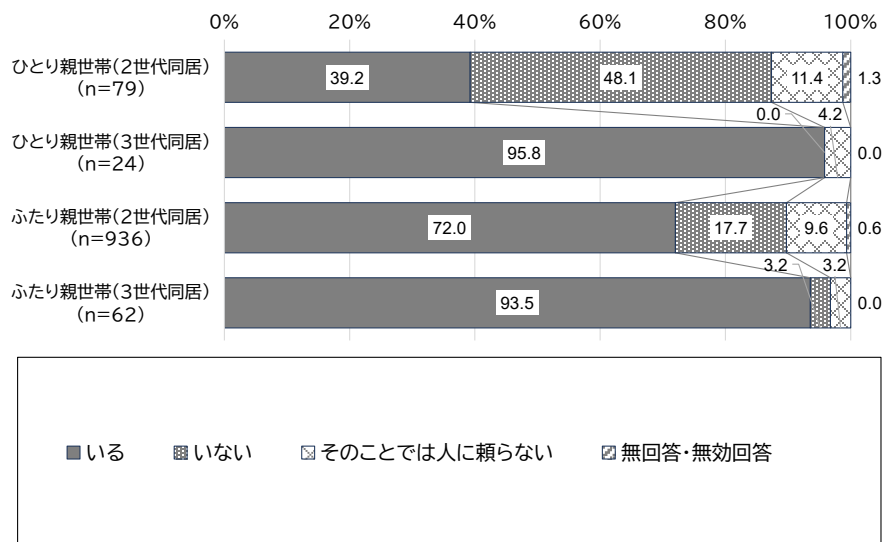
次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

図表 5-121 留守を頼める人の有無 (単純集計)

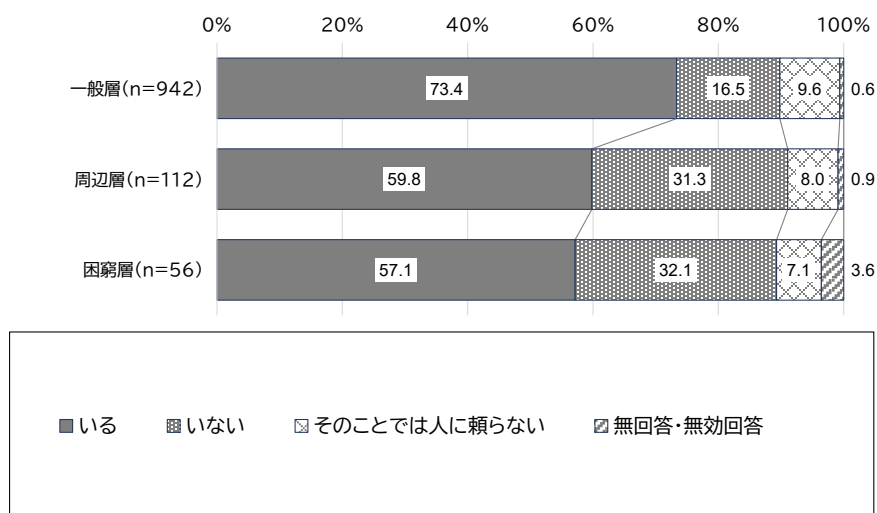




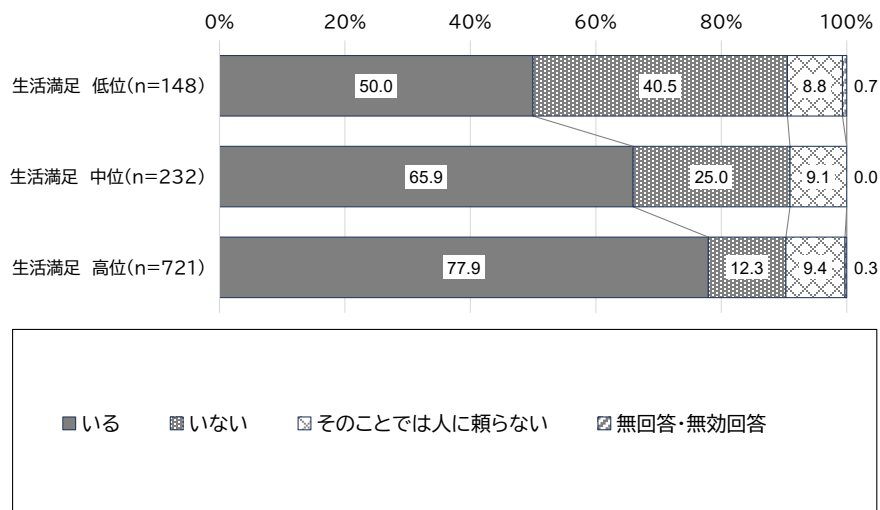
図表 5-122 留守を頼める人の有無（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-123 留守を頼める人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 5-124 留守を頼める人の有無（生活満足度別クロス集計）

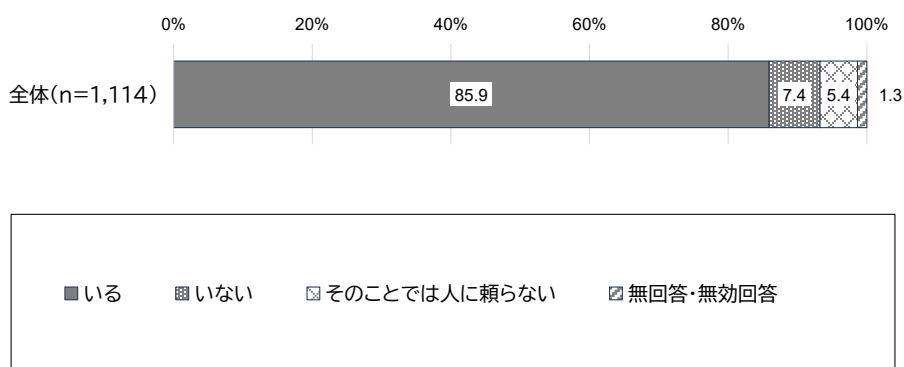


「重要な事柄の相談を出来る人」の有無は、「いない」が7.4%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「いない」が22.8%であった。  
 困窮層(n=56)では、「いない」が35.7%であった。  
 生活満足 低位(n=148)では、「いない」が27.7%であった。

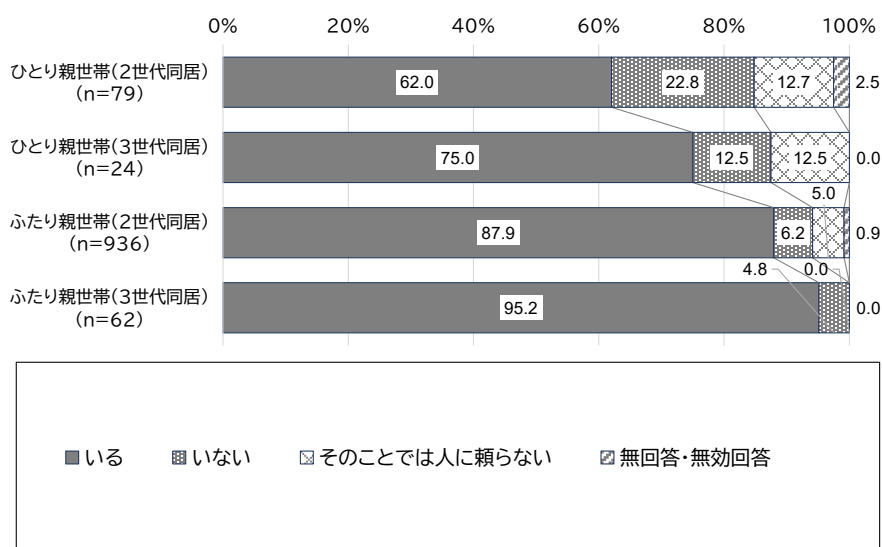
【中学2年生保護者問 17E】

次のA~Fのような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

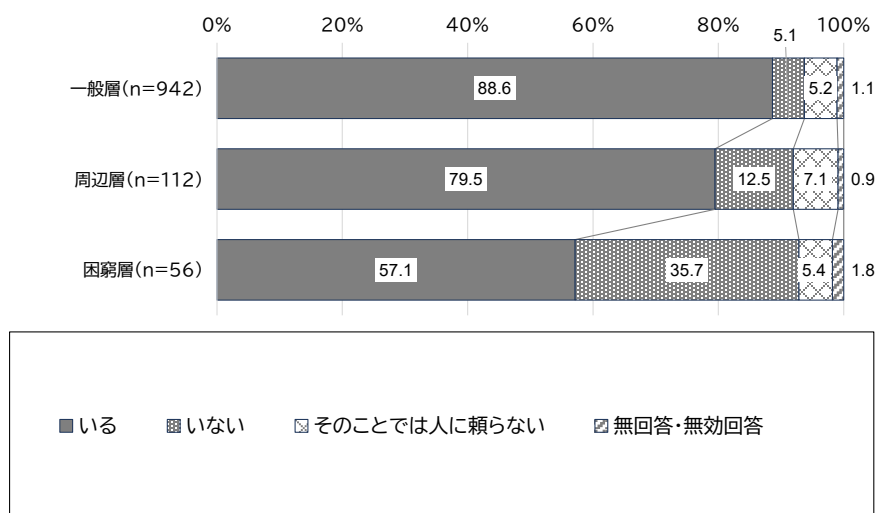
図表 5-125 重要な事柄の相談を出来る人の有無（単純集計）



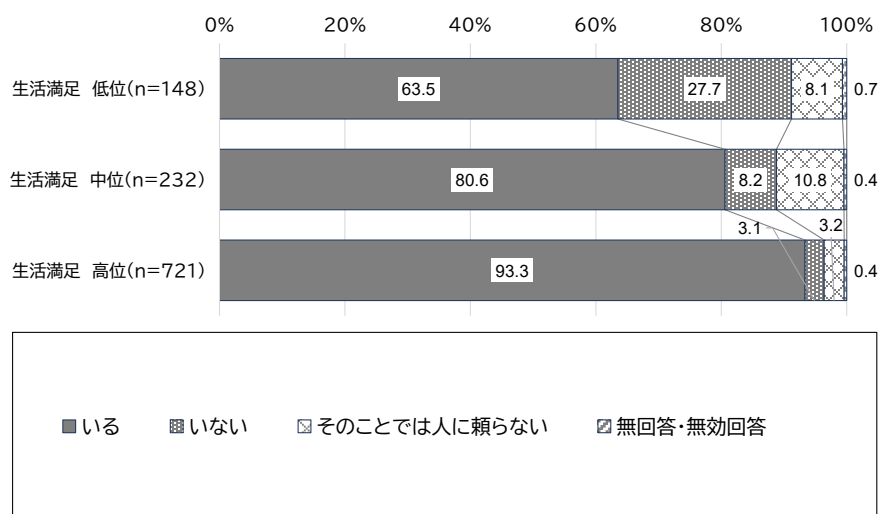
図表 5-126 重要な事柄の相談を出来る人の有無（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-127 重要な事柄の相談を出来る人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 5-128 重要な事柄の相談を出来る人の有無（生活満足度別クロス集計）

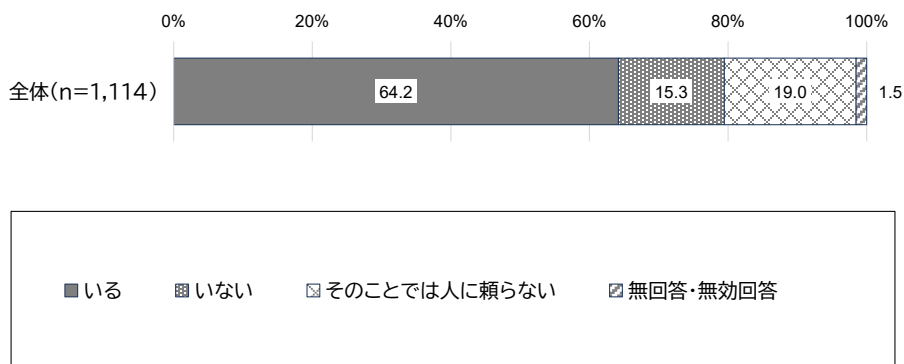


「いざという時のお金の援助を頼める人」の有無は、「いない」が 15.3%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「いない」が 35.4%であった。  
 困窮層(n=56)では、「いない」が 60.7%であった。  
 生活満足 低位(n=148)では、「いない」が 43.2%であった。

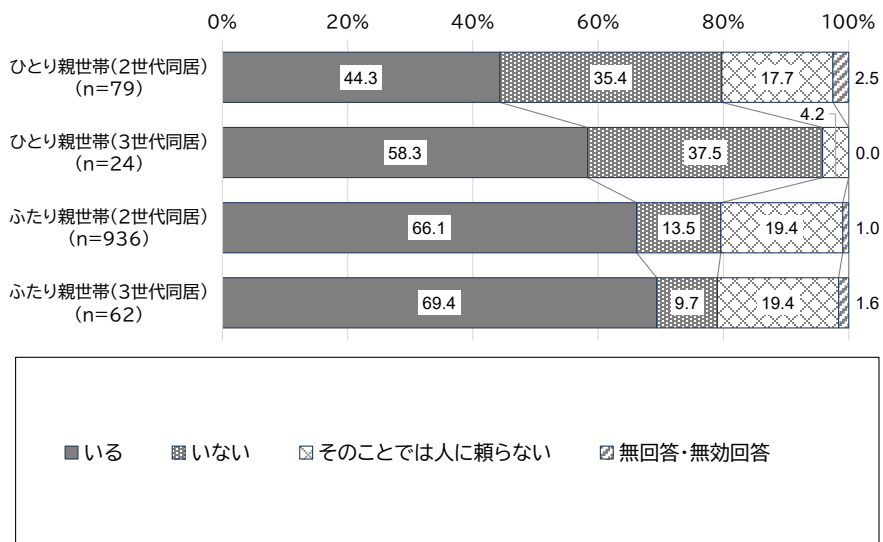
【中学2年生保護者問 17F】

次の A~F のような人について、同居しているご家族を含め(お子さんは除く)、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。(単一回答)

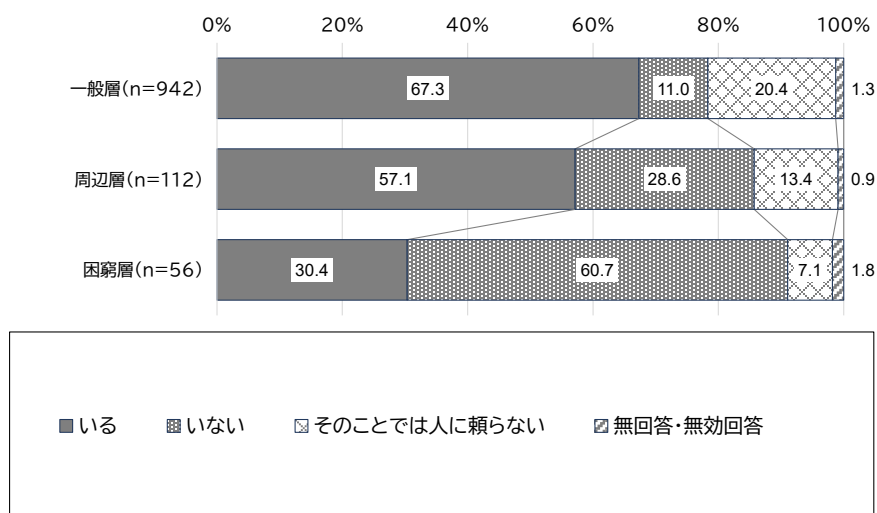
図表 5-129 いざという時のお金の援助を頼める人の有無（単純集計）



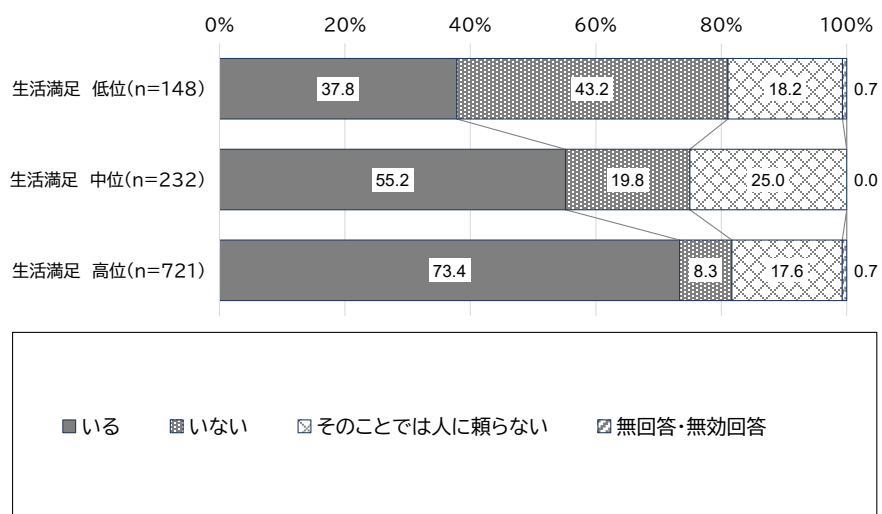
図表 5-130 いざという時のお金の援助を頼める人の有無（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-131 いざという時のお金の援助を頼める人の有無（生活困難層別クロス集計）



図表 5-132 いざという時のお金の援助を頼める人の有無（生活満足度別クロス集計）



## キ 相談相手・相談先

相談相手や相談先について尋ねた結果、「配偶者・パートナー」が 77.9%と最も多く、「自分や配偶者の親」が 62.7%、「友人・知人」が 57.7%であった。「相談できる相手がない」は 1.8%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「友人・知人」が 53.2%と最も多く、「自分や配偶者の親」が 40.5%、「きょうだい・その他の親戚」が 39.2%であった。「相談できる相手がない」は 10.1%であった。

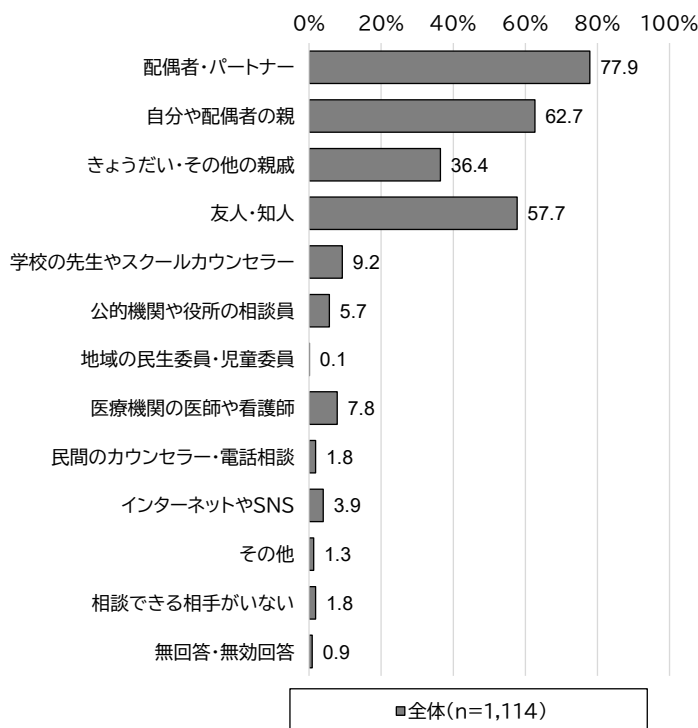
困窮層(n=56)では、「自分や配偶者の親」が 44.6%と最も多く、「友人・知人」が 42.9%、「配偶者・パートナー」が 41.1%であった。「相談できる相手がない」は 10.7%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「自分や配偶者の親」が 49.3%と最も多く、「配偶者・パートナー」が 48.6%、「友人・知人」が 45.3%であった。「相談できる相手がない」は 7.4%であった。

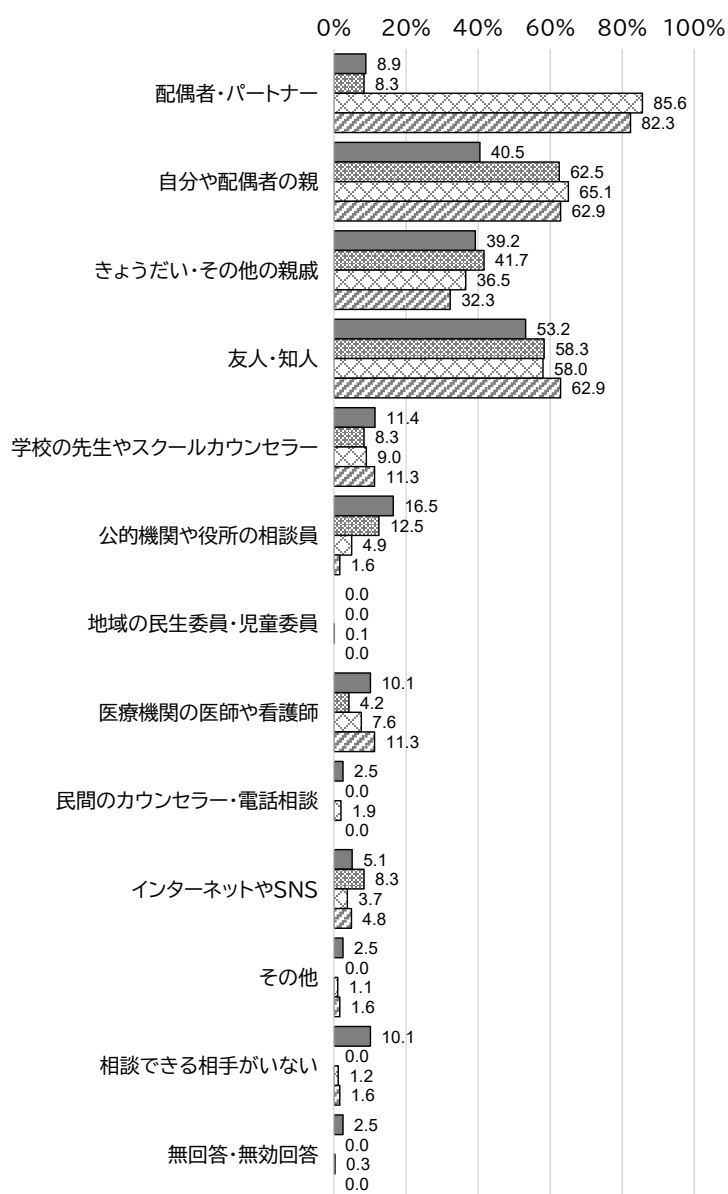
### 【中学2年生保護者問 18】

あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(複数回答)

図表 5-133 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先 (単純集計)



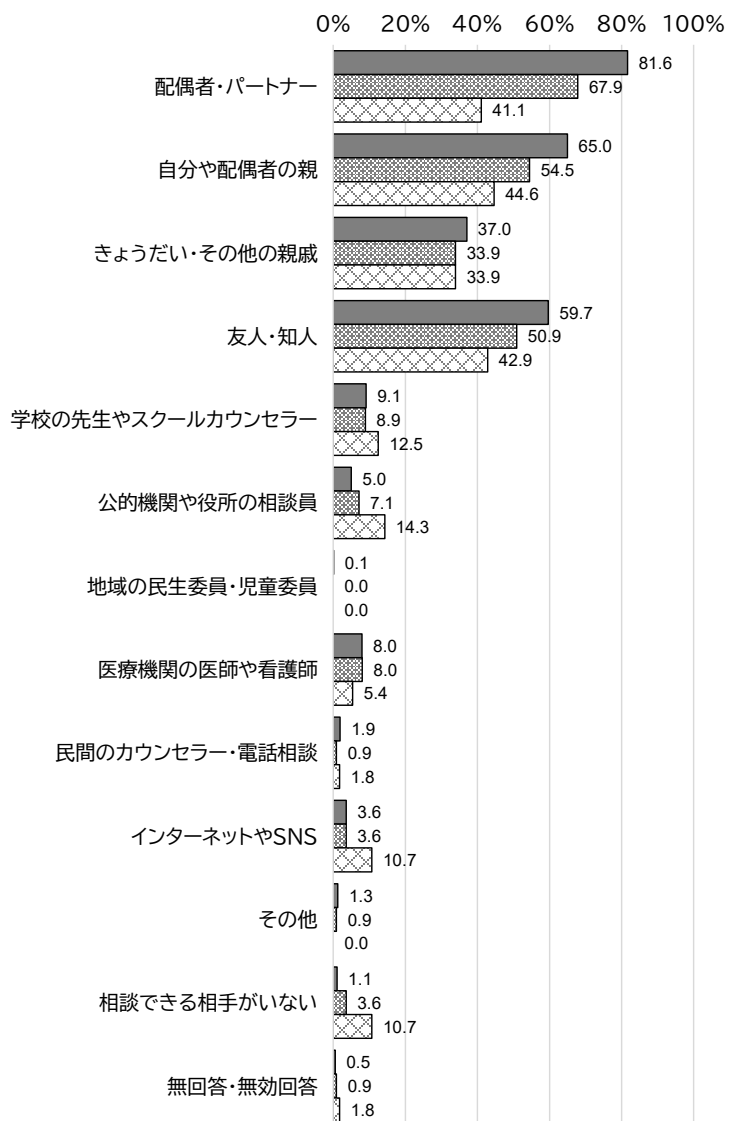
図表 5-134 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先（世帯タイプ別クロス集計）



■ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)      ▨ひとり親世帯(3世代同居)(n=24)  
 ▩ふたり親世帯(2世代同居)(n=936)      ▤ふたり親世帯(3世代同居)(n=62)

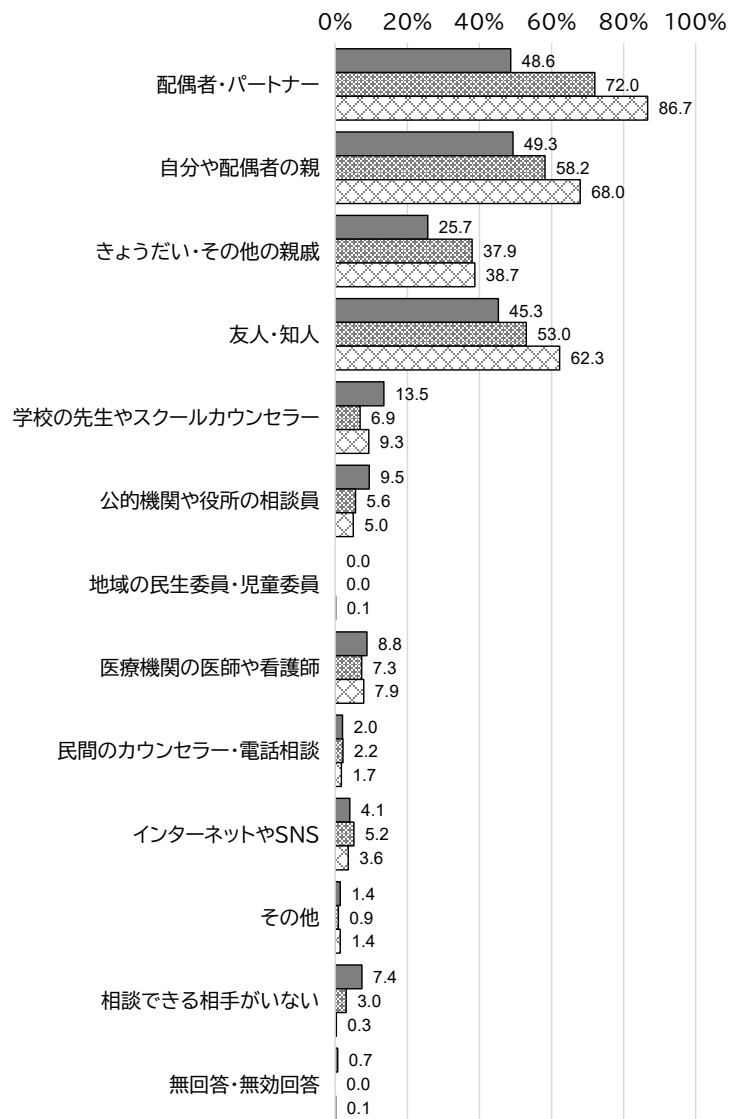


図表 5-135 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=942)    ▨周辺層(n=112)    ▩困窮層(n=56)

図表 5-136 本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手や相談先（生活満足別クロス集計）



■生活満足 低位(n=148) ■生活満足 中位(n=232) □生活満足 高位(n=721)

## ク 生活満足度

最近の生活への満足度については、「0～4」と回答した割合の合計は 13.3%、「5～6」と回答した割合の合計は 20.8%、「7～10」と回答した割合の合計は 64.7%であった。

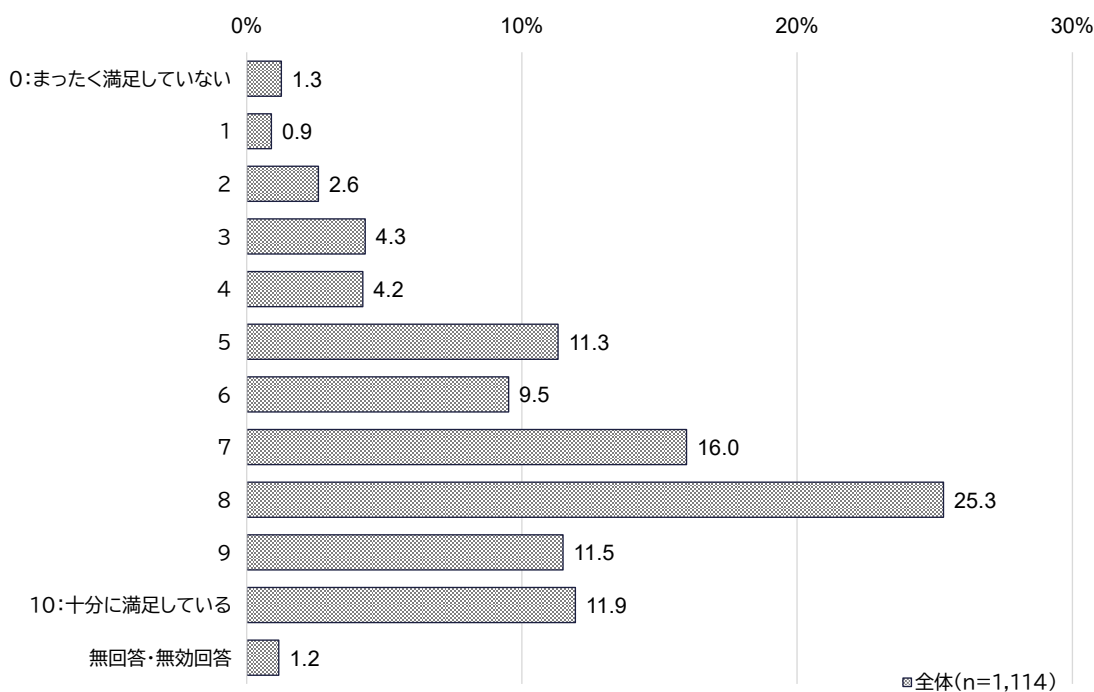
ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「0～4」と回答した割合の合計は 31.6%、「5～6」と回答した割合の合計は 25.4%、「7～10」と回答した割合の合計は 41.8%であった。

困窮層(n=56)では、「0～4」と回答した割合の合計は 53.6%、「5～6」と回答した割合の合計は 21.4%、「7～10」と回答した割合の合計は 23.3%であった。

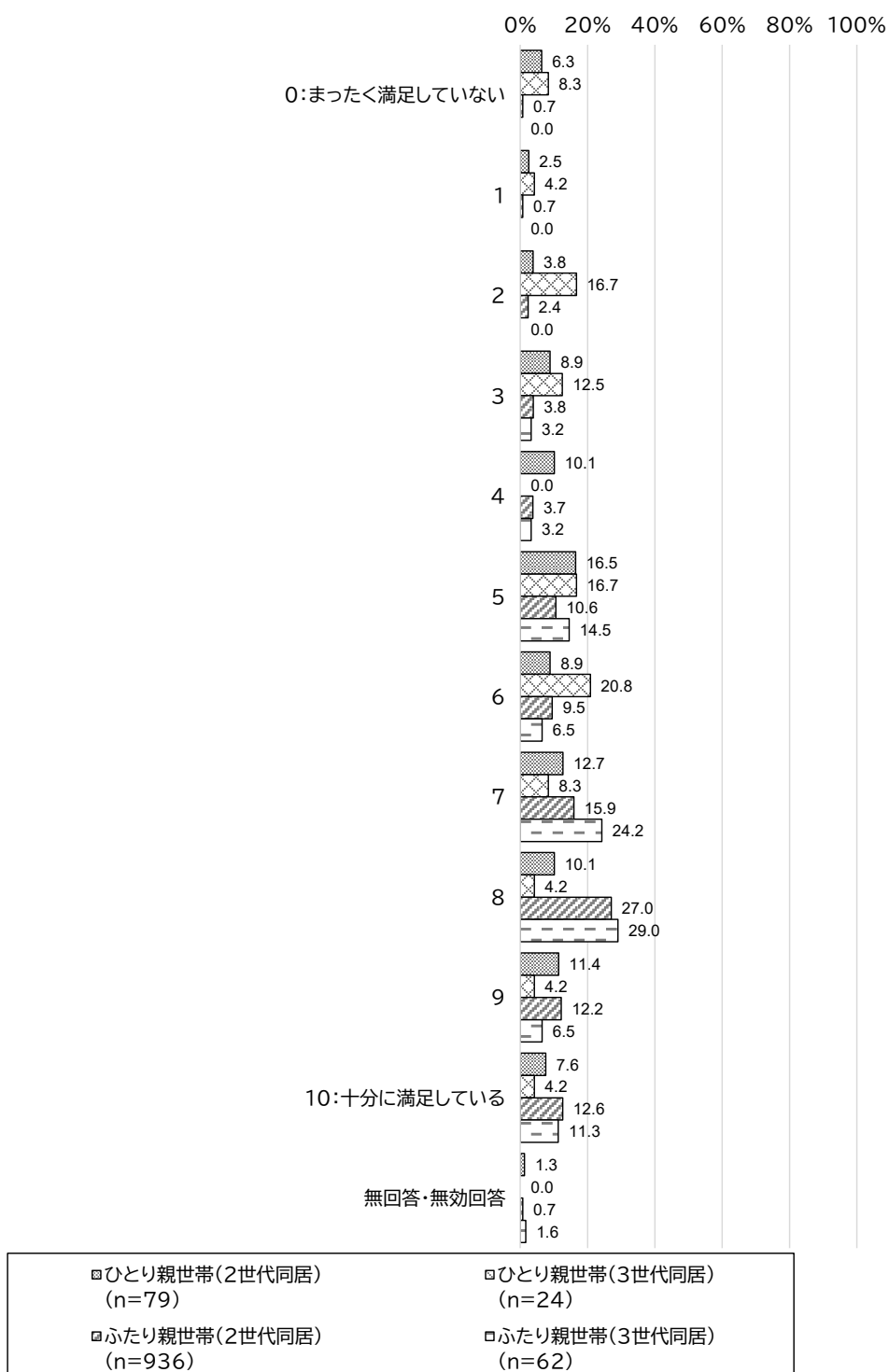
### 【中学2年生保護者問 19】

あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0(まったく満足していない)」から「10(十分に満足している)」の数字で教えてください。(単一回答)

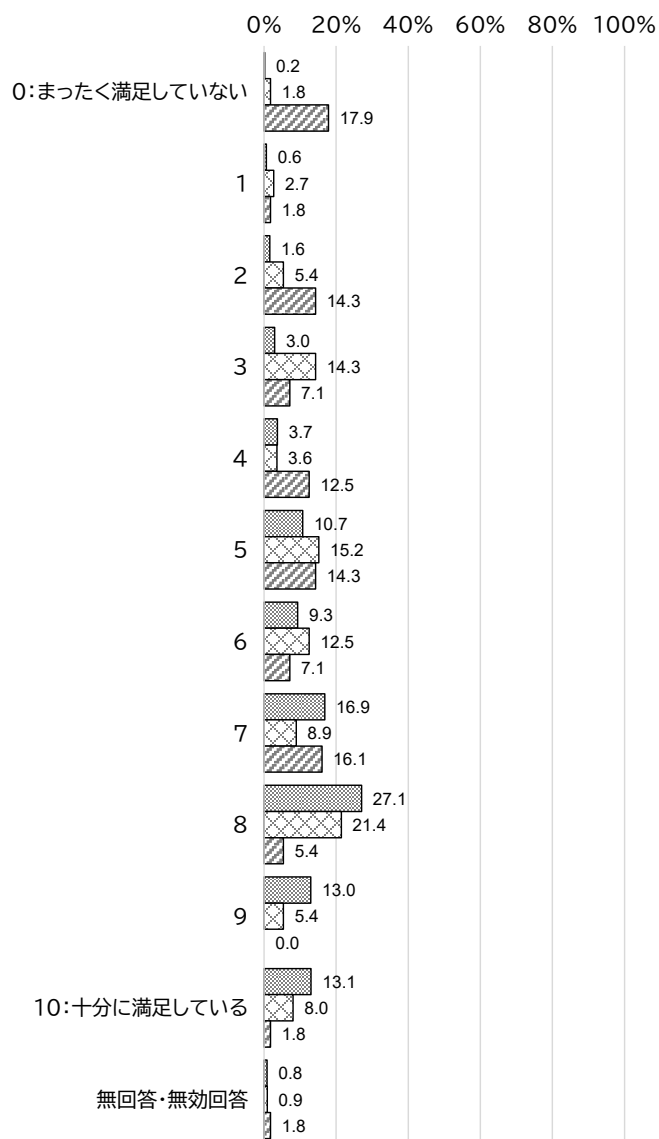
図表 5-137 生活満足度 (単純集計)



図表 5-138 生活満足度（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-139 生活満足度（生活困難層別クロス集計）



一般層 (n=942)
  周辺層 (n=112)
  困窮層 (n=56)

## (5) あなたのご家庭での生活や家計についてうかがいます

### ア 暮らしの状況

現在の暮らしの状況の認識については、「普通」が47.1%と最も多く、「やや苦しい」が21.5%、「ややゆとりがある」が17.8%であった。また、「大変苦しい」は8.3%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「やや苦しい」が34.2%と最も多く、「普通」が31.6%、「大変苦しい」が24.1%であった。

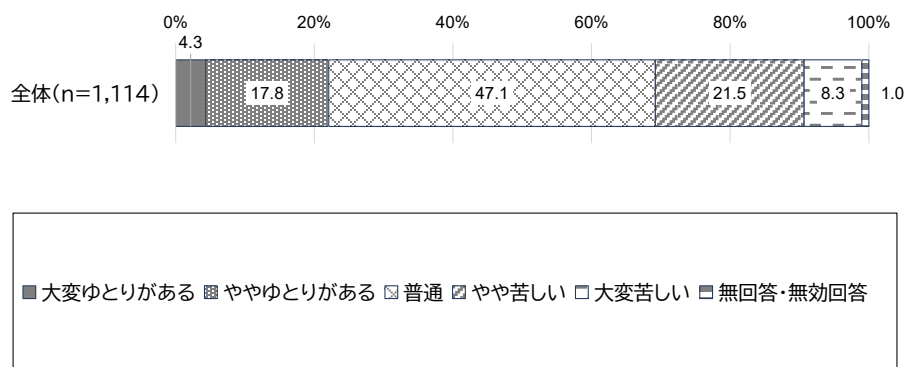
困窮層(n=56)では、「大変苦しい」が64.3%と最も多く、「やや苦しい」が26.8%、「ややゆとりがある」「普通」が3.6%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「やや苦しい」が43.9%と最も多く、「大変苦しい」が32.4%、「普通」が16.2%であった。

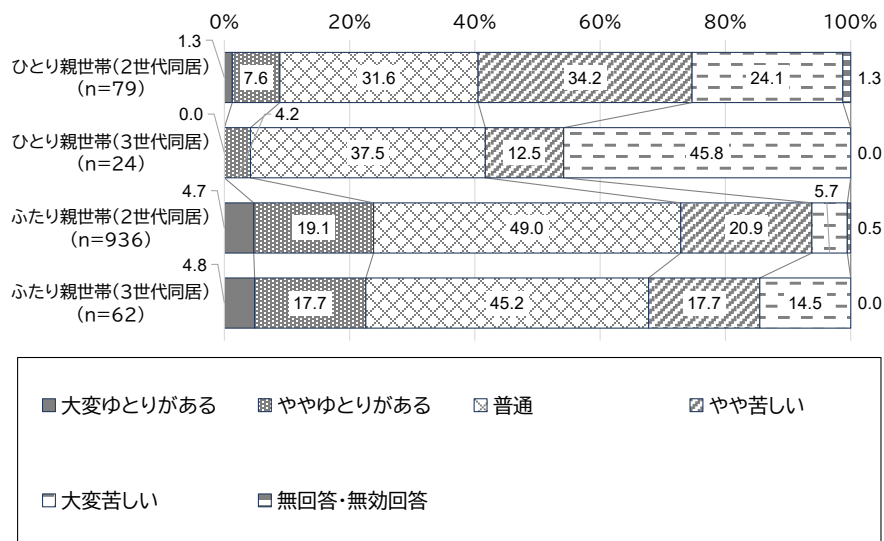
【中学2年生保護者問 20】

現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(単一回答)

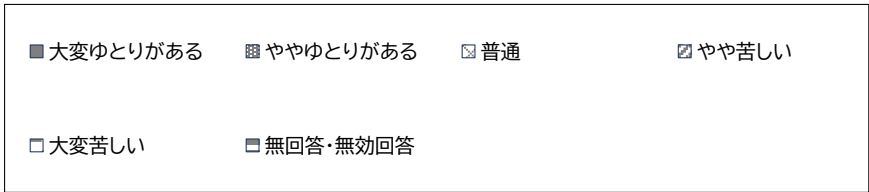
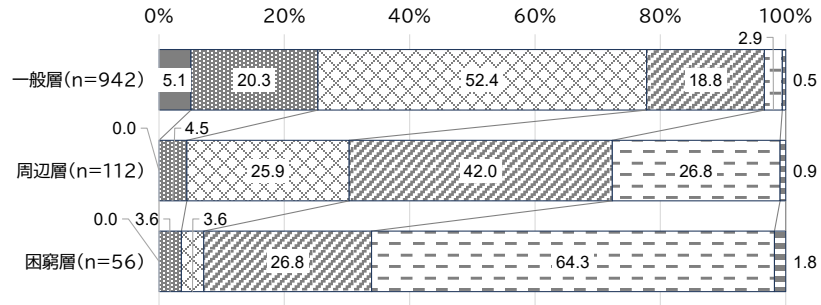
図表 5-140 暮らしの状況 (単純集計)



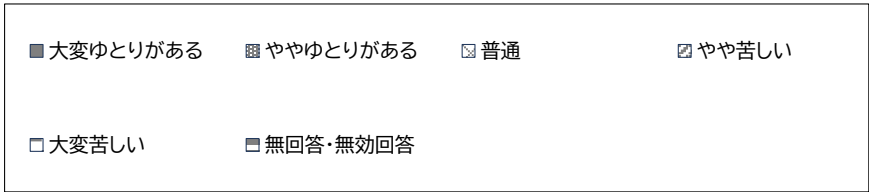
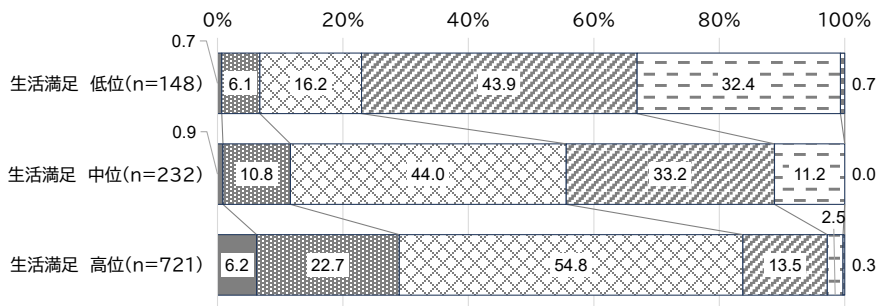
図表 5-141 暮らしの状況 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-142 暮らしの状況（生活困難層別クロス集計）



図表 5-143 暮らしの状況（生活満足度別クロス集計）



## イ 家計の状況

家計の状況については、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 39.1%と最も多く、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 31.4%、「収入は足りているが、貯蓄はしていない」が 12.7%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 39.2%と最も多く、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 27.8%、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 15.2%であった。

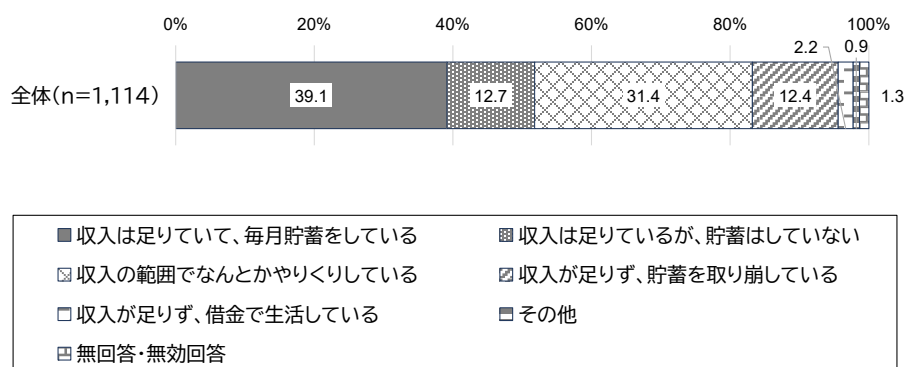
困窮層(n=56)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 42.9%と最も多く、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 33.9%、「収入が足りず、借金で生活している」が 16.1%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「収入の範囲でなんとかやりくりしている」が 34.5%と最も多く、「収入が足りず、貯蓄を取り崩している」が 33.8%、「収入は足りていて、毎月貯蓄をしている」が 10.8%であった。

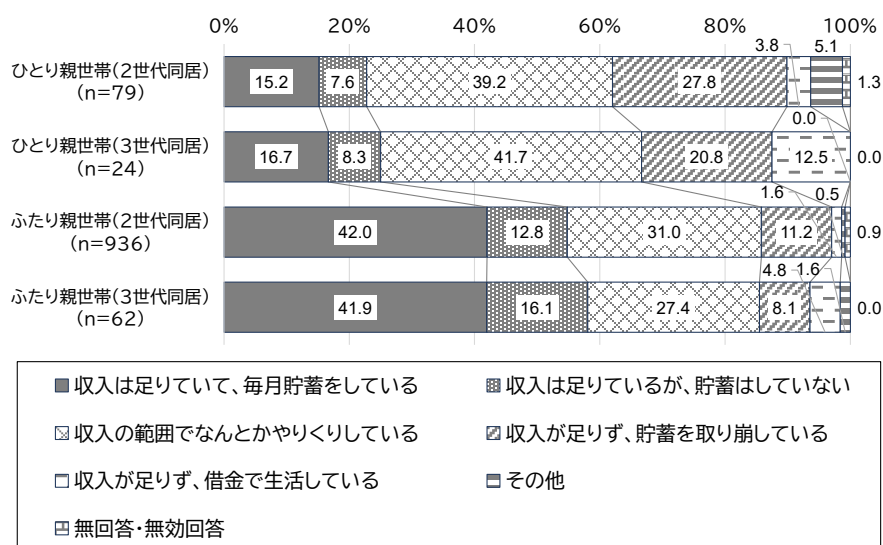
【中学2年生保護者問 21】

ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(単一回答)

図表 5-144 家計の状況 (単純集計)

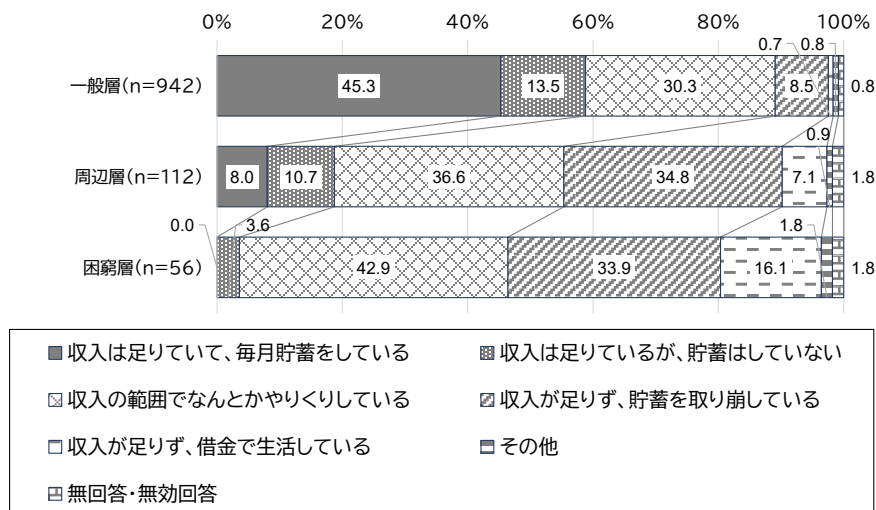


図表 5-145 家計の状況 (世帯タイプ別クロス集計)

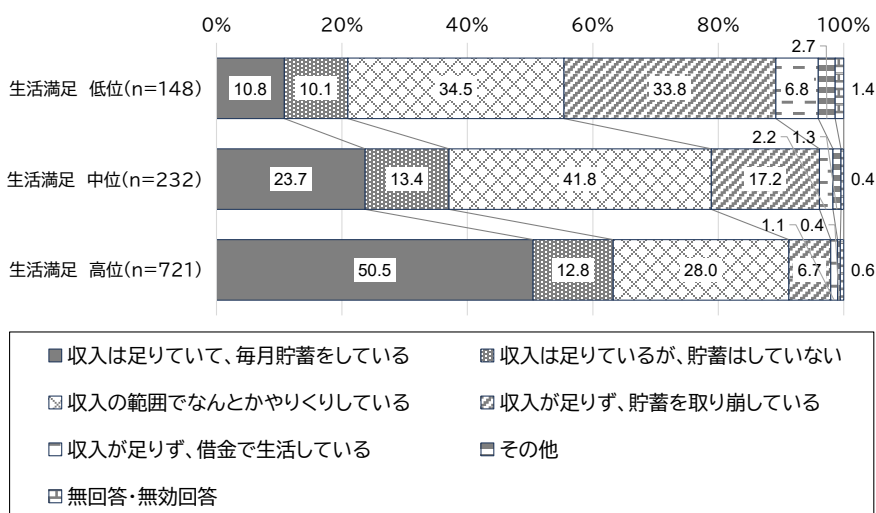




図表 5-146 家計の状況（生活困難層別クロス集計）



図表 5-147 家計の状況（生活満足度別クロス集計）



## ウ 食料が買えない経験

過去1年の間のお金が足りなくて食料が買えない経験の有無は、「まったくなかった」が 89.4%と最も多く、「まれにあった」が 5.2%、「ときどきあった」が 3.1%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「まったくなかった」が 75.9%と最も多く、「まれにあった」が 10.1%、「ときどきあった」が 7.6%であった。

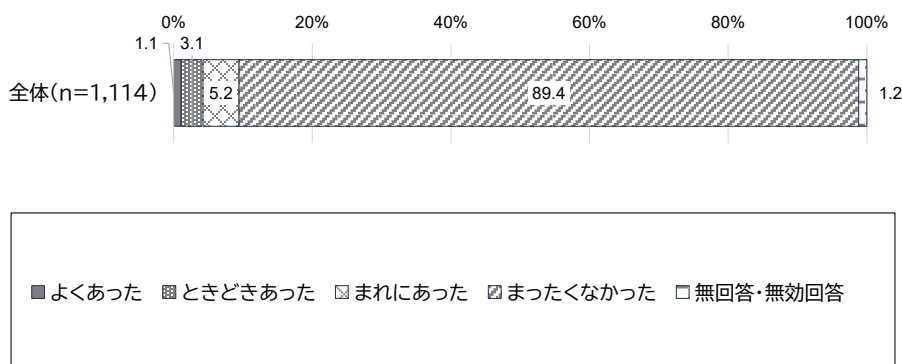
困窮層(n=56)では、「ときどきあった」が 41.1%と最も多く、「まれにあった」が 21.4%、「よくあった」が 17.9%であった。また、「まったくなかった」は 16.1%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「まったくなかった」が 66.9%と最も多く、「まれにあった」が 12.8%、「ときどきあった」が 12.2%であった。

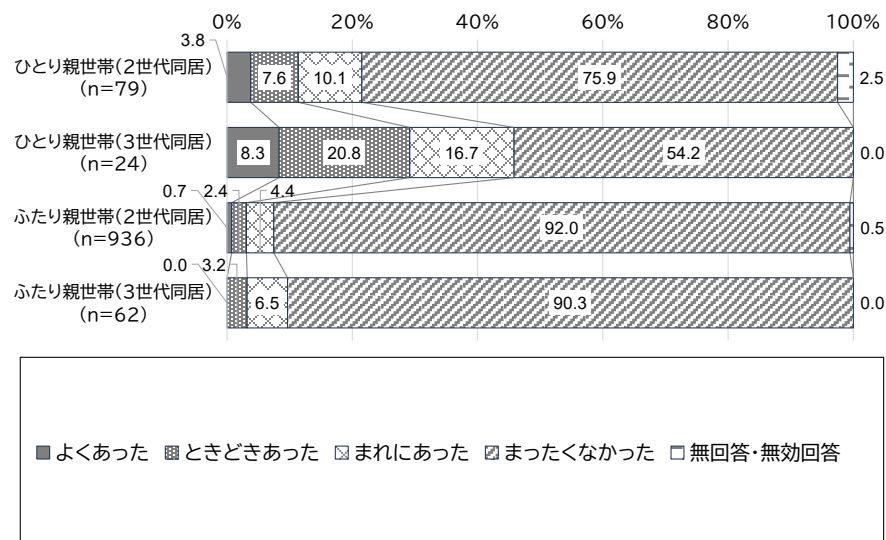
【中学2年生保護者問 22】

あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(単一回答)

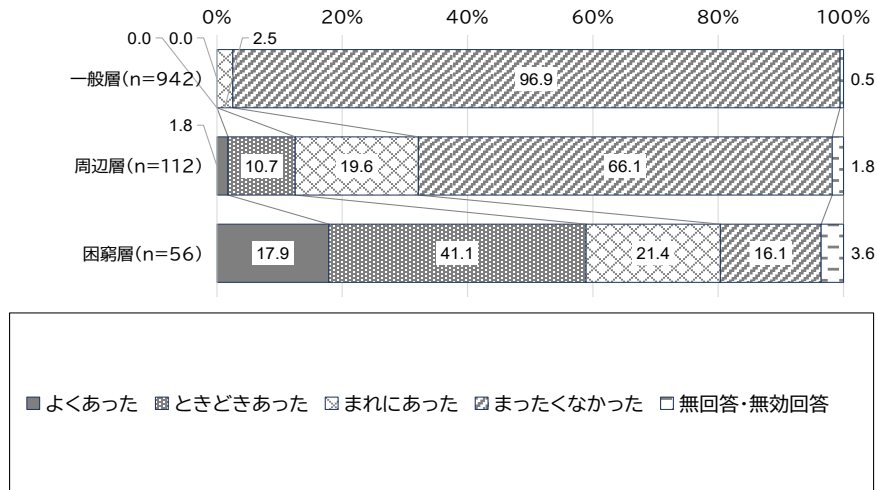
図表 5-148 お金が足りなくて食料が買えなかった経験 (単純集計)



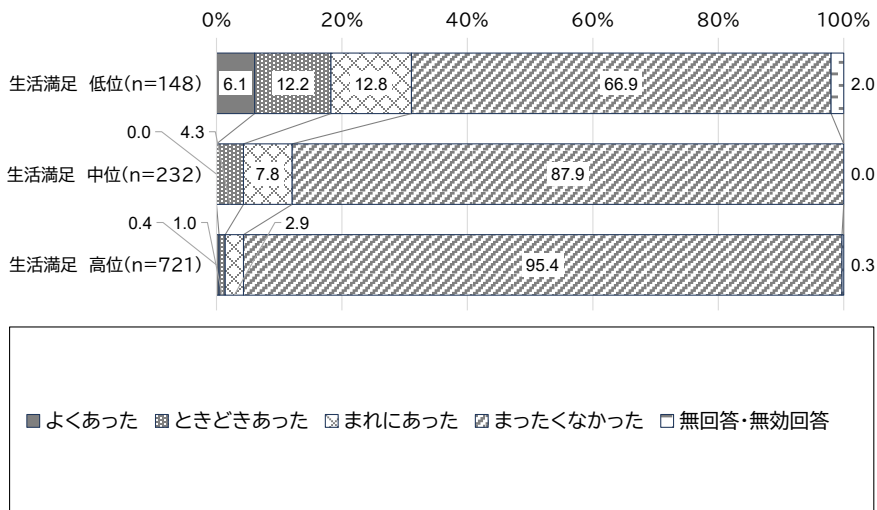
図表 5-149 お金が足りなくて食料が買えなかった経験 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-150 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（生活困難層別クロス集計）<sup>42</sup>



図表 5-151 お金が足りなくて食料が買えなかった経験（生活満足度別クロス集計）



<sup>42</sup> 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

## 工 衣類が買えない経験

お金が足りなくて衣類が買えなかった経験についてみると、「まったくなかった」が 84.7%と最も多く、「まれにあった」が 8.8%、「ときどきあった」が 4.1%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「まったくなかった」が 63.3%と最も多く、「まれにあった」が 20.3%、「ときどきあった」が 12.7%であった。

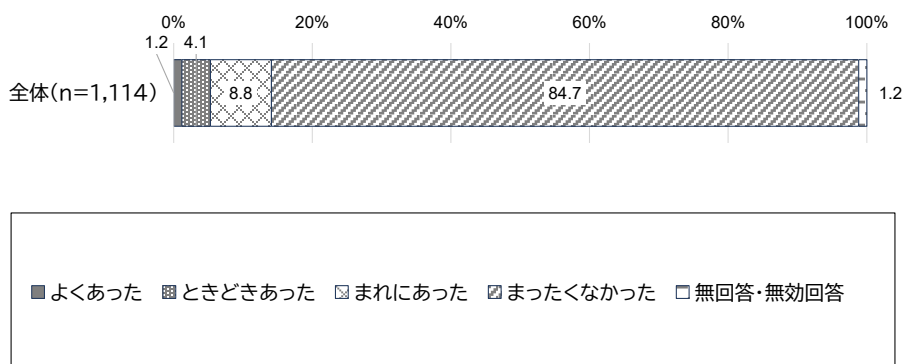
困窮層(n=56)では、「ときどきあった」が 44.6%と最も多く、「まれにあった」が 23.2%、「よくあった」が 17.9%であった。また、「まったくなかった」は 12.5%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「まったくなかった」が 59.5%と最も多く、「まれにあった」が 21.6%、「ときどきあった」が 12.2%であった。

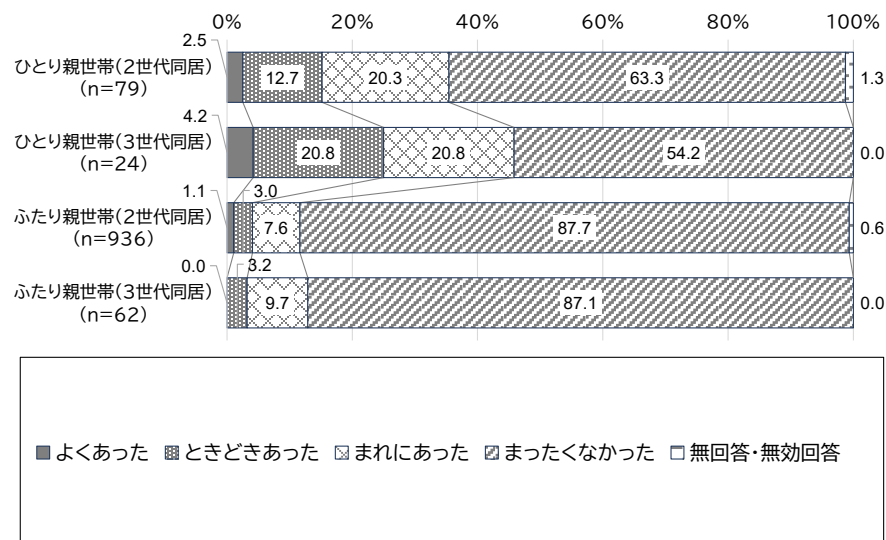
### 【中学2年生保護者問 23】

あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(単一回答)

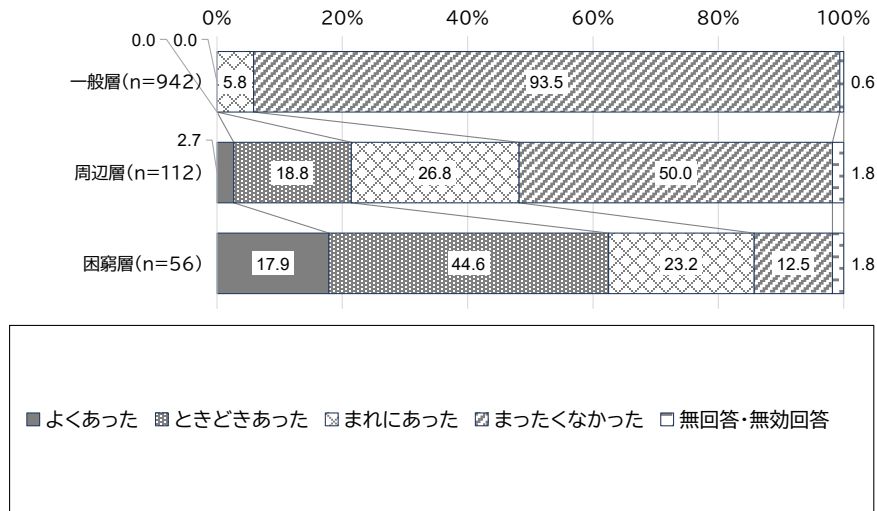
図表 5-152 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験 (単純集計)



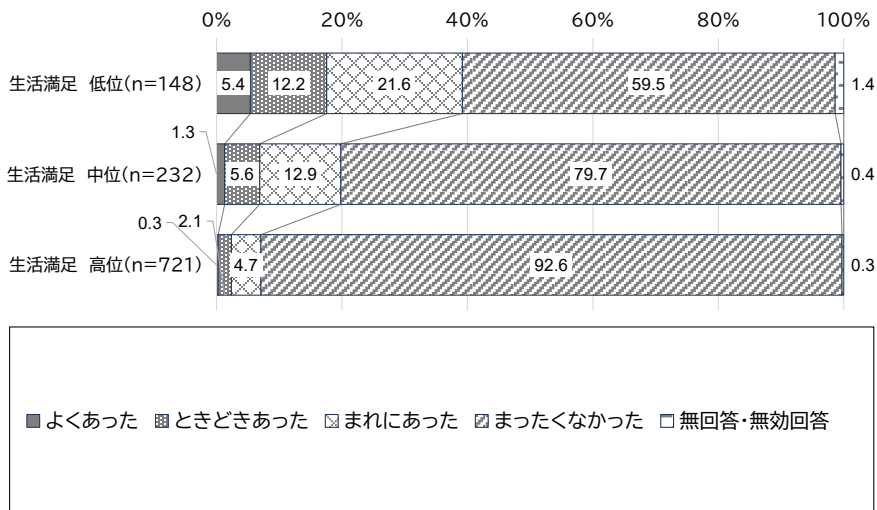
図表 5-153 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験 (世帯タイプ別クロス集計)



図表 5-154 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（生活困難層別クロス集計）<sup>43</sup>



図表 5-155 お金が足りなくて衣類が買えなかった経験（生活満足度別クロス集計）



<sup>43</sup> 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。

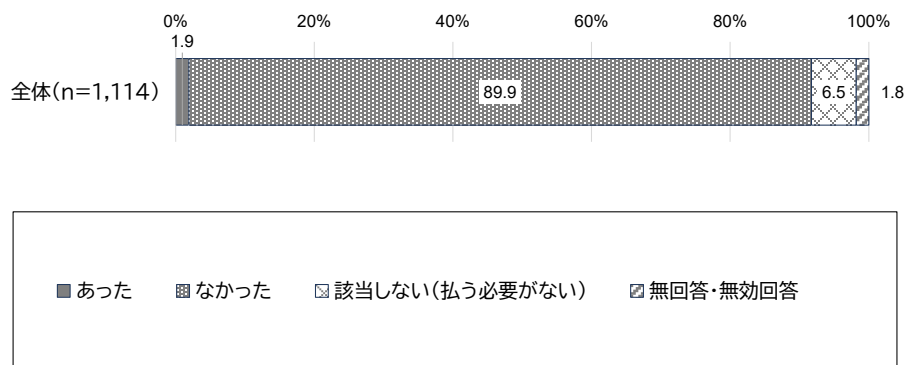
## オ 公共料金等の不払いの有無

「電話料金」については、「あった」が1.9%であった。

【中学2年生保護者問 24A】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-156 電話料金が支払えなかった経験 (単純集計)

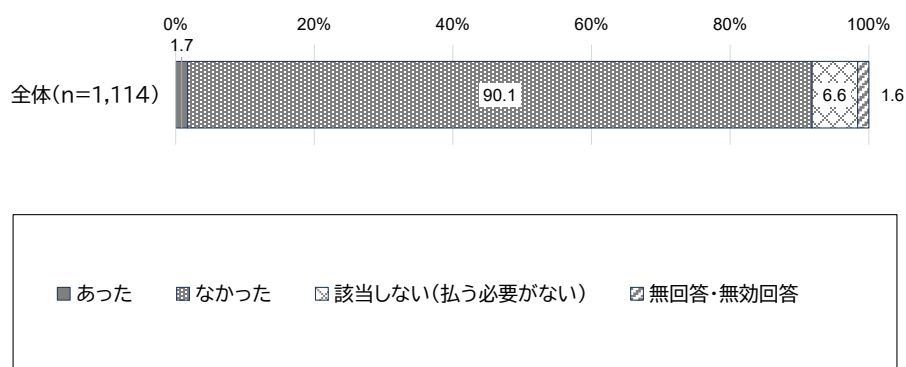


「電気料金」については、「あった」が1.7%であった。

【中学2年生保護者問 24B】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-157 電気料金が支払えなかった経験 (単純集計)

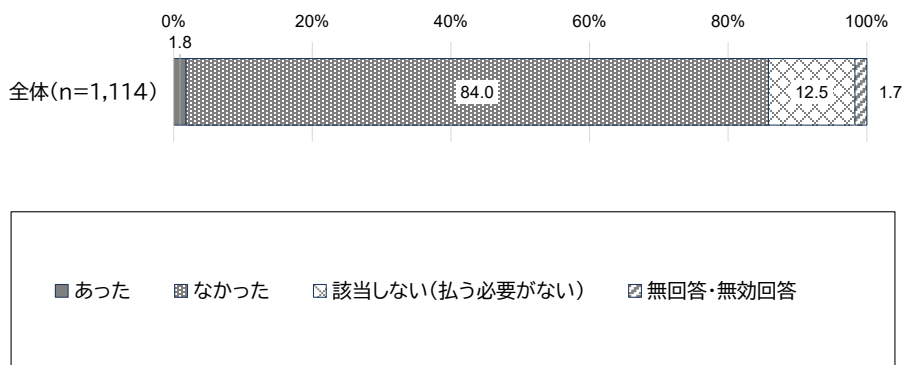


「ガス料金」については、「あった」が1.8%であった。

【中学2年生保護者問 24C】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-158 ガス料金が支払えなかった経験 (単純集計)

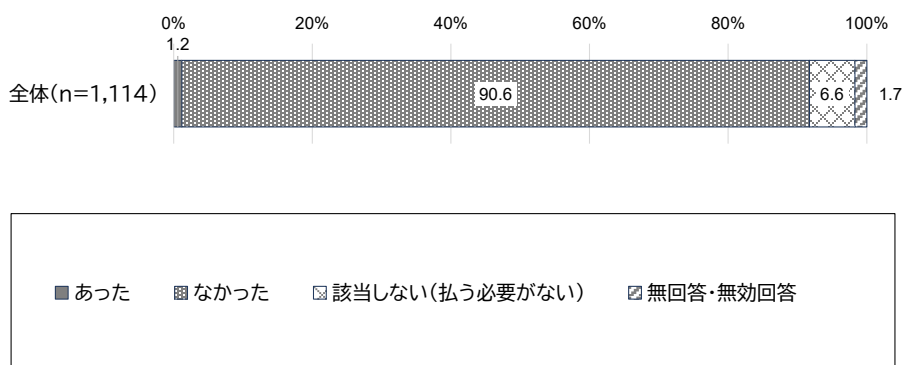


「水道料金」については、「あった」が1.2%であった。

【中学2年生保護者問 24D】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-159 水道料金が支払えなかった経験 (単純集計)

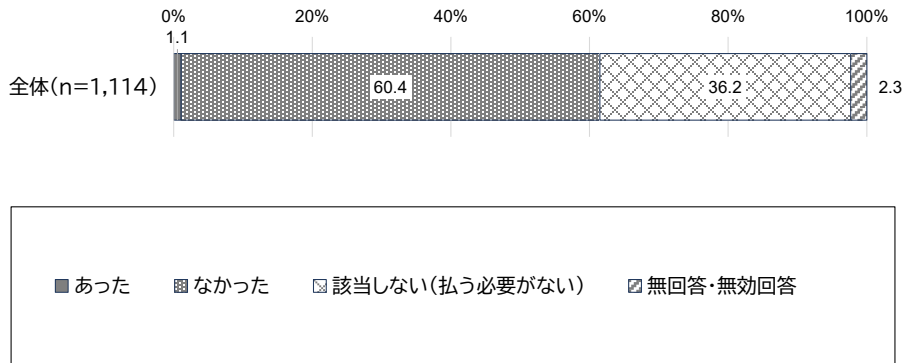


「家賃」については、「あった」が1.1%であった。  
 困窮層(n=56)では、「あった」が12.5%であった。  
 生活満足 低位(n=148)では、「あった」が4.7%であった。

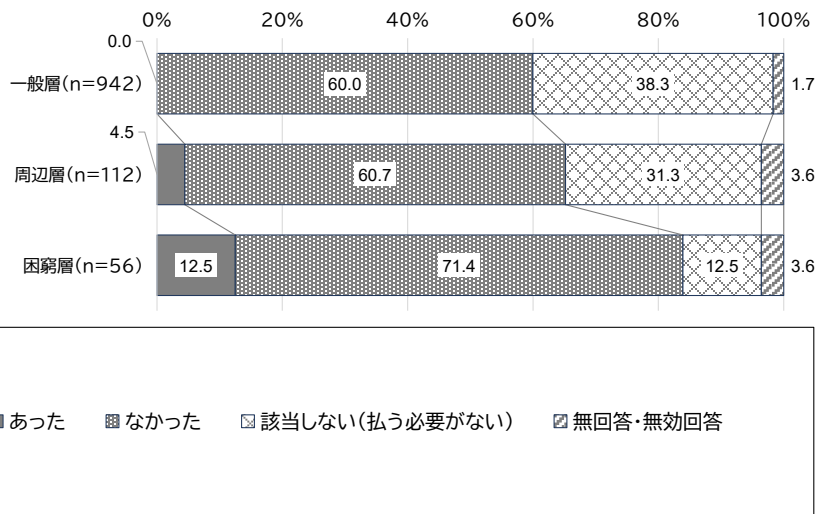
【中学2年生保護者問 24E】

過去1年の間に、経済的な理由で、次のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-160 家賃が支払えなかった経験（単純集計）



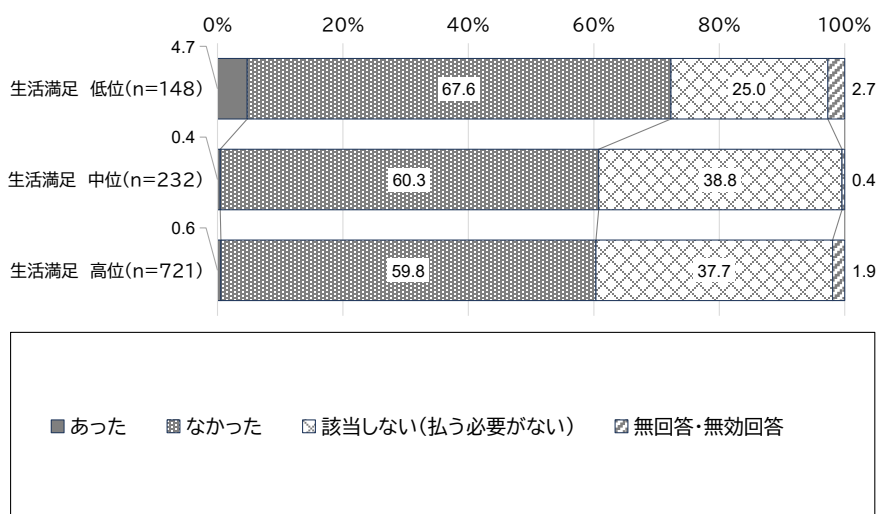
図表 5-161 家賃が支払えなかった経験（生活困難層別クロス集計）<sup>44</sup>



<sup>44</sup> 生活困難層の「家計のひっ迫」の判定要素である点に留意が必要である。



図表 5-162 家賃が支払えなかった経験（生活満足度別クロス集計）

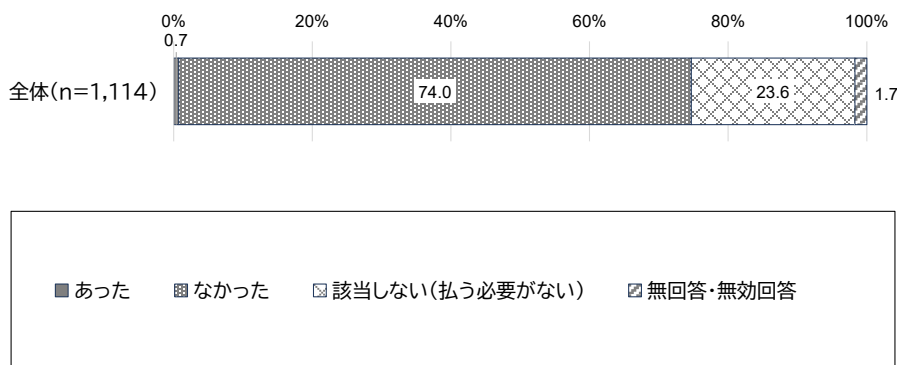


「住宅ローン」については、「あった」が 0.7%であった。

【中学2年生保護者問 24F】

過去1年の間に、経済的な理由で、次の A～G のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-163 住宅ローンが支払えなかった経験（単純集計）

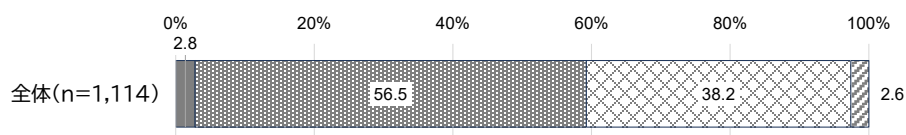


「その他の債務」については、「あった」が 2.8%であった。

【中学2年生保護者問 24G】

過去1年の間に、経済的な理由で、次の A～G のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(単一回答)

図表 5-164 その他の債務が支払えなかった経験 (単純集計)



■ あった   ■ なかった   ■ 該当しない(払う必要がない)   ■ 無回答・無効回答

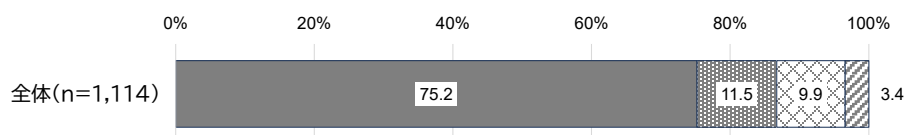
## カ 手当・援助等の有無

「児童手当」については、「受けている」が 75.2%であった。

【中学2年生保護者問 25A】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-165 児童手当 (単純集計)



■ 受けている   ■ 受けたことがある   ■ 受けたことはない   ■ 無回答・無効回答

「就学援助」については、「受けている」が9.9%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「受けている」が55.7%であった。

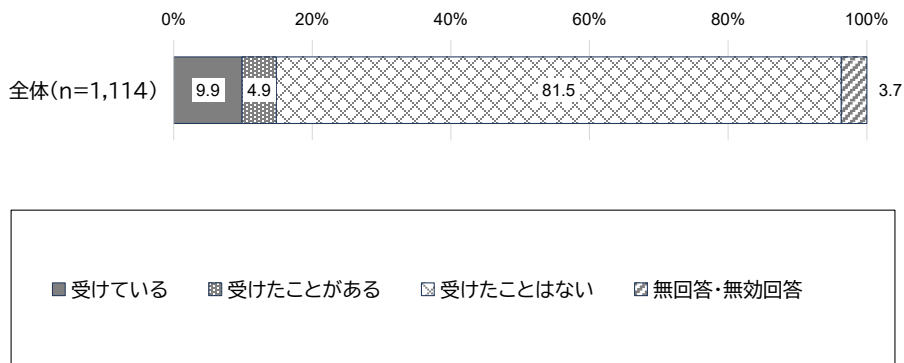
困窮層(n=56)では、「受けている」が58.9%であった。

生活満足 低位(n=148)では、「受けている」が27.7%であった。

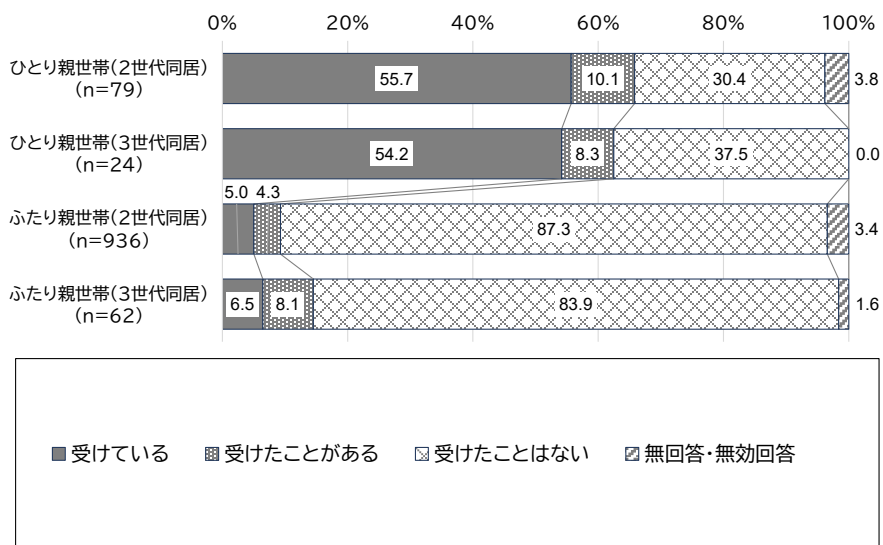
【中学2年生保護者問 25B】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

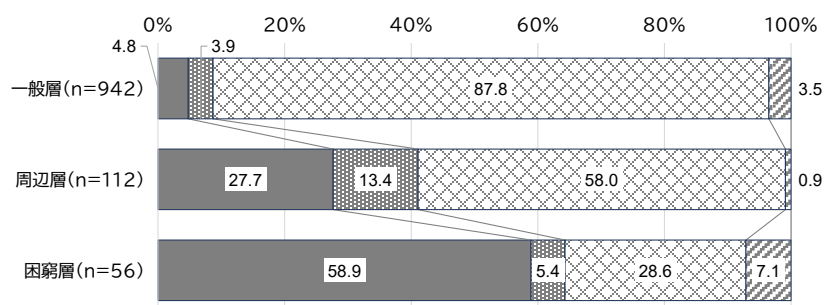
図表 5-166 就学援助 (単純集計)



図表 5-167 就学援助 (世帯タイプ別クロス集計)

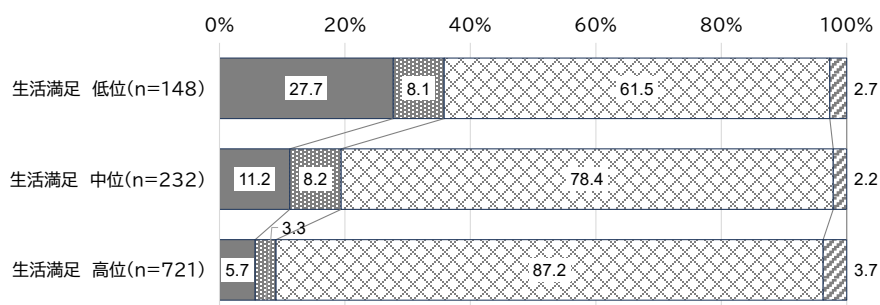


図表 5-168 就学援助（生活困難層別クロス集計）



■ 受けている   ■ 受けたことがある   ■ 受けたことはない   ■ 無回答・無効回答

図表 5-169 就学援助（生活満足度別クロス集計）



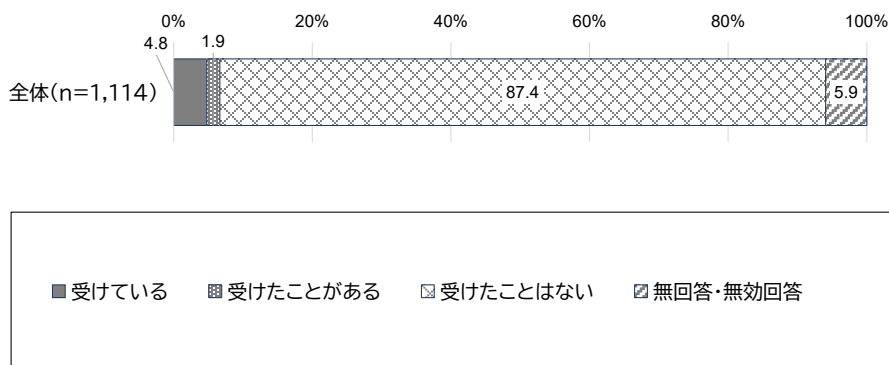
■ 受けている   ■ 受けたことがある   ■ 受けたことはない   ■ 無回答・無効回答

「児童扶養手当」については、「受けている」が4.8%であった。  
 ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「受けている」が51.9%であった。  
 困窮層(n=56)では、「受けている」が26.8%であった。  
 生活満足 低位(n=148)では、「受けている」が14.9%であった。

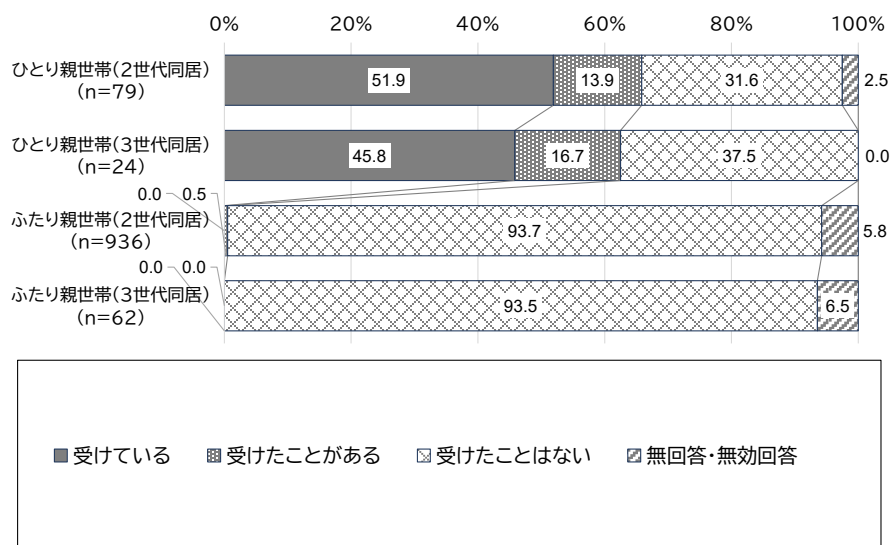
【中学2年生保護者問 25C】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

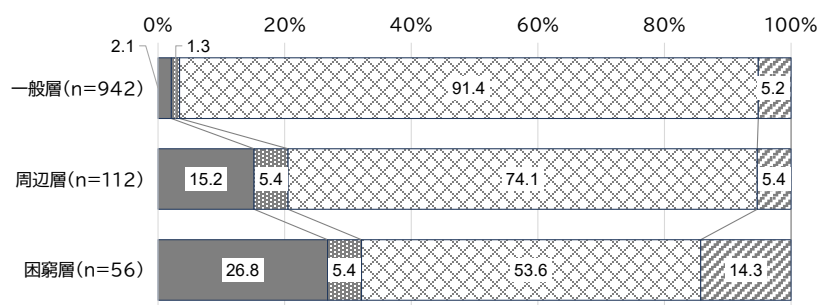
図表 5-170 児童扶養手当 (単純集計)



図表 5-171 児童扶養手当 (世帯タイプ別クロス集計)

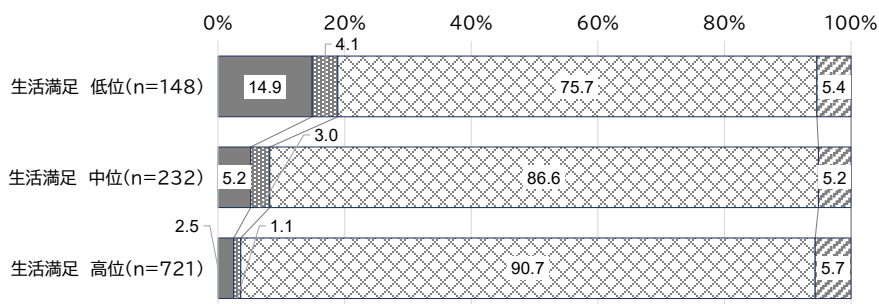


図表 5-172 児童扶養手当（生活困難層別クロス集計）



■ 受けている   ■ 受けたことがある   ■ 受けたことはない   ■ 無回答・無効回答

図表 5-173 児童扶養手当（生活満足度別クロス集計）



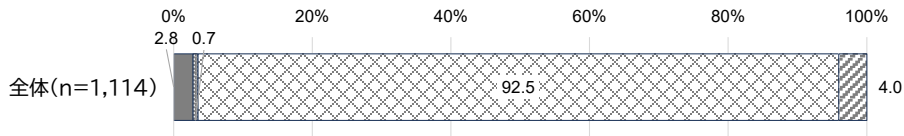
■ 受けている   ■ 受けたことがある   ■ 受けたことはない   ■ 無回答・無効回答

「障がいや難病の手当」については、「受けている」が2.8%であった。

【中学2年生保護者問 25D】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-174 障がいや難病の手当 (単純集計)



■ 受けている   ■ 受けたことがある   ■ 受けたことはない   ■ 無回答・無効回答

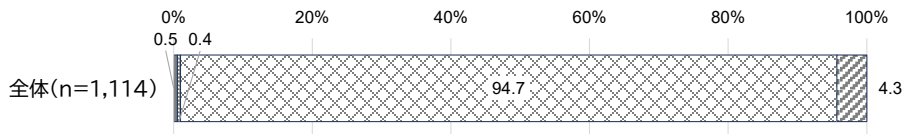
「生活保護」については、「受けている」が0.5%であった。

困窮層(n=56)では、「受けている」が7.1%であった。

【中学2年生保護者問 25E】

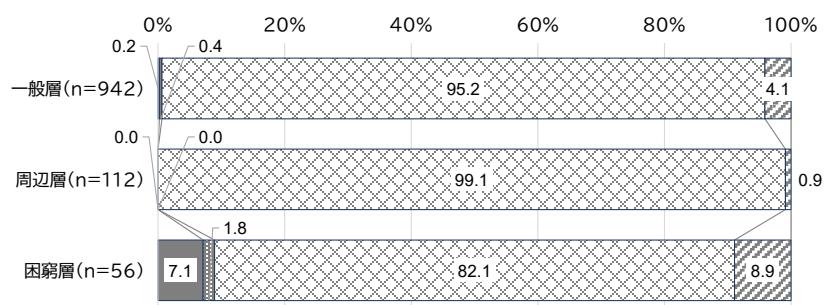
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-175 生活保護 (単純集計)



■ 受けている   ■ 受けたことがある   ■ 受けたことはない   ■ 無回答・無効回答

図表 5-176 生活保護（生活困難層別クロス集計）



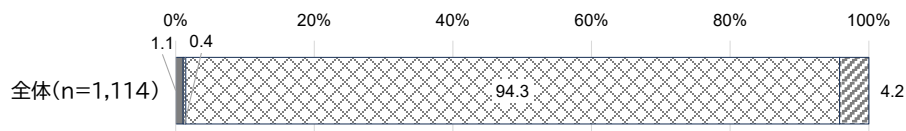
■ 受けている   ■ 受けたことがある   ■ 受けたことはない   ■ 無回答・無効回答

「公的年金(老齢年金)」については、「受けている」が1.1%であった。

【中学2年生保護者問 25F】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-177 公的年金(老齢年金) (単純集計)



■ 受けている   ■ 受けたことがある   ■ 受けたことはない   ■ 無回答・無効回答

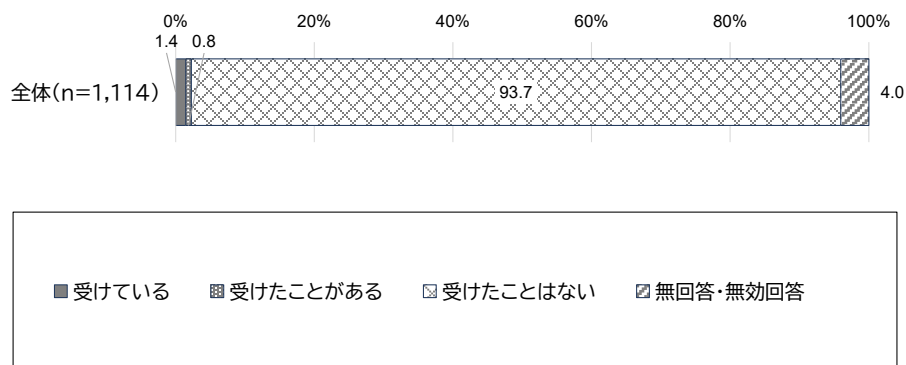


「公的年金(遺族年金、障害年金)」については、「受けている」が1.4%であった。  
ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「受けている」が11.4%であった。

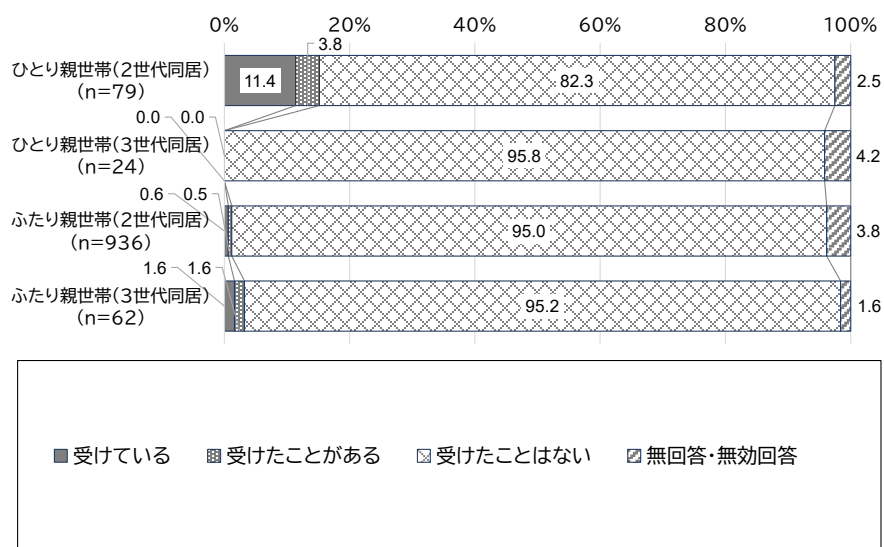
【中学2年生保護者問 25G】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-178 公的年金(遺族年金、障害年金) (単純集計)



図表 5-179 公的年金(遺族年金、障害年金) (世帯タイプ別クロス集計)

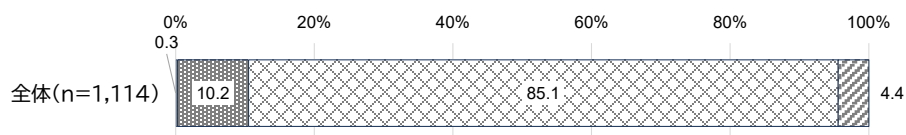


「雇用保険(失業保険)」については、「受けている」が0.3%であった。

【中学2年生保護者問 25H】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-180 雇用保険(失業保険) (単純集計)



■ 受けている   ■ 受けたことがある   ■ 受けたことはない   ■ 無回答・無効回答

「養育費」については、「受けている」が3.5%であった。

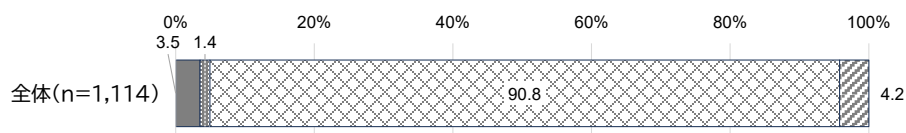
ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「受けている」が34.2%であった。

困窮層(n=56)では、「受けている」が7.1%であった。

【中学2年生保護者問 25I】

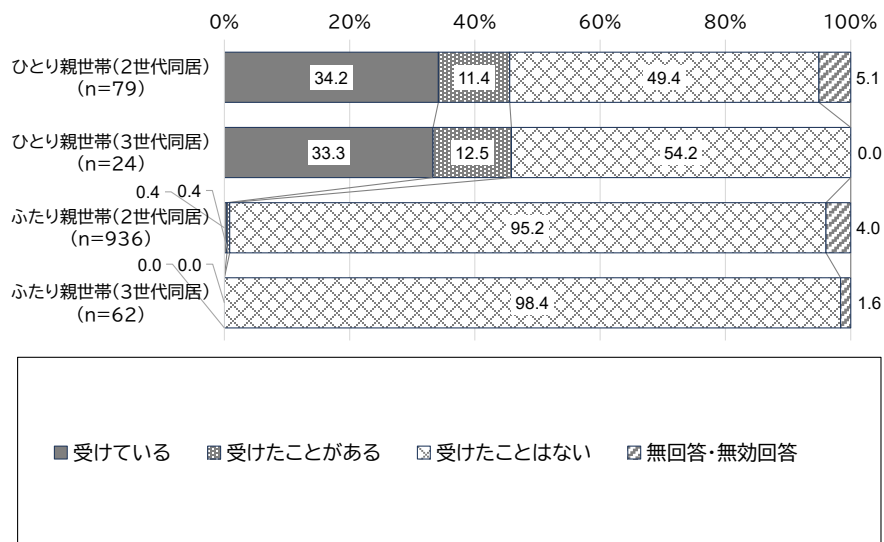
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-181 養育費 (単純集計)

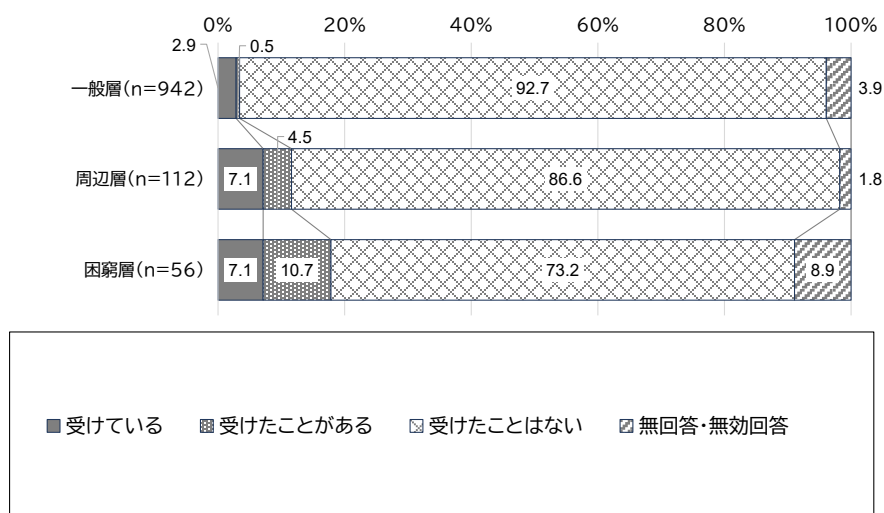


■ 受けている   ■ 受けたことがある   ■ 受けたことはない   ■ 無回答・無効回答

図表 5-182 養育費（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-183 養育費（生活困難層別クロス集計）

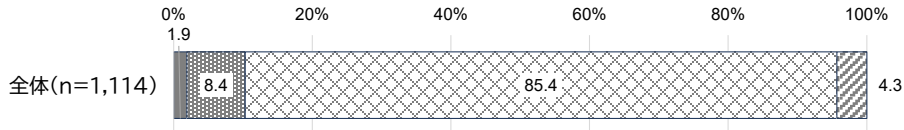


「親・親族からの仕送り」については、「受けている」が1.9%であった。  
 困窮層(n=56)では、「受けている」が1.8%であった。

【中学2年生保護者問 25J】

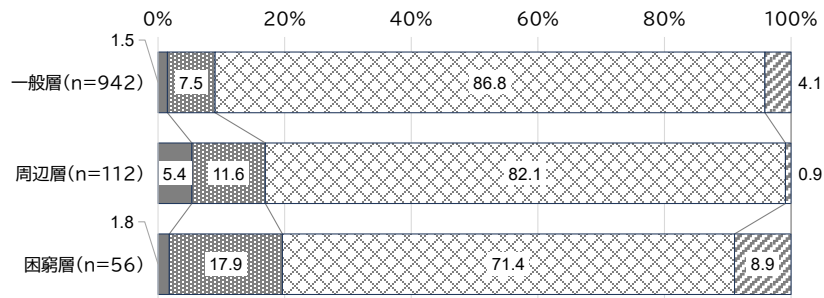
あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-184 親・親族からの仕送り (単純集計)



■ 受けている    ▨ 受けたことがある    ▩ 受けたことはない    ▤ 無回答・無効回答

図表 5-185 親・親族からの仕送り (生活困難層別クロス集計)



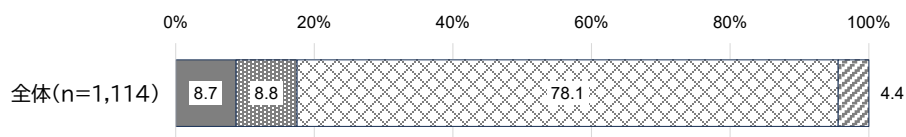
■ 受けている    ▨ 受けたことがある    ▩ 受けたことはない    ▤ 無回答・無効回答

「その他、株式配当などの副収入」については、「受けている」が8.7%であった。

【中学2年生保護者問 25K】

あなたの世帯では次の手当や援助等を受けていますか。(単一回答)

図表 5-186 その他、株式配当などの副収入 (単純集計)



■ 受けている    ▨ 受けたことがある    ▩ 受けたことはない    ▤ 無回答・無効回答

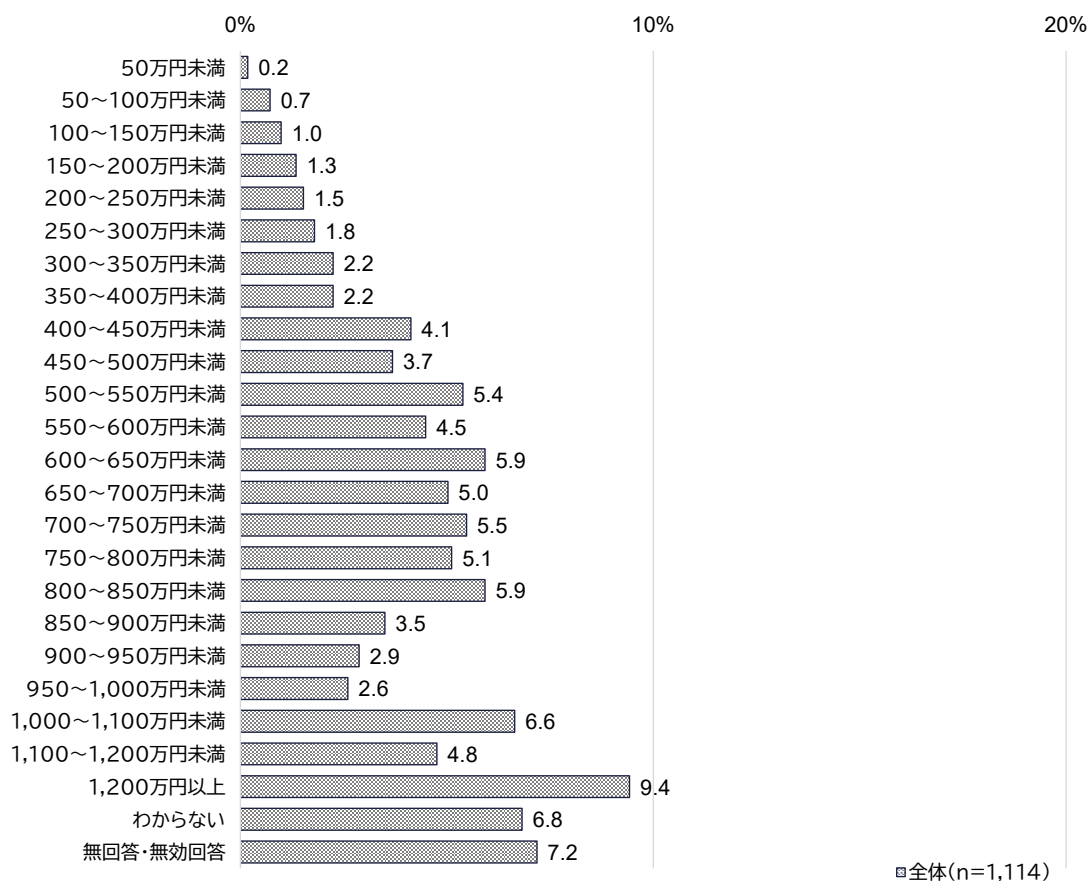
## キ 世帯の年間収入

前年(2022年)の回答者の世帯の収入の合計額は、「1,200万円以上」が9.4%と最も多く、「1,000～1,100万円未満」が6.6%、「600～650万円未満」「800から850万円未満」が5.9%であった。

【中学2年生保護者問 26】

前年(2022年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。(単一回答)

図表 5-187 世帯収入 (単純集計)



## (6) お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験についてうかがいます

### ア 母親の最終学歴(最後に通った学校)

回答者が母親かひとり親ではない父親の場合に、宛名の子ども母親の最終学歴を尋ねた結果、「高専、短大、専門学校等」が40.4%と最も多く、「大学」が36.9%、「高等学校」が16.7%であった。

前回調査と比較すると、「大学」と回答した割合が、今回調査は36.9%、前回調査は27.7%で、9.2ポイント増加、「高専、短大、専門学校等」と回答した割合は、今回調査は40.4%、前回調査は48.5%で、8.1ポイント減少した。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=67)では、「高専、短大、専門学校等」が38.8%と最も多く、「高等学校」が28.4%、「大学」が26.9%であった。

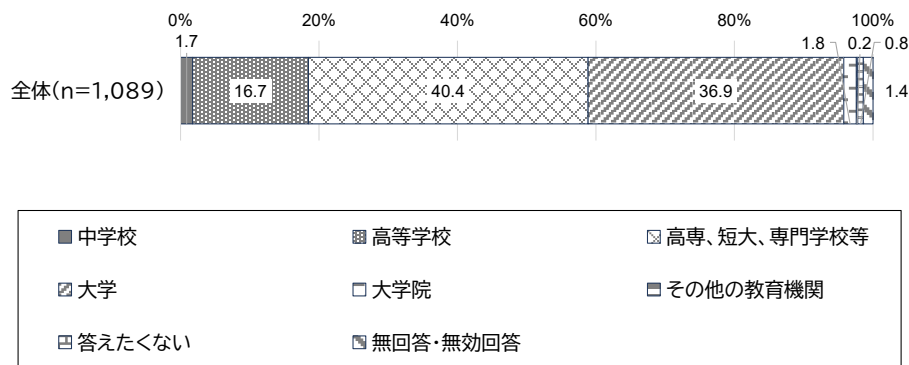
困窮層(n=51)では、「高等学校」が41.2%と最も多く、「高専、短大、専門学校等」が33.3%、「中学校」が11.8%であった。

生活満足 低位(n=143)では、「高専、短大、専門学校等」が42.7%と最も多く、「大学」が25.9%、「高等学校」が22.4%であった。

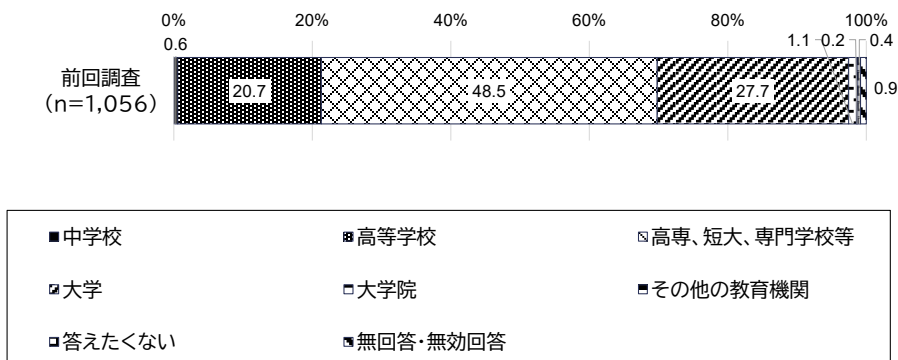
#### 【中学2年生保護者問 27】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 30 にお進みください)お子さんのお母さまの最終学歴は次のどちらにあたりますか。※お子さんにお母さまがいらっしゃらない場合は、問 28 にお進みください。(単一回答)

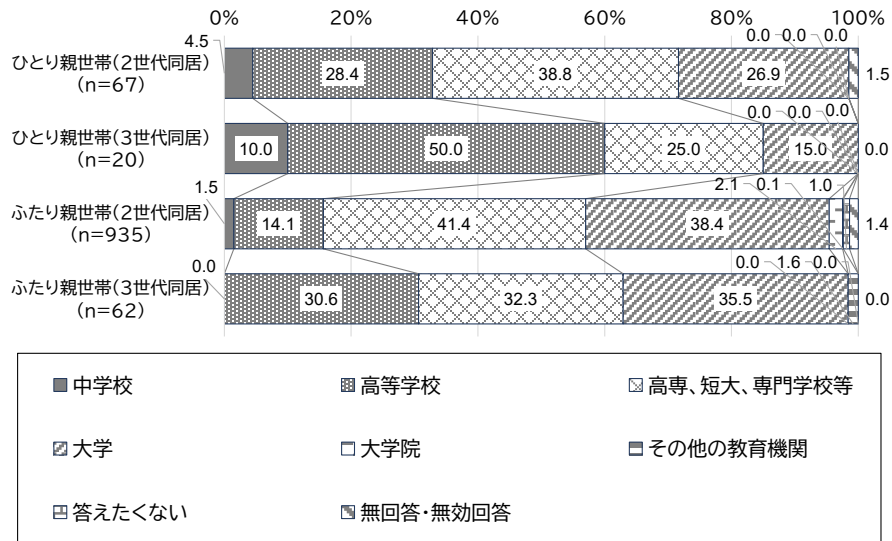
図表 5-188 母親の最後に通った学校 (単純集計)



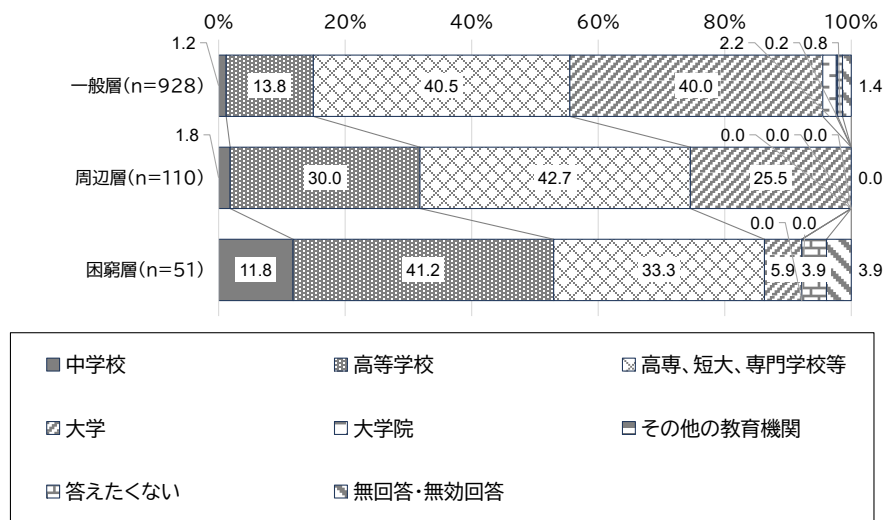
図表 5-189 母親の最後に通った学校 (前回調査 単純集計)



図表 5-190 母親の最後に通った学校（世帯タイプ別クロス集計）

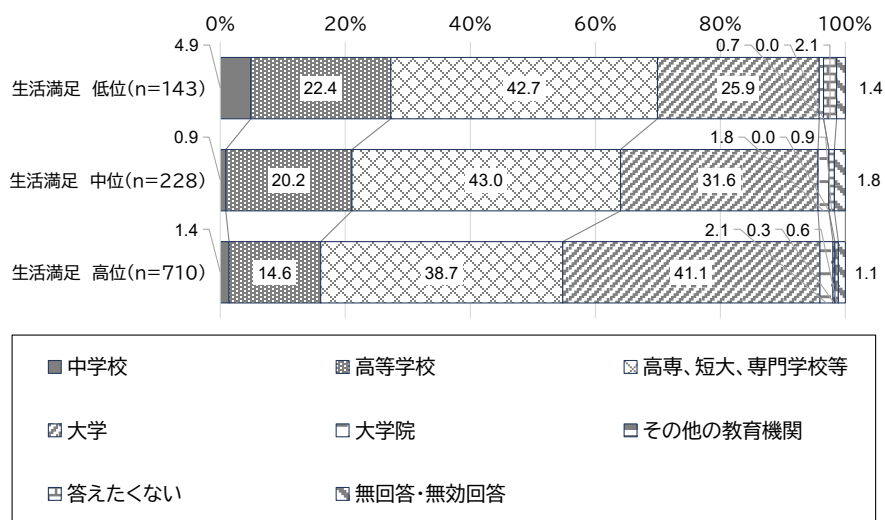


図表 5-191 母親の最後に通った学校（生活困難層別クロス集計）





図表 5-192 母親の最後に通った学校（生活満足度別クロス集計）



## イ 父親の最終学歴（最後に通った学校）

回答者が父親かひとり親ではない母親の場合に、宛名の子ども父親の最終学歴を尋ねた結果、「大学」が50.3%と最も多く、「高等学校」が17.1%、「高専、短大、専門学校等」が16.3%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=12)では、「大学」が33.3%、「大学院」が25.0%、「高等学校」「高専、短大、専門学校等」が16.7%であった。

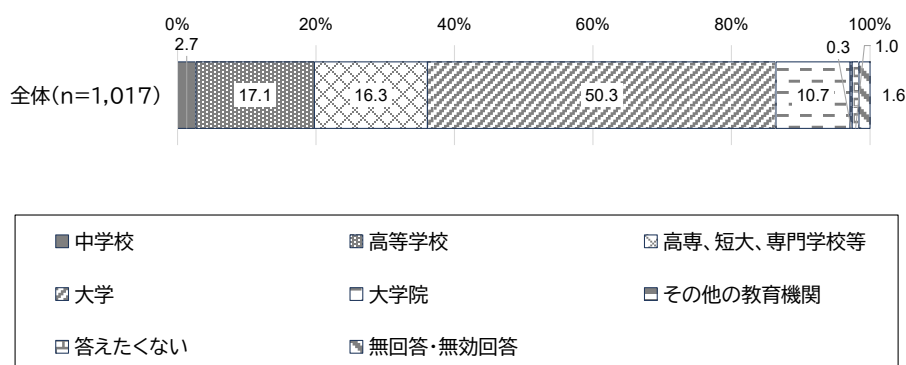
困窮層(n=36)では、「高等学校」「高専、短大、専門学校等」が27.8%、「大学」が22.2%であった。

生活満足 低位(n=116)では、「大学」が39.7%と最も多く、「高専、短大、専門学校等」が24.1%、「高等学校」が22.4%であった。

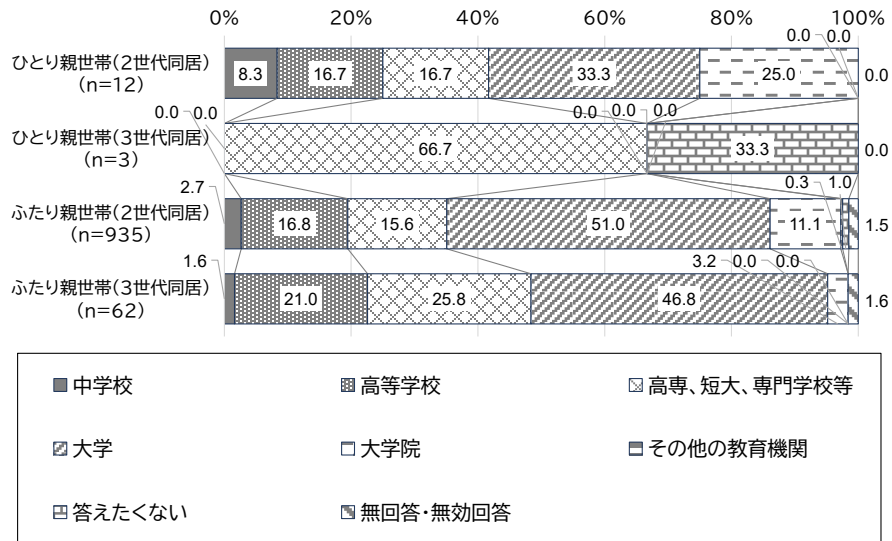
### 【中学2年生保護者問 28】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 30 にお進みください)お子さんのお父さまの最終学歴は次のどちらにあたりますか。※お子さんにお父さまがいらっしゃらない場合は、問 29 にお進みください。(単一回答)

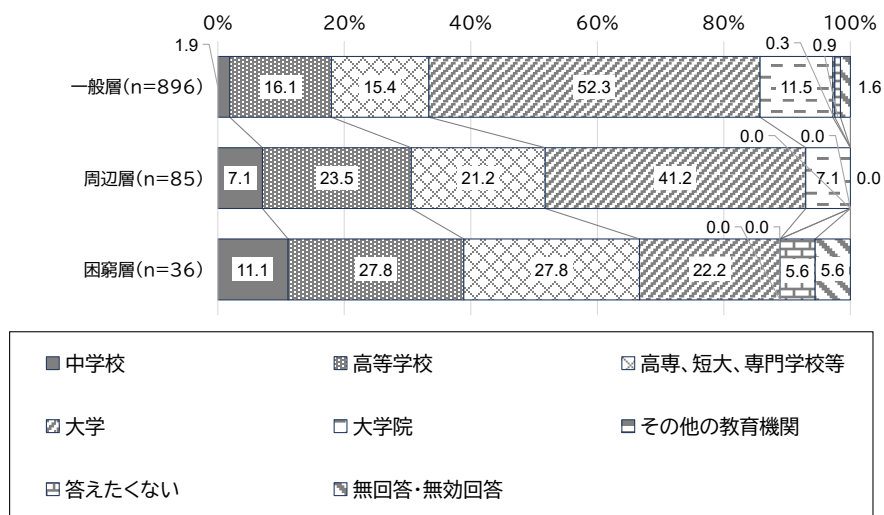
図表 5-193 父親の最後に通った学校（単純集計）



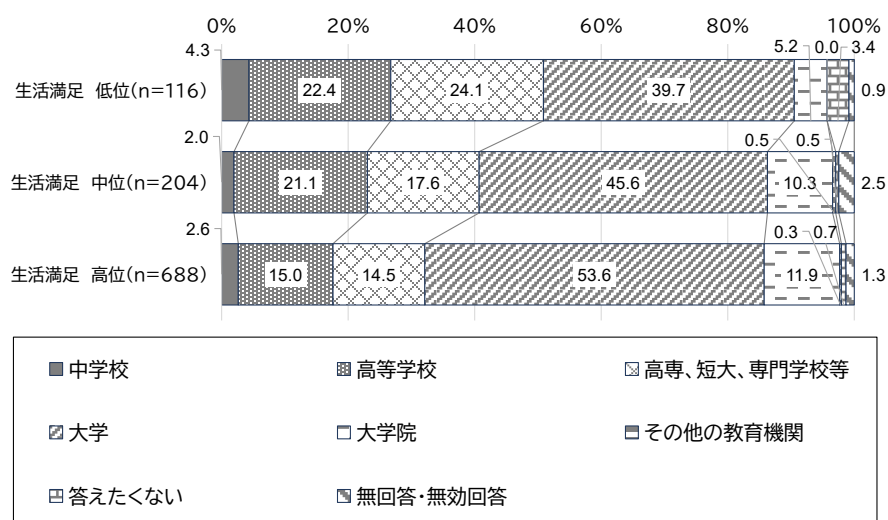
図表 5-194 父親の最後に通った学校（世帯タイプ別クロス集計）



図表 5-195 父親の最後に通った学校（生活困難層別クロス集計）



図表 5-196 父親の最後に通った学校（生活満足度別クロス集計）



## ウ 子どもが生まれてからの経験

回答者が母親か父親の場合に、子どもが生まれてから回答者が経験したことを尋ねた結果、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 67.7%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」という回答が 13.7%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」という回答が 12.3%であった。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 48.1%であった。経験した項目については、「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」という回答が 24.1%と最も多く、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」という回答が 20.3%であった。

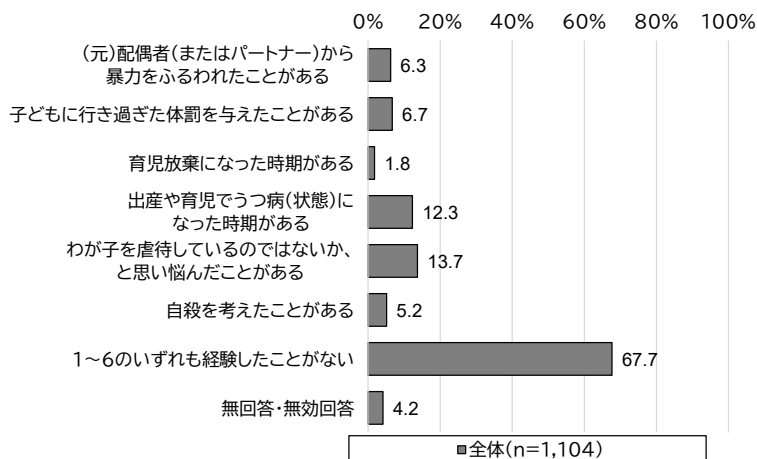
困窮層(n=55)では、「1～6のいずれも経験したことがない」と回答した割合は 36.4%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」という回答が 36.4%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」という回答が 29.1%であった。

生活満足 低位(n=147)では、「1～6のいずれも経験したことがない」という回答は 43.5%であった。経験した項目については、「わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」という回答が 25.9%と最も多く、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」という回答が 25.2%であった。

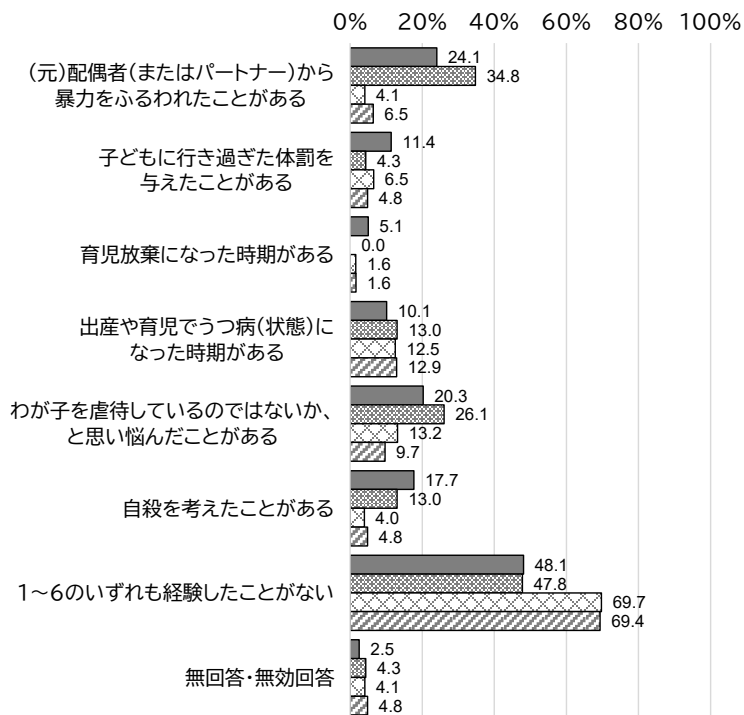
### 【中学2年生保護者問 29】

(回答者がお母さま・お父さまでない場合は、問 30 にお進みください)あなたはお子さんが生まれてから、次のような経験をしたことがありますか。(複数回答)

図表 5-197 子どもが生まれてからの経験 (単純集計)

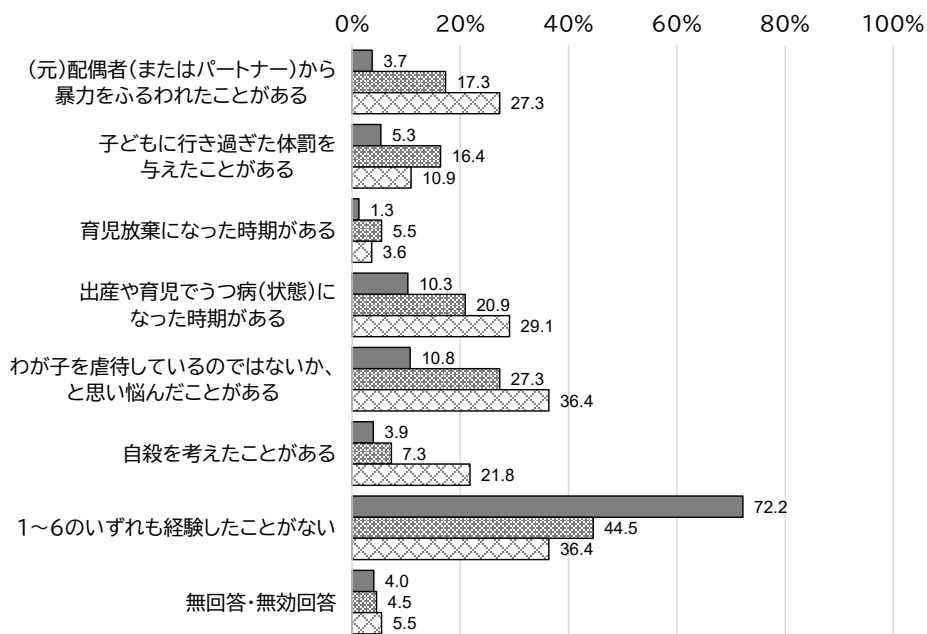


図表 5-198 子どもが生まれてからの経験（世帯タイプ別クロス集計）



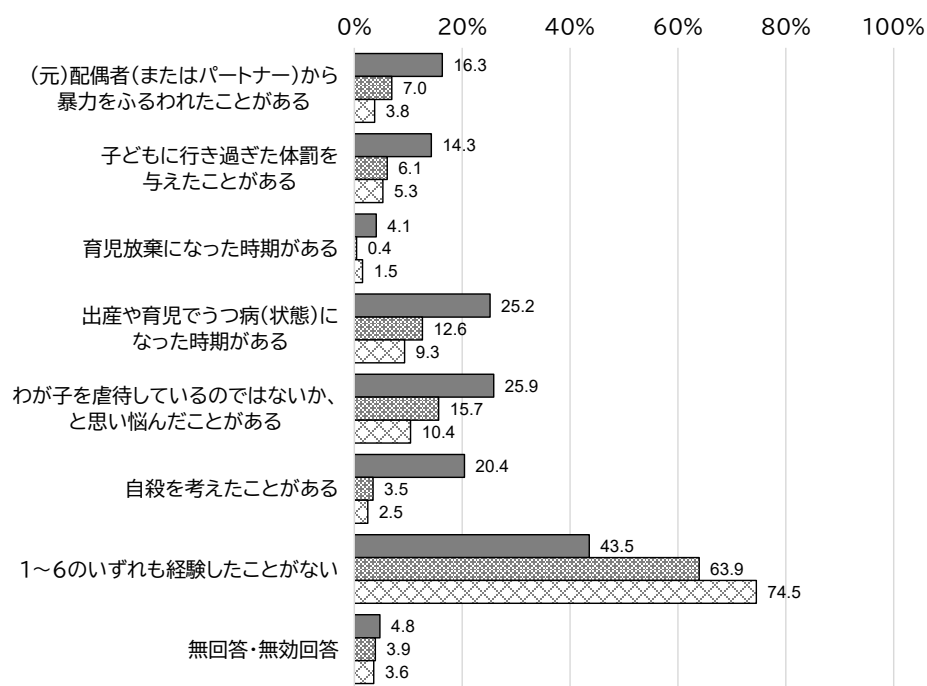
■ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)	▨ひとり親世帯(3世代同居)(n=23)
□ふたり親世帯(2世代同居)(n=935)	▩ふたり親世帯(3世代同居)(n=62)

図表 5-199 子どもが生まれてからの経験（生活困難層別クロス集計）



■一般層(n=939)	▨周辺層(n=110)	▩困窮層(n=55)
-------------	-------------	------------

図表 5-200 子どもが生まれてからの経験（生活満足度別クロス集計）



■生活満足 低位(n=147)   ■生活満足 中位(n=230)   □生活満足 高位(n=718)

## (7) 子育てへの支援についてうかがいます

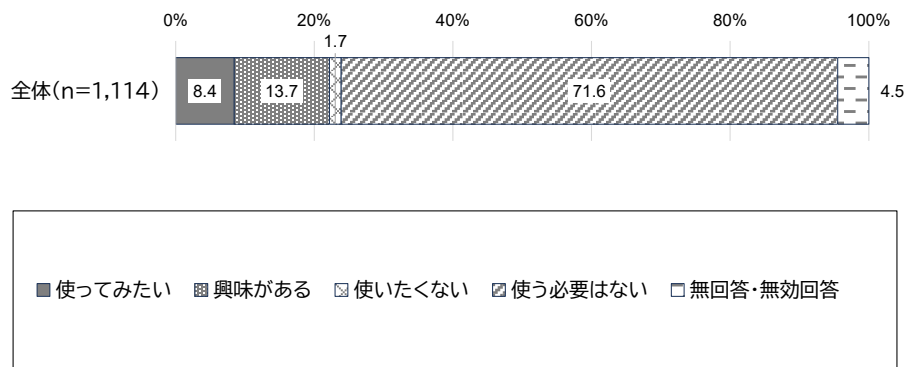
### ア 支援制度等への興味

支援制度等の利用の興味を尋ねた結果、「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 71.6%と最も多く、「興味がある」が 13.7%、「使ってみたい」が 8.4%であった。

【中学2年生保護者問 30A】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-201 「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」への興味  
(単純集計)

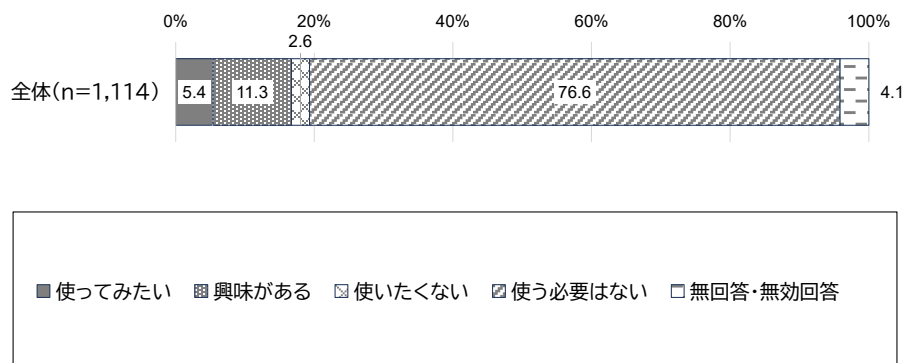


「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時以降にすることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 76.6%と最も多く、「興味がある」が 11.3%、「使ってみたい」が 5.4%であった。

【中学2年生保護者問 30B】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-202 「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時以降にすることができる場所」への興味  
(単純集計)

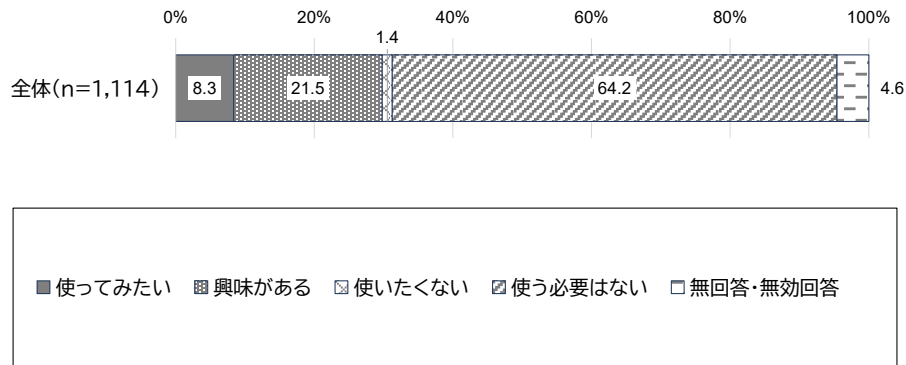


「家以外で、お子さんが休日にいることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 64.2%と最も多く、「興味がある」が 21.5%、「使ってみたい」が 8.3%であった。

【中学2年生保護者問 30C】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-203 「家以外で、お子さんが休日にいることができる場所」への興味 (単純集計)

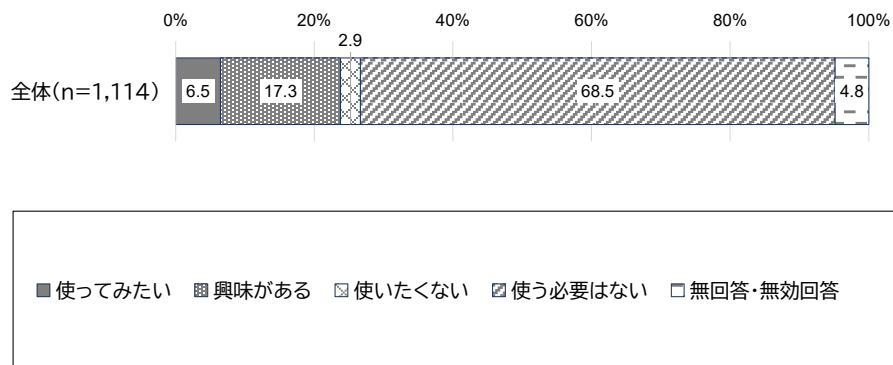


「家の人がないとき、お子さんが夕ごはんを他の人と一緒に食べることができる場所」への興味は、「使う必要はない」が 68.5%と最も多く、「興味がある」が 17.3%、「使ってみたい」が 6.5%であった。

【中学2年生保護者問 30D】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-204 「家の人がないとき、お子さんが夕ごはんを他の人と一緒に食べることができる場所」への興味 (単純集計)



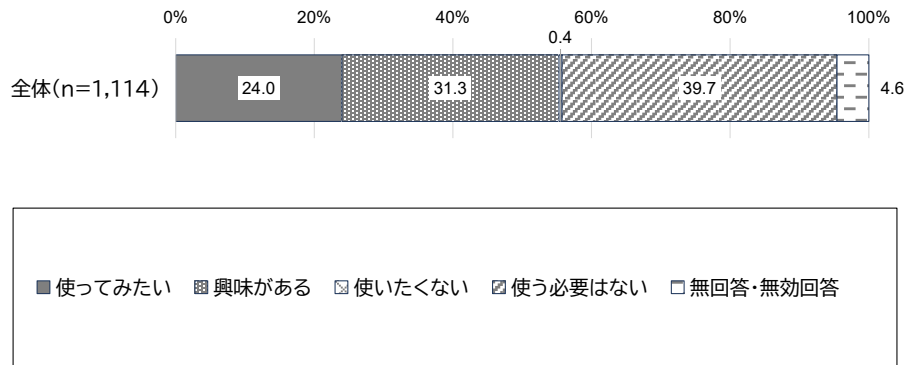


「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」への興味は、「使う必要はない」が39.7%と最も多く、「興味がある」が31.3%、「使ってみたい」が24.0%であった。

【中学2年生保護者問 30E】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-205 「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」への興味 (単純集計)

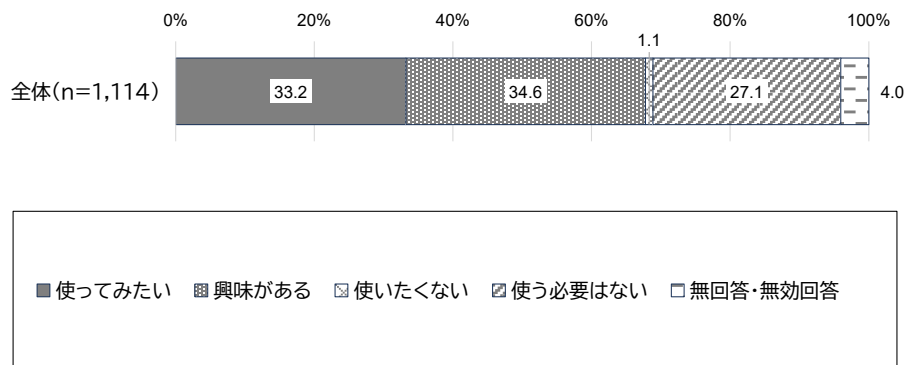


「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」への興味は、「興味がある」が34.6%と最も多く、「使ってみたい」が33.2%、「使う必要はない」が27.1%であった。

【中学2年生保護者問 30F】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-206 「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」への興味 (単純集計)

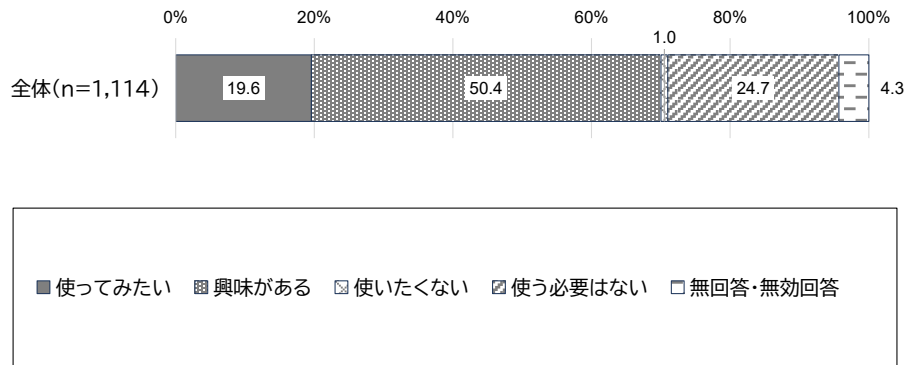


「学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所」への興味は、「興味がある」が 50.4%と最も多く、「使う必要はない」が 24.7%、「使ってみたい」が 19.6%であった。

【中学2年生保護者問 30G】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-207 「学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所」への興味 (単純集計)

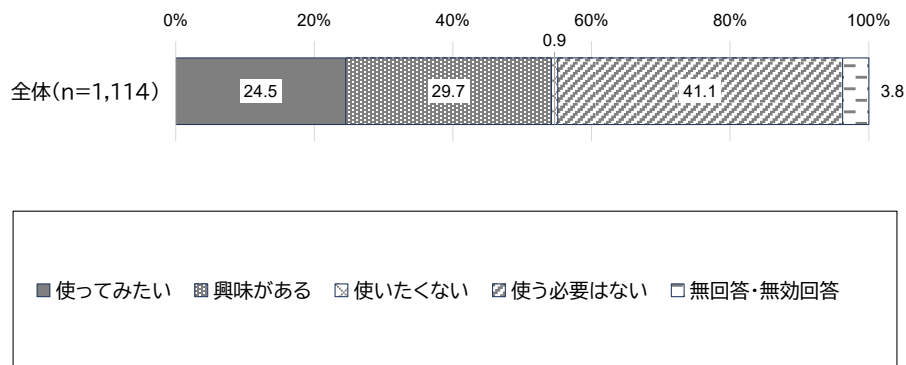


「お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス」への興味は、「使う必要はない」が 41.1%と最も多く、「興味がある」が 29.7%、「使ってみたい」が 24.5%であった。

【中学2年生保護者問 30H】

現在、次のような支援制度等を利用することに興味がありますか。(単一回答)

図表 5-208 「お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス」への興味 (単純集計)



## イ 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポート(自由記述)

中学2年生の保護者に対し、子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートを尋ねたところ、323 件の自由記述が寄せられた。自由記述の内容を分類すると、「子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援」「子育て世帯への経済的支援、家計の悩み」「給食・給食費、昼食サービス」などの子育てに関連する経済的な悩みや要望、「学校教育の充実(相談・SC 含む)」「いじめ・登校しぶり・不登校」「教育制度、学校のルール(PTA、指定用品など含む)」等、学校や教育に関する意見が多く挙げられた。

### 【中学2年生保護者問 31】

最後に、子育て(教育を含む)をする上で、悩んでいることはありますか。また、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。なんでもご自由にお書きください。(自由記述)

図表 5-209 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポート(自由記述意見の整理・分類)

順位	自由記述の分類	件数 (件)	割合 (%)
1	子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援	111	34.4%
2	子育て世帯への経済的支援、家計の悩み	38	11.8%
3	子育てに関する相談・講座・仲間作り	32	9.9%
4	学校教育の充実(相談・SC 含む)	31	9.6%
5	子どもの居場所(児童クラブ、公民館、図書館、体育館など含む)	25	7.7%
6	いじめ・登校しぶり・不登校	24	7.4%
7	給食・給食費、昼食サービス	22	6.8%
7	医療・医療費助成・健診	22	6.8%
9	教育制度、学校のルール(PTA、指定用品など含む)	19	5.9%
9	障がい・発達障がい(疑い)のある子どもに関する相談・支援、特別支援教育	19	5.9%
11	学習支援・補習・学習できる場	16	5.0%
12	部活動に関する悩み・要望	12	3.7%
13	教員に関する要望(教員、人員配置、授業内容など含む)	11	3.4%
13	一時預かり・送迎支援(病児保育・ファミサポ含む)	11	3.4%
13	ゲーム、スマートフォン、インターネットの使用等に関する悩み	11	3.4%
16	保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援	10	3.1%
17	ひとり親世帯への支援(児童扶養手当、養育費等)	8	2.5%
17	防犯・交通安全・不審者対策等	8	2.5%
その他			
-	その他の子育てに関する悩み	16	5.0%
-	その他、市の教育・子育て支援	12	3.7%
-	アンケート調査に関すること	7	2.2%
-	その他、特になし	9	2.8%
合計(意見提出をした人数 323 件)		474	—

## 子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートに関する上位 10 項目の代表的な意見

### 1 位 子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援

- 学校の授業だけでは、皆、学習面がまかなえず、ほとんどの子が塾に通わなければ、高校受験など将来が選べなくなってしまう状況。物価もどんどん値上がりし、自分の収入はすべて塾の代金に消えてしまっている。税金をしっかりと払っているのに、何のサポートも受けていないと感じる。
- 高校、大学の学費について、国公立と私立の差があまりにありすぎて驚いている。また受験があることによって通塾を余儀なくされ、その費用が親にはかなりの負担。受験制度や義務教育について考え直さないと、ますます子を持つことが金銭的に不安になり、少子化が進むと思う。15 歳までの児童手当よりもむしろ 15 歳以降の手当のほうが必要かと感じている。
- 塾に行っていない子はなかなか高校受験の情報が手に入りやすく、学校の先生では経験によって限界があるようだ。「塾並に」とまではいなくても、色々相談や情報が得られるような場(サイト etc)があったらいいなあと思う。
- 高校(大学)の授業料で悩んでいます。高校の無償化にギリギリ対象ではないので、何とか公立へ行ってもらいたい。しかし、それではやりたい事ができる、行きたい学校ではないという申し訳なさ。3 人分私立全額は厳しすぎる。一生懸命 3 人育てているのに援助を受けられない。子どもには平等に援助して、機会を与えて欲しい。
- 私立高校の学費支援制度の補助の枠にあてはまらなそうなのですが、とても学費を払える余裕はない。公立が受からなかったらどうすればいいのか今から心配している。世帯収入で決めるのではなく、その家庭の内訳をしっかりと見てほしい。そもそも子どもが私立に行きたくても選択の 1 つとして考える事ができず、選択肢が狭まるのが残念でならない。
- (春から第 1 子が高校入学・私立)高校の学費が高く、補助金や教育ローンを使いどうにかやっているが、急に生活が苦しく感じ、体調をくずしたりした。貯金もできず、大きな買い物、家電など壊れるとカード払いになり、月々の出費が増える。小・中よりも高校以降の子どもにお金がかかることを考え、その世代のことも補助してもらえ時代になって欲しい。
- 勉強のやる気がおきるようにするにはどうしたらよいのか。大人はやる気がおきなくてもやらないといけない。やらないと終わらないということを理解して行動できるが、子どもにその説明をしても理解が得られない。やる気や楽しいと思えるようにしてあげたいが、できてないと思う。

### 2 位 子育て世帯への経済的支援、家計の悩み

- 児童手当などについて、子どもにかかる費用は実感として幼少期(乳、幼、少)よりも、中学や高校、大学と成長するにつれ高額になっている。(学費や食費など)進路によって違うのかもしれないが、高校や大学の進路について、費用を理由にあきらめなければならない選択肢が出てくる。(例)スポーツなど、力を入れたいが、経済的理由でクラブチームに入れなかったり、強い私立学校に入れなかったりなど。乳幼児などの子育てサポートに力を入れるような印象だが、中高生もそれ以上のサポートが必要。

- 親の所得によって子どもの支援が受けられない不平等なことが起こることがおかしい。どの子どもにも平等な支援、手当が受けられる社会をのぞむ。
- 子どもを3人育てている。年が離れているため、3人目の子どもは、2人目として数えられ、児童手当は1年で減額された。1人目、2人目のときは、保育園等全てたくさんお金を払いやってきたのに、3人目を3人目として扱っていただけないことに不満もありますし、将来のための貯蓄ができるのか経済的に不安。同じ3人目なのに、受けられる手当に差が生じていることに疑問しかない。国がダメなら市で3人目の子育て支援をお願いします。
- いじめられないように普通の子と同じような生活をさせるため、食料をあまり買えない時もある。外から見える面で貧しさを感じられたくない。

### 3位 子育てに関する相談・講座・仲間作り

- 思春期を迎えた子どもとの接し方に試行錯誤している。心配事は尽きないが一定の距離を置いて見守る事を心がけている。漠然とした子育ての不安を話せる専門機関があるとありがたい。
- 中学を卒業すると、子どもの相談を継続して受けられない現状に不満がある。進学先や県の機関の相談場所は利用できるが、場所や相談する人が変わることで最初から相談をやり直す手間がある。行政単位で継続して相談できる場所があると良いと思う。
- 相談をしたいと思っても、相談窓口は平日昼間のみだったり、相談できない。相談しやすい時間や土日に窓口を開く等、今やっている事の間口を広げてほしい。
- 外国にルーツがある家庭で、お子さんは学校等でお友達ができるのですが、ご両親、特にお母さんがお友達を作る機会・サポートなどがあると良いのではと思う。子育ての事や学校の事などはお母さん方は友達同士で相談し合ったり解決できることもあるし、悩みを言える環境というのは心強いものだと思う。

### 4位 学校教育の充実(相談・SC含む)

- タブレットを持たされているものの、インフルエンザや新型コロナの隔離期間(熱等が治り、ある程度元気)に授業をリモートで受けられれば良いのと思う。1人1台持っていてもさほど有効に使われていないと感じる。
- キャリア教育について、子どもの特性や興味とマッチする職業をアドバイスするのに親も今の世間にある職業を知らないため、それらについての講演または紹介サイト等。
- 親の時代と子の教育カリキュラムが違うため、子と話がかみ合わないことがある。(現在は)どのような教育方針であるか、知る機会があればいいと思う。
- 学校にいるスクールカウンセラーは、受け身の立場でただ来訪者を待っているのだと思うが、例えば教室をたずねたり、先生方との話し合い等は行われているのか疑問に思っている。悩んでいる子どもは自ら行動をおこすことも困難ではないかと思うし、大人からアプローチできるような仕組みがあるといいと思う。

#### 5 位 子どもの居場所(児童クラブ、公民館、図書館、体育館など含む)

- 夏休みに暑くて公園で遊べない時間帯が長くあるが、そういう時に、思いっきり友人と遊べる娯楽施設があればよいなと思う。藤沢市にいくつかある「子どもの家」は、小さい頃は子どもも好きで時々使っていましたが、小学校高学年～中学生になると、子どもが興味を持たなくなった。学童期の子どものための「子どもの家」のような場所があればよいと思います。
- 小学校低学年時は夏休みなどの長期休み時、パートをしている時間、親に頼んでいたのも、近くに親が住んでいなかったり気軽に預け合える友達がない場合、学童に行っていない子がいられる場所があるといいと思う。
- 放課後(特に小学生)に通っている小学校で居場所があると良い。どなたかに見守りをさせていただき、校庭を開放してもらおうなど。ゲームをせず、せっかく公園に行ってもボール遊び(ドッチボールなど)をしていると、小さいお子さんを連れている方からは、注意を受ける事があるようです。
- 料理教室や家計の勉強など、子どもたちが大人になってから役に立ちそうな講座を公民館などでやってほしいです。色々な事を経験するチャンスをもっと子どもたちに与えてほしいです(勉強以外で)。

#### 6 いじめ・登校しぶり・不登校

- 子どもが不登校になり、相談できる先がとても少なく、民間のカウンセリングは高額でとても利用できない。フリースクールも公的なものはなく、民間のものは高額で利用できない。公立の不登校生の受け入れ先をつくって欲しい。
- 不登校のサポートが他の地域より遅れていると感じる。中学校では1日2時間までしか別室登校できず、学習の遅れが広がる心配がある。市として、コーディネーター(サポーター)などを置き、個々の状況に応じて学校や他の機関と調整を図るなどしてくれる機能があるといいと感じる。
- 子どもが不登校になり、どのように関わって行けばよいか分からず悩んでいる。学校には、他にも不登校のお子さんがあると思うが、横のつながりがなく、孤立している。

#### 7 位 給食・給食費、昼食サービス

- 給食がまずいと言って食べてくれない。小学校はおいしいのに中学になると弁当でとても負担。本人もおいしいなら弁当より給食(毎日)が良いと言っている。荷物も減るし、あたたかい物が食べられる。金額は上がってもかまわない。むしろ今の給食は安すぎる。
- 中学校のお弁当を毎日作っている。理由は「給食を頼むと、弁当を作ってくれない酷い親だと思われるのが嫌だ」と子どもがいうから。選択性ではなく全員給食にしてほしい。藤沢市はとても遅れている。貧困の家もあると思う。弁当を作る親が良い親という古臭い考えのままでは未来はない。
- 中学校の給食の時間が短すぎる。小学校のように、温かく安価で栄養バランスのとれた給食を希望する。

#### 7位 医療・医療費助成・健診

- 小・中学生も診察している、メンタルクリニックが少なく限られるので、増えてほしい。
- 子どもが不登校ぎみで市民病院の小児科や、通っている中学校、中学校のスクールカウンセラーの先生にお世話になっている。それぞれの先生に状況やそれぞれの先生方に言われた事などを伝えなければいけない事に疲れを感じる事がある。一人の生徒の状態を関係のある先生方が情報を共有できると助かると思う。
- 中学生以上になるとケガをする事が少なからず増える(部活動でのケガ含む)。他の事でお金がかかる事が多く、医療費が中学生までではなく、高校卒業(18歳まで)伸びてもらえると子どもが複数いる家庭はとても助かるはず。

#### 9位 教育制度、学校のルール(PTA、指定用品など含む)

- 中学校では、子ども達が常に“評価”に気をとられていて、本当の意味での知識を積み重ねる目的からそれていると感じる。学校の細かいルールも何の目的、動機からあるのか、不可解なところが沢山ある(ie 制服のルール、ダウンはダメ…通学用カバンが重たすぎる(10kg)のにキャリアがOKにならない、学校指定の銀行口座を作らされる等)。
- 学校で PTA 役員の負担が多く、なり手があまりいない。フルタイムで働いている方、ご家族のことで役員になれない方ばかりだが、子1人に対し、1年間は役員をするようにとある。年内数日しかない有給は子どもの大切な行事や体調不良の時にと思っている。役員の活動にと言われても限界がある。学校には申し訳ないと思うが、中途半端に引き受けることも気が引ける。PTA 活動はそんなに必要なものか? やや時代にあってないと思う。

#### 9位 障がい・発達障がい(疑い)のある子どもに関する相談・支援、特別支援教育

- 他の子どもが発達障害で通院、デイを利用したいと考えた時、年収制限で自立支援(1割)も利用できず、3割負担だと難しいため断念。世帯年収があっても子どもの数が増えると支出も増える。障害などへの支援は世帯年収に関わらず「その子」が受けられるべきである。
- 小学校までは、通級指導があったり、取り出しの授業があったが、中学生になった途端に放り出されてしまった。発達に課題のある子で学校の中での配慮だけでは間に合わず、本人は不登校になった。具体的には学習面。極めてグレーゾーンに近いというウイスク検査での結果が出ているが、今の中学校の制度上、横並びの学習しかなく、多様性には程遠いと感じている。学校の中で、特性のある生徒を見てくれる教員の配置を強く望む。

